

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 英会話 I		教員名 川村 繭子	
科目時間数： 15時間 (7.5限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： ☒ 必修・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・ ☒ 後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 保育園や幼稚園で必要となる基礎的な英会話を身に付けることで、コミュニケーション能力を習得するとともに異文化理解や国際理解について学ぶ。 幼児向けの英語の歌やゲームを習得することで、幼児が英語に興味を持ち楽しめるような表現力を習得する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ☒ 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 Happy English for Childcare リスニングをCD (またはデジタル音源) を使用し練習する。リスニングで習得した内容の会話をロールプレイで練習、展開する。幼児向けの英語の歌、手遊び、読み聞かせのいくつかを習得し、実践する。 【授業における達成課題】 基礎的な英会話のリスニングとスピーキングを習得し、コミュニケーションの実現。 英語の歌に振りをつけて発表することで英語の発音と表現の達成。 異文化に触れることで、グローバルな意識を持つ。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	Happy English for Childcare (保育のための基礎英語)	金星堂	
【使用教室】 ☒ 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ☒ 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 ☒ 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価：英語の歌、手遊び歌、読み聞かせなどの実演も評価に含む。			
【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有・無			
【内容】 英会話教室の講師としての実務経験			

科目名 英会話 I		科目時間総数 15時間 (7.5限)	教員名 川村 繭子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限 1時間	リスニングとコミュニケーションにより会話を習得	Pre Unit and Unit 1 (英会話の基本表現 と 自己紹介)	
2時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Head Shoulders Knees and Toes)	
2 限 3時間	リスニングとコミュニケーションにより会話を習得	Unit2: Where is the multi-purpose room? (道案内)	
4時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (How's the Weather?)	
3 限 5時間	リスニングとコミュニケーションにより会話を習得	Unit 3: How are you today? (登園時の会話、今日の調子を聞く)	
6時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (ABC Song)	
4 限 7時間	リスニングとコミュニケーションにより会話を習得	Unit 4: What color do. you like? (好きなものを聞く)	
8時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Bingo)	
5 限 9時間	リスニングとコミュニケーションにより会話を習得	Unit 6: It's time to play outside. (園庭での会話)	
10時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Open, Shut Them)	
6 限 11時間	リスニングとコミュニケーションにより会話を習得	Unit 8: You should go to the bathroom. (お昼寝時間の会話)	
12時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Itchy Bitchy Spider) 手遊び	
7 限 13時間	リスニングとコミュニケーションにより会話を習得	Unit 9: We made masks today. (降園時の会話)	
14時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Five little ducks) 手遊び	
8 限 15時間	リスニングとコミュニケーションにより会話を習得	総仕上げテスト	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌・手遊び まとめ	

授業計画表

こども福祉 学科

M C L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 英会話 I		教員名 川村 繭子	
科目時間数： 15時間 (7.5限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 保育園や幼稚園で必要となる絵本の読み聞かせや、手遊びを英語で習得し、コミュニケーション能力、異文化理解について学ぶ。表現力を高め、発表することにより、自信を持つ。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 ※当該科目が最も関連する項目に○ 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③ 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 英語の絵本や音源を使用し、練習する。習得した内容の絵本、歌、手遊びなどを実際に練習し、実践する。 【授業における達成課題】 簡単な英語絵本の読み聞かせが一つ以上できるようになる。簡単な英語の歌、または手遊び歌が一つ以上できるようになる。			
	使用教材	出版社	
講師持ち込み絵本など			
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ①. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 ⑤. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価：			
【担当教員の実務経験の有無】 ① 有 無			
【内容】 英会話教室の講師としての実務経験			

科目名 英会話 I		科目時間総数 15時間 (7.5限)	教員名 川村 繭子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限 1時間	コミュニケーション力を高める	自己紹介	
2時間	展開、実践する	発表	
2 限 3時間	幼児向けの英語の歌を習得する	英語の歌を歌おう	
4時間	幼児向けの英語の手遊びを習得する	英語の手遊び歌を覚えよう	
3 限 5時間	幼児向けの英語の歌を練習する	英語の手遊び歌・歌を選ぶ（グループワーク）	
6時間	英語の発音と表現の達成	グループで練習する	
4 限 7時間	幼児向けの英語の絵本を習得する	グループで発表する	
8時間	他から学ぶことで視野を広げる	評価（自他グループで特によかったところを見つけ合	
5 限 9時間	幼児向けの英語の絵本を習得する	英語の絵本を読もう	
10時間	英語の発音と表現の達成	練習する	
6 限 11時間	幼児向けの英語の絵本を習得する	英語の絵本選択	
12時間	英語の発音と表現の達成	少人数グループで練習する	
7 限 13時間	異文化に触れる意識	作成、準備も含み練習する	
14時間	展開、実践する	発表する	
7.5 限 15時間	他から学ぶことで視野を広げる	評価しあう	

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 健康科学		教員名 高橋 裕貴子	
科目時間数 : 15時間 (7.5限)		授業の種類 : 講義・演習・実習	
必修・選択 の別 :	必修・選択	配当学年 : 1年次	開講時期 : 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 スポーツ活動との関連の中で、健康や体力に関する知識や関心を高める。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ①. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 スポーツ活動との関連の中で健康や体力に関する知識や関心を高め、合理的な運動実践を習慣化するための方策について学ぶ。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	生涯スポーツ・健康科学	近畿大学九州短期大学通信教育部	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【備 考】 評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無			
【内容】			

科目名		健康科学	科目時間総数 15時間	教員名 (7.5限) 高橋 裕貴子
現・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	限	1時間	スポーツの概念	スポーツの語源・概念を知る
		2時間	〃	スポーツの現代的理解と特性を知る
2	限	3時間	社会生活の変化とスポーツ	余暇とスポーツ活動の関連性を知る
		4時間	〃	今後における余暇活動について理解する
3	限	5時間	スポーツ参加の現状と課題	スポーツ参加の現状を知る
		6時間	〃	スポーツ参加における問題点を探る
4	限	7時間	〃	生涯学習体系の移行について知る
		8時間	健康の概念	健康観の変遷について理解する
5	限	9時間	〃	WHOの健康の定義について理解する
		10時間	健康・体力と運動	現代社会における健康阻害要因について
6	限	11時間	〃	体力の概念と構成要素について理解する
		12時間	生活におけるトレーニング	運動処方の仕方を知る
7	限	13時間	〃	トレーニングの基礎理論を理解する
		14時間	〃	トレーニングの科学的基礎を理解する
7.5	限	15時間	試験対策	

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 日本国憲法		教員名 吉田友哉	
科目時間数： 30時間 (15限)		授業の種類： <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・実習	
必修・選択 の別： <u>必修</u> ・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・ <u>後期</u> ・集中	
【授業の目的・ねらい】 日本国憲法が求めている理念を理解し、憲法問題に対するリーガルマインドを養う。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 日本国憲法の全体的な枠組みを体系的に理解しながら、憲法が求めている理念とは何か、現実社会との間にどのようなギャップがあるかを見つめながら、憲法問題に対するリーガルマインド(法的思考)を養う。 【授業における達成課題】 保育専門職として保育実践に必要な知識を習得して「人権」に対する理解を深めて欲しい。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	日本国憲法	近畿大学九州短期大学通信教育部	
【使用教室】 ① <u>HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 ④ <u>視聴覚室</u> 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ① <u>筆記試験</u> 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：筆記試験の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】<u>有</u>・無			
【内容】 少年院職員としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
日本国憲法		30時間 (15限)	吉田友哉
現・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限 1時間 2時間	憲法とは何か	基本原理・種類・歴史から憲法を考える	
2限 3時間 4時間		大日本帝国憲法の特色・日本国憲法との違い	
3限 5時間 6時間	日本の憲法	国民主権とは 天皇の地位 象徴とは	
4限 7時間 8時間		基本的人権について	
5限 9時間 10時間		1 3 条の解釈	
6限 11時間 12時間		法の下での平等 判例から考える	
7限 13時間 14時間		精神的自由権	
8限 15時間 16時間			
9限 17時間 18時間		経済的自由権	
10限 19時間 20時間		人身の自由	
11限 21時間 22時間		社会権	
12限 23時間 24時間		国務請求権 参政権	
13限 25時間 26時間	統治機構	国会 内閣	
14限 27時間 28時間		司法 地方自治	
15限 29時間 30時間	平和主義	戦争の放棄	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 生涯スポーツ		教員名 橋場 駿士	
科目時間数： 22.5時間 (11.25限)		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の 別：	必修・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 国民を取り巻くスポーツの現状について理解を深め、生涯スポーツの実現にはどのような仕組みや考え方が必要かを学ぶ。生涯スポーツを支える側としての、基本的な能力を身につける。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 スポーツを取り巻く社会環境について学ぶ。 幼児～高齢者、障がい者まで、幅広く運動に親しむための補助者としての能力を養う。 【授業における達成課題】 生涯スポーツの意味を理解し、自分に何ができるかを考えることができる。 幼児を中心としたスポーツ指導の技能や考え方を理解することができる。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	生涯スポーツ・健康科学	近畿大学九州短期大学通信教育部	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 (月が丘幼稚園)			
【備 考】 評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無 【内容】 中学校教員（体育）としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
生涯スポーツ		22.5時間	(11.25限) 橋場 駿士
現・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	1時間 2時間	日本のスポーツ実施率の現状と解決方法を考える 生涯スポーツに適したスポーツを学ぶ	スポーツを取り巻く現状について理解している 生涯スポーツの概念について理解している 生涯スポーツの理論や種類について理解している
2 限	3時間 4時間	実 技	アイスブレイク～体づくり運動
3 限	5時間 6時間	〃	ドッジボール
4 限	7時間 8時間	〃	ニューススポーツ
5 限	9時間 10時間	〃	ニューススポーツ
6 限	11時間 12時間	〃	ニューススポーツ
7 限	13時間 14時間	〃	ゴール型
8 限	15時間 16時間	〃	ゴール型
9 限	17時間 18時間	〃	ネット型
10 限	19時間 20時間	〃	ネット型
11 限	21時間 22時間	〃	ベースボール型
11.3 限	22.5時間	〃	まとめ

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 情報処理入門Ⅰ		教員名 梅木 美喜子	
科目時間数： 30時間 (15限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： ☒ 必修・選択	配当学年： 1年次	開講時期： ☒ 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 Officeソフト（ワープロ、表計算、プレゼンテーション）の基礎知識を学び、ビジネス文書、表作成技能を習得する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を实践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 パソコンの基本操作を理解する。ワープロ、表計算ソフトの基本操作および文書作成、表作成技能を習得する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として実務に活かせるパソコンの知識と技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	Word2019&Excel2019&Powerpoint2019	FOM出版	
教員用	WORD2019 基礎	〃	
	WORD2019ドリル	〃	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 ⑦. その他(こども未来学科のHRで合同)			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 ⑤. 実技試験 6. その他()			
【備考】 評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 ☒有 ☐無 【内容】 コンピュータメーカーのシステムエンジニアとしてシステム開発やユーザ教育・社内人材育成に従事			

科目名 情報処理入門Ⅰ		科目時間総数 30時間	(15限)	教員名 梅木 美喜子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1 限 1時間	オリエンテーション	講義の進め方および成績評価について		
2時間	自分のPC情報を知る	スペック・OSバージョン・Office環境を確認し、表にまとめる		
2 限 3時間	タイピング	タッチタイピング練習ソフトの使い方		
4時間	文書の作成	Word文書（表の作り方、図の挿入）		
3 限 5時間	〃	Word文書（演習課題①②）		
6時間	〃	Word文書（演習課題③④）		
4 限 7時間	〃	Word文書（演習課題⑤⑥）		
8時間	〃	Word文書（演習課題⑦）		
5 限 9時間	〃	Word文書（演習課題⑧⑨）		
10時間	〃	Word文書（演習課題⑩）		
6 限 11時間	描画ツール	PowerPointの描画ツール（フリーハンドで描画）		
12時間	〃	〃	〃	
7 限 13時間	描画ツール	PowerPointの描画ツール（図形編集による描画）		
14時間	〃	〃	〃	
8 限 15時間	ビジネス文書の作成	Word文書（演習課題⑪）		
16時間	〃	Word文書（演習課題⑫）		
9 限 17時間	カレンダーの作成	PowerPointによるイラストカレンダーの作成①		
18時間	〃	〃	〃	
10 限 19時間	カレンダーの作成	PowerPointによるイラストカレンダーの作成②		
20時間	〃	〃	〃	
11 限 21時間	各種案内文書の作成	Word文書（演習課題総集編）		
22時間	〃	Word文書（演習課題総集編）		
12 限 23時間	カルタの作成	PowerPointによるカルタの作成（無料イラストの活用方法）		
24時間	〃	〃	〃	
13 限 25時間	表計算の基本	EXCEL表（データおよび計算式入力、罫線等）		
26時間	〃	〃	〃	
14 限 27時間	表計算の基本	EXCEL表（演習課題）		
28時間	〃	〃		
15 限 29時間	試験ガイダンス	確認試験の進め方および注意事項について		
30時間	確認試験	試験時間（50分）		

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 情報処理入門Ⅰ		教員名 梅木 美喜子	
科目時間数： 15時間 (7.5限)		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年： 1年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 EXCELの基礎知識を学び、表の作成や数式入力の基本操作を習得する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 パソコンの基本操作を理解する。ワープロ、表計算ソフトの基本操作および文書作成、表作成技能を習得する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として実務に活かせるパソコンの知識と技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	Word2019&Excel2019&Powerpoint2019	FOM出版	
教員用	EXCEL2019 基礎	〃	
	EXCEL2019ドリル	〃	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 ⑦. その他 (こども未来学科のHRで合同)			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 ⑤. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 ⑥. 無			
【内容】 コンピュータメーカーのシステムエンジニアとしてシステム開発やユーザ教育・社内人材育成に従事			

科目名	情報処理入門 I	科目時間総数 15時間	(7.5限)	教員名 梅木 美喜子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1 限 1時間	Excelの基礎知識	Excelの概要		
2時間	〃	データの種類、演算記号、その基本操作		
2 限 3時間	データの入力	Excelの基本操作、オートフィルの利用、簡単な表作成		
4時間	〃	〃		
3 限 5時間	表の作成	関数（オートΣ）、罫線の設定、表示形式、配置、書式の設定		
6時間	〃	いろいろな率の求め方		
4 限 7時間	数式の入力	関数オートΣ（MAX、MIN……）、相対・絶対参照		
8時間	〃	〃		
5 限 9時間	表作成練習	白紙の状態から、基本的な表作成練習		
10時間	〃	〃		
6 限 11時間	グラフの作成	円グラフ、折れ線グラフ、棒グラフなど		
12時間		〃		
7 限 13時間	試験ガイダンス	確認試験の進め方および注意事項について		
14時間		〃		
8 限 15時間	確認試験	試験時間（50分）		

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 国語表現法		教員名 土川律子	
科目時間数：30時間 15限		授業の種類：講義・演習・実習	
必修・選択 の別：必修・選択	配当学年：1年	開講時期：前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 記録・レポート等、論理的文章を書くための基礎的な事項を学び、事柄をわかりやすく、正確かつ的確に伝える記述する記述力の習得を目標とする。記録文における文章全体の構成、また細部における客観的、具体的記述力を身に付ける。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 ※当該科目が最も関連する項目に○ 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 本授業では、論理的文章の記述力を高めることを目標とする。自己の表現力を確認することから始め、基礎的事項を学び、文全体の構成、事実と意見を書き分ける等、わかりやすく論理的文章の方現法を身に付ける。要約、意見文の記述により基礎力を養い、記録文を作る。 【授業における達成課題】 当該科目について、保育者として実践に必要な記述のしかたを完成する。			
	使用教材	出版社	
教員参考書	書き込み式日本語表現ノート 日本語表現法ワークブック 文章表現基本テキスト 日本語表現練習帳	三弥井出版 三省堂 日本能率協会マネジメントセンター すばる舎リンケージ	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：筆記試験、授業態度等を勘案し、A(80点以上)、B(70～79点)、C(60～69点)、D(59点以下：不合格)で評価します			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無			
【内容】 国語教諭			

科目名		科目時間総数		教員名
国語表現法		30時間	15限	土川律子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容	
1限	1時間 2時間	話し言葉	「話し言葉」「書き言葉」の基本を聴き取り表記できる	
2限	3時間 4時間	主語	「文の原則」主語と述語の関係等、獄都語句の関係を知り、要約できる	
3限	5時間 6時間	文の組み立て	「文の組み立て」論理的な文章の接続と修飾関係を把握し、記述できる	
4限	7時間 8時間	文のつながりから	「文のつながり方」「視点」客観的記述における視点の置き方を把握する	
5限	9時間 10時間	要約	「要約」前回までの内容確認のため、課題による「要約」を完成する	
6限	11時間 12時間	言葉の順序	「言葉の順序」を把握し、わかりやすい文章を構成できる	
7限	13時間 14時間	文章構成	「定義・分類」も表現を学び、論理的な文章を構成できる	
8限	15時間 16時間	対比	「対比」対比の表現を知り、事実と意見の書き分けを意識し、記述できる	
9限	17時間 18時間	引用	「引用」説明に必要な「引用」を用い、記述できる	
10限	19時間 20時間	意見文	「意見文」前回までの内容を確認し、課題による「意見文」を完成する	
11限	21時間 22時間	列挙	「列挙」列挙の表現を学び、事例・論証の表現が可能になる	
12限	23時間 24時間	因果関係	「因果関係」因果関係の表現に留意し表現できる	
13限	25時間 26時間	敬語	「敬語表現」敬語の基本的な表現ができる	
14限	27時間 28時間	小論文	「小論文を書く」論説文を用い、事実・事例・意見・論証を構成できる	
15限	29時間 30時間	〃	「小論文を書く」論説文を課題とし、意見論述を完成する	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児と音楽表現		教員名 大縄 方子	
科目時間数： 15時間		7.5限 授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・後期・集中	
〔授業の目的・ねらい〕 ・「声」についてのイメージを深め、発声法、表現法を習得する。 ・器楽(ピアノ伴奏)の基礎的な演奏法を理解し、演奏技術の向上を目指す。 ・基礎的な楽典を理解し、読譜ができる。 ・教育現場で必要な声楽曲や弾き歌いのレパートリーを増やし、歌い示すことが出来る。 〔こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連〕 ※当該科目が最も関連する項目に○ 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ○2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 〔授業全体の内容の概要〕 こどもの歌やコールユーブンゲンを歌うことでレパートリーを増やし音程の感覚を養う。楽典を解説し読譜練習や作品解釈を行う。ピアノは記録表に従いバイエル、マーチ等を学生の力量に合わせた個人レッスンの形態で行い、音楽表現の向上と表現方法についても検討する。 〔授業における達成課題〕 歌唱、ピアノともに練習あるのみです。特にピアノで初見状態でのレッスンは成立しないので、課題への取り組み、授業後の復習は最低でも60分は楽譜を見て練習を毎日続けていくことが望ましい。焦ることなく、丁寧に取り組むこと。 ＊受講条件として、記録表：ピアノの部分はすべて個人レッスンを受け指導者の押印があることとする。個人レッスンについては、専門家または保育者の指導を必ず受けること。			
	使用教材	出版社	
プリント資料適宜配布			
【使用教室】 ○1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ○3. 出席 ○4. 授業態度 ○5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：実技試験及び出席、授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】有・無 【内容】ピアノ講師としてのの実務経験有り			

科目名			科目時間総数		教員名	
幼児と音楽表現			15時間		7.5限 大縄 方子	
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容			
1限	1時間	作ろう・オペレッタ(Ⅰ)	(1日目) 全員集合で台本を読み合わせ、歌唱部分を全員で練習 グループに分かれて配役を決め、役ごとに読み合わせ→歌ってみる 舞台の背景(美術)・衣装・小物等をアイディアを出しながら作成する		約10日前に資料を配布しておく(グループを決める) 配役は事前に決めておいてもよい※伴奏者・リーダーは決めておく あらかじめ、実際に本を読んで内容をよく理解した上で服装や背景を工夫するとよい。	
	2時間	タイトル				
2限	3時間	「長靴をはいた猫」				
	4時間	(ペローの童話より)				
3限	5時間		※美術等を作成しながら歌の練習			
	6時間		※伴奏者は練習しながらも、作成する人の為に、BGMとして流す。			
4限	7時間		全員集合して、歌唱練習(再)		※ここまでの伴奏は講師 台本を暗記・暗譜してくる	
	8時間	作ろう・オペレッタ(Ⅱ)	全員集合して、歌唱練習		※伴奏者全員で弾く	
5限	9時間		グループに分かれて、美術の仕上げ作業→振付確認作業			
	10時間		振付の仕上げに向けて、まとめる(決定)			
6限	11時間		〃			
	12時間		最終リハーサル		講師より助言あり	
7限	13時間		(1グループ30分)			
	14時間	いよいよ本番!	全員集合して発表する		講師・講評	
7.5限	15時間		(グループ毎に感想・反省点を出させる)			
			後片付け・清掃→解散(最後までしっかりやる)			

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 音楽表現技術		教員名 岩泉昌子 永井淳子	
科目時間数： 15時間		7.5限 授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：2年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 「幼児と音楽表現」での知識を元に、より実践的な歌唱法、ピアノ演奏法、伴奏法、表現法を習得する。 教育現場で必要な声楽曲や弾き歌いのレパートリーを増やす。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を实践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③ 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 子どもの歌やコールユーブンゲンを歌うことでレパートリーを増やし、音程の感覚を養う。 楽典の作品解釈を行い、音楽表現の向上と音楽表現についても習得していく。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 ⑦. その他 (音楽室)			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 ⑤. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：実技試験及び出席、授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】有・無			
【内容】ピアノ講師としてのとしての実務経験有り			

科目名			音楽表現技術		科目時間総数 15時間		7.5限		教員名 岩泉昌子 永井淳子	
時間数		教育に含むべき事項・テーマ			主な学習内容					
1限	1時間	コールユーブンゲン 六度音程			コンコーネ	歌曲 1年目からの継続で腹式呼吸・発声法を通して、イメージしながら表現することを習得する。四季折々に合わせて選曲しながら歌う。	幼児のうた (弾きうたい)			
	2時間						※ピアノ科目と連携しながら進める			
2限	3時間							①全員で模唱 ↓		
	4時間	↓ 七度音程					②曲全体を通して歌えるように努力する			
3限	5時間						③歌と並行して片手ずつ弾く→階名で歌いながら弾く→歌詞をつけて歌ってみる ※左手も同様にやってみる			
	6時間									
4限	7時間	長音階・転調			コンコーネ3～5番		④両手の練習→歌詞をつけてみる 十分に弾き込んでから			
	8時間						⑤一人づつ弾き歌い確認→仕上げ			
5限	9時間						※どの曲も同様に進める			
	10時間	短音階・転調								
6限	11時間									
	12時間	↓ 二短調・ハ短調			コンコーネ6番					
7限	13時間									
	14時間	↓ まとめ								
7.5限	15時間	↓			コンコーネ3～6番 まとめ				↓	
※コールユーブンゲン・コンコーネは、1曲終わるごとに個々に確認。 特にコールユーブンゲンは暗譜で確認する。										

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児と造形表現		教員名 青木 久美	
科目時間数： 15時間 (7.5限)		授業の種類： ☒ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の 別： ☒ 必修 ・ 選択	配当学年：2年次	開講時期： 前期・後期・ ☒ 集中	
【授業の目的・ねらい】 幼児・児童における表現や美術活動の意味と理解。又、充実した指導力向上を目指すものである。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ☒ 2. 幅広い視野で保育を实践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 発達段階における表現活動や美術活動の理解とその過程における指導の観点を考える。制作、鑑賞、評価の理解も同時に考えることとする。絵画制作を通して教育とのつながりを体験する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	造形表現 (指導法) 絵具 鉛筆 画用紙 他	近畿大学九州短期大学通信教育部	
【使用教室】 ☒ 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ☒ 3. 出席 ☒ 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 (発表態度)			
評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】☒ 有 ・ 無 【内容】小・中学校教員としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
幼児と造形表現		15時間	青木 久美
現・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	
		主な学習内容と到達目標	
1	1時間 2時間 限	教育としての絵本の意味と活用について	幼児教育に求められる物語のあり方を知る。
2	3時間 4時間 限	グループごとの制作活動	幼児に伝えたいメッセージ（テーマ）を選択し、ストーリーを話し合う。
3	5時間 6時間 限	〃	登場人物設定、場面分けと分担をし、表現方法を考える。
4	7時間 8時間 限	〃	グループで話し合いながら、絵本（紙芝居）を制作する。
5	9時間 10時間 限	〃	〃
6	11時間 12時間 限	〃	〃
7	13時間 14時間 限	〃	〃
8	15時間 限	発表	演劇的要素を入れて読み聞かせをする。相互評価とグループごとのまとめを行う。

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育心理学		教員名 嶋野 重行	
科目時間数 : 15時間 7.5限		授業の種類 : 講義・演習・実習	
必修・選択 の別 :	必修・選択	配当学年 : 1年次	開講時期 : 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 子どもの学習行動を概念の獲得、筋道を立てて考える思考の形成、勉強の仕方、学習に対する意欲・自発性・態度・学習を肯定する価値観を軸にして教育心理学を考えることを目標にする。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ①. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 子どもの学習行動を概念の獲得、筋道を立てて考える、思考の形成、勉強の仕方、学習に対する意欲・自発性・態度・学習を肯定する価値観を軸にして教育心理学を考える。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	教育心理学	近畿大学九州短期大学通信教育部	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 ④. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 () 【備 考】 評価について : 実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。 【担当教員の実務経験の有無】 有・無 【内容】 幼稚園園長としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
教育心理学		15時間	嶋野 重行
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
1限	1時間	教育心理学の歴史と課題	教育心理学の歴史と影響を与えた主な理論について概観する。
	2時間	発達とは	遺伝と環境、発達のとらえ方と理論について理解する。
2限	3時間	行動とは	S-R連合説、行動理論について理解する。
	4時間	発達課題	ライフステージにおける発達課題について理解する。
3限	5時間	愛着	幼児期の愛着について理解する。
	6時間	コミュニケーション	コミュニケーションとは何かについて理解する。
4限	7時間	動機づけ	興味関心と動機づけについて理解する。
	8時間	言語と数量	ピアジェの理論を手がかりに言語と数量の概念について理解する。
5限	9時間	社会性の発達	社会的参照、向社会的行動、道徳性の発達について理解する。
	10時間	絵・音楽・運動の発達	幼児期の絵、音楽、運動の発達について理解する。
6限	11時間	遊びの発達	幼児期・児童期の一人遊びから集団遊びについて理解する。
	12時間	学級の人間関係	幼稚園・小学校での学級における人間関係について理解する。
7限	13時間	発達とは	知的・身体・精神・病弱虚弱など障害全般について理解する。
	14時間		
7.5限	15時間	発達障害とは	LD・ADHD・ASDと気になる子どもについて理解する。

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児の心理学		教員名 川原 正弘	
科目時間数：15時間 (7.5限)		授業の種類：講義・演習・実習	
必修・選択 の別：必修・選択	配当学年：1年次	開講時期：前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 教育心理学の方法等の基礎的な理論を理解し、保育に生かす基本的なスキルを習得する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 子どもの学習行動を理解し、発達、成長、思考の形成、学習に対する意欲・自発性、態度等、学習を肯定する価値観を軸にして幼児の心理学を考える。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	保育に生かす教育心理学	(株) みらい	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ① 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備 考】			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無 【内 容】 県立学校教諭等としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
幼児の心理学		15時間	川原 正弘
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間	保育に生かす教育心理学・子どもの発達（愛着形成）	教育心理学について理解する。
	2時間		子どもの成長発達（愛着形成を中心に）を理解し、促す教育の在り方を理解する。
2限	3時間	子どもの学び、学習行動	遊びの中での学習について理解する。
	4時間		基礎的な学習行動について理解する。
3限	5時間	知的能力、パーソナリティの発達	知能とは何か、測定方法の基礎について理解する。
	6時間		適応、不適応について理解し、実際の教育の場面で生かすことを理解する。
4限	7時間	教育・保育評価、発達障害のある子ども	学習評価、保育評価について理解する。
	8時間		発達障害について理解し、実際の指導場面で生かす方法を考える。
5限	9時間	保育における集団と個人	集団が果たす役割について説明できる。
	10時間		保育環境の果たす役割について理解できる。
6限	11時間	幼・保・小との連携	保育指針から見える小学校との連携について理解できる。
	12時間		就学前の気になる幼児について理解できる。
7限	13時間	家族への教育的支援	家族への信頼感の醸成について理解できる。
	14時間		カウンセリングの基本的な理論について理解できる。
7.5限	15時間	登園しぶり、児童虐待、早期教育	不登校、登園しぶりの状況、背景について理解できる。
			早期教育への理解を深めることができる。

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 健康(指導法)		教員名 松好 伸一	
科目時間数： 15時間		7.5限 授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 幼稚園教育要領「健康」のねらい・目的を理解し、子どもの健康に必要な知識とその援助・技術を学ぶ。 【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 子どもの全面的な発達を促すために、人間の身体や健康、それにかかわる環境についての理解を深め、子どもの健康に必要な知識とその指導、援助の技術、技能を獲得する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通 〃	健康 <理論編> 幼稚園教育要領解説	教育情報出版 フレーベル	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無 【内容】 保育士、幼稚園教諭としての実務経験			

科目名			科目時間総数	教員名
健康(指導法)			15時間 7.5限	松好 伸一
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	1時間	幼稚園教育要領の解説	幼稚園教育要領の領域「健康」について理解する	
	2時間	幼児期の特性について	幼児期の生活や発育・発達の仕方を理解する	
2 限	3時間	〃		
	4時間	幼稚園教育の基本	環境を通して行う教育について	
3 限	5時間	〃		
	6時間	領域「健康」・ねらいの解説	領域「健康」・ねらいの解説	
4 限	7時間	領域「健康」・内容の解説	領域「健康」・内容・内容の取扱いの解説	
	8時間	〃		
5 限	9時間	〃		
	10時間	〃		
6 限	11時間	〃		
	12時間	〃		
7 限	13時間	試験対策		
	14時間			
7.5 限	15時間	試験		

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 人間関係(指導法)		教員名 松好 伸一	
科目時間数 : 15時間		7.5限 授業の種類 : 講義・演習・実習	
必修・選択 の別 :	必修	配当学年 : 2年次	開講時期 : 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 ・領域「人間関係」に関する教育・保育内容及び指導に関する知識・技術を習得する。 ・子どもの発達を領域「人間関係」の観点で捉え、子どもの理解を深める。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 子どもの人間関係をめぐる諸課題について理解を深め、領域「人間関係」の内容及び意義について学習する。また、子どもが単に集団にうまく適応することのみを問題にするのではなく、「他者理解」を通して人の豊かなかかわり経験することの意義を学ぶ。人との豊かなかかわりを育てる保育者としての役割について学習する。 【授業における達成課題】 ・幼稚園教育要領および保育所保育指針の領域「人間関係」を熟読すること。 ・授業中、指示された課題をまとめて提出すること。			
	使用教材	出版社	
	資料配布		
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 ④ 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ① 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について : 授業への積極的参加 (発表等) 30% 試験70%			
【担当教員の実務経験の有無】(有) 無 【内容】 保育士としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
人間関係(指導法)		15時間	松好 伸一
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
1限	1時間	領域について	領域「人間関係」の観点
	2時間		領域「人間関係」のねらいと内容とはなにか
2限	3時間	安心感と信頼感	自己の形成と他者理解
	4時間		〃
3限	5時間	自己表出	集団における自己の発達
	6時間		〃
4限	7時間	自己発揮と自己抑制	社会性の発達と遊び
	8時間		協力・競争・排除
5限	9時間		〃
	10時間	道徳性・規範意識の芽生え	思いやりと道徳性の芽生えと集団生活に必要な規範
6限	11時間	友達との関わり	こどものコミュニケーション
	12時間		〃
7限	13時間	内面理解	保育者の役割と指導について
	14時間		〃
8限	15時間	まとめ	まとめ

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児と健康		教員名 高橋 裕貴子	
科目時間数 : 15時間 (7.5限)		授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の 別 :	必修・選択	配当学年 : 2年次	開講時期 : 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 ・今の時代を生きる子どもたちに対する運動遊びの持つ教育的意義について説明でできる ・各種の運動遊びを素材とした指導計画を作ることができる ・運動遊びの「ねらい」お実現するために必要な効果的な指導技術を習得する 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を实践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 幼児期の運動遊びを体験することを通して、保育者として必要な運動遊びのレパートリーを増やす事と、バリエーションの広げ方を理解すると共に、運動遊びの指導に必要な保育技術についても検討し、実践的指導力の向上を目指す。 【授業における達成課題】 乳幼児期のそれぞれの段階の発達の特徴について理解を深める。 運動あそびのバリエーションを増やし安全に指導が出来る。 運動遊びを素材とした指導計画を作ることが出来る。			
	使用教材	出版社	
	からだの土台を作る運動遊び100	中央法規	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 ⑦. その他 (協力幼稚園)			
【備 考】 評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無			
【内容】			

科目名		科目時間総数		教員名
幼児と健康		15時間	(7.5限)	高橋 裕貴子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 限	1時間 2時間	乳幼児期の運動発達と健康について	それぞれの年齢に応じた発達度合を理解し、適した運動遊びを学ぶ	
2 限	3時間 4時間	様々な運動遊びの実践①	実際に運動遊びを体験する	
3 限	5時間 6時間	様々な運動遊びの実践②	グループワークを取り入れ、グループごとに運動遊びの発表をする	
4 限	7時間 8時間	様々な運動遊びの実践③	〃	
5 限	9時間 10時間	様々な運動遊びの実践④	〃	
6 限	11時間 12時間	様々な運動遊びの実践⑤	〃	
7 限	13時間 14時間	様々な運動遊びの実践⑥	〃	
7.5 限	15時間	まとめ	学んだことの振り返りをする。	

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育原理		教員名 本山 敬祐	
科目時間数： 30時間 (15限)		授業の種類： <u>講義</u> ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： <u>必修</u> ・選択	配当学年： 1年次	開講時期： <u>前期</u> ・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 本科目は、保育者になるにあたって求められる教育観・子ども観・保育者観等の基礎となる知識を修得するとともに、自らの「観」を豊かにするための思考力や表現力の基礎を身に付けることを目的とする。			
【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ①. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)			
【授業全体の内容の概要】 講義を中心とする。講義のなかで学生同士の対話の機会を重視する。			
【授業における達成課題】 ・ 教育とは何か、子どもはどのような存在か、これからの時代を生きる子どもたちにどのような保育が必要かについて、テキストの内容を踏まえつつ、自分の言葉で議論できるようになること。			
【使用教材・テキスト等】 垂見直樹他 (2019) 『保育のための教育原理』			
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ①. 筆記試験 ②. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 筆記試験並びにレポートの合計が60点以上を合格とする。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ <u>無</u>			
【内 容】			

科目名		科目時間総数	教員名
教育原理		30時間 (15限)	本山 敬祐
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限 1時間 2時間	オリエンテーション	講義の進め方を理解する	
2限 3時間 4時間	教育とは何か 演習	教育の定義や学習との違いを説明できるようになる。 隠れたカリキュラムに着目して保育実践の改善点を考察する。	
3限 5時間 6時間	幼児教育の思想 演習	子ども観の歴史的変遷を理解する。 権利主体としての子ども像を前提に保育実践を考える。	
4限 7時間 8時間	教育制度の成立と幼児教育の展開 演習	保育内容の制度的変遷を踏まえて、新しい保育の潮流を理解する。	
5限 9時間 10時間	戦後日本における教育の再出発 演習	戦後日本の幼児教育制度史を理解する。	
6限 11時間 12時間	教育の法規と制度の基礎 演習	教育に関する法規の基礎を理解する。 日本の就学前教育制度の特徴と課題を理解する。	
7限 13時間 14時間	諸外国における教育・保育 演習	多様な保育実践に触れ、日本の保育の特徴を理解する。	
8限 15時間 16時間	教育の方法 演習	幼児期の教育方法の基本原理を理解し、子どもたちに必要な教育について資質・能力の観点から説明できる。	
9限 17時間 18時間	教育の内容 演習	幼児期の教育内容を理解し、子どもたちに必要な教育について資質・能力の観点から説明できる。	
10限 19時間 20時間	教育の計画と評価 演習	教育における計画や評価の基礎を理解する。 子どもの実態にもとづく計画の見直しや改善のポイントを理解する。	
11限 21時間 22時間	現代社会と生涯学習 演習	生涯学習の理念等を理解する。	
12限 23時間 24時間	教育／保育現場をめぐる現代的課題 演習	教育現場における課題を通して日本社会が抱える課題について考察し、保育者として求められる役割が説明できるようになる。	
13限 25時間 26時間	連携による教育・保育 演習	就学前教育と小学校との連携の基礎的な考え方を理解し、保育者として望ましい連携の在り方を検討する。	
14限 27時間 28時間	教育・保育における対話 演習	子どもと大人の対話や子ども同士の対話の重要性について理解し、子どもの声に耳を傾けるための姿勢を養う。	
15限 29時間 30時間	まとめ	講義全体を振り返り、学んだことを言語化する。	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 造形表現（指導法）		教員名 青木 久美	
科目時間数： 30時間 (15限)		授業の種類： <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習	
必修・選択 の 別：	<u>必修</u> ・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・ <u>後期</u> ・集中
【授業の目的・ねらい】 幼児の造形の発達に関する絵画と構成の表現活動を、自らの造形活動を通して学ぶ。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. <u>幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力)</u> 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 幼児の造形の発達に関する内容や実践的な表現活動内容の研究を行い、幼児の造形活動に対して適切な援助と教育を行える能力を養成する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	造形表現指導法 演習に必要な材料	近畿大学九州短期大学通信教育部	
【使用教室】 1. <u>HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【備考】 評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u>・無 【内容】 小・中学校教員としての実務経験			

科目名		科目時間総数		教員名
造形表現（指導法）		30時間（15限）		青木 久美
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標		
1 限	1時間	幼児の造形教育史	幼児の造形教育史の流れを知る。	
	2時間	〃	指導要領を理解する。	
2 限	3時間	幼児造形の原理	子供の発達と表現形式の特色を知る。	
	4時間	〃	様々な子どもの作品を鑑賞し、興味をもつ。	
3 限	5時間	幼児の発達と造形活動	本時の造形指導のねらいと内容を知る。	
	6時間	六か月から二歳未満児	感触を楽しむ造形活動をする。	
4 限	7時間	幼児の発達と造形活動	本時の造形指導のねらいと内容を知る。	
	8時間	二歳児から三歳児	おはなしをしながら絵を描く活動、見立て遊びをする。	
5 限	9時間	幼児の発達と造形活動	本時の造形指導のねらいと内容を知る。	
	10時間	四歳児の保育	生活体験から絵を描く活動を疑似体験する。	
6 限	11時間	幼児の発達と造形活動	造形指導のねらいと内容を知る。	
	12時間	五歳児の保育	描画材料の工夫をした造形活動を体験する。	
7 限	13時間	幼児の発達と造形活動	造形指導のねらいと内容を知る。	
	14時間	六歳児の保育	用具の使い方や行事に合わせた造形活動を体験する。	
8 限	15時間	表現（造形）活動の指導	本時の課題を知り、新聞紙を使った造形あそびを体験する。	
	16時間	造形あそびの指導	体験から学んだことを話し合う。	
9 限	17時間	表現（造形）活動の指導	本時の課題を知り、を使った造形あそびを体験する。	
	18時間	造形あそびの指導	体験から学んだことを話し合う。	
10 限	19時間	表現（造形）活動の指導	本時の課題を知り、を使った造形あそびを体験する。	
	20時間	お話の絵の指導	お話を聞き、墨汁を使っておおまかな線を描く。	
11 限	21時間	〃	共同絵の具を使って着色する。	
	22時間	〃	体験から学んだことを話し合う。	
12 限	23時間	表現（造形）活動の指導	課題に取り組ながら、幼児とのかかわりを考える。（①～③）	
	24時間	共同制作①	課題①に取り組む。	
13 限	25時間	共同制作②	課題②に取り組む。	
	26時間	〃	〃	
14 限	27時間	共同制作③	課題③に取り組む。	
	28時間	〃	〃	
15 限	29時間	保育の実践に向けて	幼児とのかかわり方について大事なことをまとめる。	
	30時間	まとめと振り返り	これまでの講義と演習全体を振り返る。	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 造形表現（指導法）		教員名 青木 久美	
科目時間数： 15時間 (7.5限)		授業の種類： <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習	
必修・選択 の 別：	<u>必修</u> ・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・後期・ <u>集中</u>
【授業の目的・ねらい】 幼児の造形の発達に関する絵画と構成の表現活動を、自らの造形活動を通して学ぶ。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ②幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 幼児の造形の発達に関する内容や実践的な表現活動内容の研究を行い、幼児の造形活動に対して適切な援助と教育を行える能力を養成する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	造形表現（指導法） 絵具、空き容器、はさみ、のり等	近畿大学九州短期大学通信教育部	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【備 考】 評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】<u>有</u>・無 【内容】 小・中学校教員としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
造形表現（指導法）		15時間	（7.5限） 青木 久美
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間	様々な技法をつかって	前期の図画工作の授業からの続きとして、絵画領域の様々な
	2時間		表現方法の中から、いくつかを体験する。
2限	3時間	版による表現	身の回りの物、野菜の断面などでスタンプングをする。
	4時間	〃	スタンプングをしながら、自分の気に入った表現を見つける。
3限	5時間	〃	指導者の働きかけにより、グループでスタンプングを楽しむ。
	6時間	〃	全員のスタンプングを1つの作品になるようにデザインする。
4限	7時間	〃	造形遊びから作品作りに向かう過程を発達段階に置き換えて
	8時間	課題のまとめと評価	造形教育の大切さをまとめる。
5限	9時間	テーマと材料からの発想	1つのテーマのもとで様々な発想を生かす造形を知る。
	10時間	「すてきなパーティー」	牛乳パックでショートケーキを作る。
6限	11時間	〃	折紙や空き容器などを使って、テーマに沿った工作づくりは
	12時間	〃	取り組む。
7限	13時間	〃	〃
	14時間	〃	時間内でできたところまでを振り返り、自己評価をする。
7.5限	15時間	課題のまとめと評価	材料集めや環境整備の必要性や教材開発についてまとめる。

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 音楽表現(指導法)		教員名 小玉 充子	
科目時間数： 7.5		限 授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の 別： 必修・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 実践的表現活動（オペレッタ）を通して、音楽表現の分野について幅広い知識と柔軟性に富んだ発想力、表現力を身に付ける。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 創造豊か、感情豊かな成長のために求められる保育の環境設定や援助法について、実践的表現活動（オペレッタ）を通して学ぶ。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
プリント資料適宜配布			
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）			
【備 考】 評価について：実技試験及び出席、授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】有・無 【内容】ピアノ講師としてのとしての実務経験有り			

科目名			科目時間総数		教員名	
音楽表現(指導法)			15時間	7.5限	小玉 充子	
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容			
1限	1時間	作ろうオペレッタ(I) (タイトル未定)	(1日目) ・全員で台本を読み合わせる ・歌唱部分を全員で練習 ・グループごとに配役を決める ・役ごとに読み合わせ→歌ってみる ・舞台の背景(美術)衣装、小物などをアイディアを出しながら作製開始 ・それぞれを作製しながらも歌、せりふの練習は続ける ・伴奏者は練習しながらも、作製している人のためにBGMとして流す ・伴奏の練習を休んでいるときは、一緒に作製する 全員集合して歌唱練習(ここまでの伴奏は講師。台本を暗記、暗譜してくる)		当日までにやっておくこと	
	2時間				(備考)約2週間前に資料を配布する ・グループを決める ・配役は事前に決めておいたほうが良い ・伴奏者、リーダー(1名)を決めておく ・伴奏者は練習しておくこと ・あらかじめ材料を調達しておくことスムーズにいく	
2限	3時間					
	4時間					
3限	5時間					
	6時間					
4限	7時間					
	8時間					
		↓				
5限	9時間	作ろうオペレッタ(Ⅱ)	(2日目) ・全員集合して歌唱練習(ここからは、伴奏者全員で弾く) ・グループに分かれて美術の仕上げ作業→振付の確認をする			
	10時間					
6限	11時間		振付けの仕上げに向けてまとめる(決定)			
	12時間					
7限	13時間		最終リハーサル(グループごとの時間の割り振りは当日決める)		講師より助言する	
	14時間					
7.5限	15時間		全員集合して発表する 終了後、全員で後片付け→清掃して解散(最後までしっかりやる)		講師より講評する	
		↓				
※後日提出で、感想、反省点のレポートを書かせる(全員)						

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 環境（指導法）		教員名 橋場 早苗	
科目時間数： 15時間		7.5限 授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 1. 幼稚園や施設などで、遠足や自然探索の目的で利用される動物公園が、どのような施設であるのかを知り、その役割を推察する。2. 幼児や老人、障害者と動物を触れ合わせるために、保育者や援助者はどんなことに留意し、援助していかなければならないかを学ぶ。3. 自然の中で、学生自身が観察・発見をすることによって、自然と人間との共存や環境を守る大切さを実感する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 子どもを取り巻く環境の変化を把握し、子どもたちの生きる力を培うための保育の工夫、自然体験、社会体験などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもと自然とのかかわりを深める保育の実践的指導能力の育成を目指す。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
		使用教材	出版社
学生用・教員用 共通		事例で学ぶ保育内容「環境」	萌文書林
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（盛岡市動物公園）			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）			
【備考】 出席、態度、意欲、レポート、実践発表の総合点、60点以上を合格、単位認定。			
【担当教員の実務経験の有無】有・無 【内容】幼稚園教諭としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
環境(指導法)		15時間 7.5限	橋場 早苗
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
1 限	1時間	動物公園の動物、自然環境、役割等の実地調査と観察	盛岡市動物公園体験学習
	2時間		公園内の動物の生態観察と公園散策・調査
2 限	3時間		自然観察・調査、昆虫採集
	4時間		動物公園の職員によるレクチャー
3 限	5時間		・小動物の飼育について（パワーポイント）
	6時間		・動物園の役割や仕事内容について学ぶ
4 限	7時間		うさぎ等に実際に触れる直接体験
	8時間		「動物公園見学の感想と考察」
5 限	9時間	実地調査、観察についてレポート作成	・子どもと環境について考察する。
	10時間		・動物公園の役割について考察する。
6 限	11時間	グループワーク「ネイチャーゲーム」の考案	「動物の生態のまとめ」
	12時間		ネイチャーゲームを考える（グループワーク）
7 限	13時間		ネイチャーゲームの提案と実践
	14時間		自分に似た葉の発表会
7.5 限	15時間	まとめ	子どもと自然とのかかわりについて検証する。

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 言葉（指導法）		教員名 阿部 温子	
科目時間数： 15時間 (7.5限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 ・保育内容「言葉」を理解し、言語環境の構成・言葉の力を育む指導を実践できるようになる ・いろいろな児童文化財を学び実践する中で、言語表現の技法を高めていく。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③ 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 保育内容「言葉」の目標・ねらい・内容を理解し、保育者としての子どもとの関わり方について技法を学び、実践できる力を身に付ける。（講義・実技講演・創作絵本の実施） 【授業における達成課題】 ・当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技法等について学び、その技法を実践できるようになる。 ・児童文化財の活用を通して保育を構想することが出来る。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	[新訂]子どもと言葉	萌文書林	
【使用教室】 ① HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 1. 筆記試験 ② レポート ③ 出席 ④ 授業態度 5. 実技試験 ⑥ 提出物			
【備考】 ①出席・態度・意欲ー30点 ②創作絵本提出ー30点 ③レポートー40点 合計100点中60点以上 合格			
【担当教員の実務経験の有無】☒ 有 無 【内容】幼稚園教諭としての実務経験			

科目名			科目時間総数	教員名
言葉（指導法）			15時間	阿部 温子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容と到達目標	
1	限	1時間 2時間	言葉の発達の重要性について知る	子どもの発達における絵本の役割について知る
2	限	3時間 4時間		言葉遊びを通して、言葉の面白さ等に気づく
3	限	5時間 6時間	絵本の製作	自分なりに絵本の構成、アイディアなどを考えて絵本を製作する
4	限	7時間 8時間	〃	〃
5	限	9時間 10時間	〃	〃
6	限	11時間 12時間	〃	〃
7	限	13時間 14時間	〃	〃
8	限	15時間	絵本の完成・発表	各自創作した絵本を見合いながら、絵本の面白さ、大切さ等を知る

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 乳児保育 I		教員名 岩城 安生	
科目時間数 : 30時間 (15限)		授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の 別 :	必修・選択	配当学年 : 3年次	開講時期 : 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 乳児の発達の意味を知り、毎日の活動の一つ一つがより良いものとなるよう環境を整え、必要な援助について学び、保育者の役割を理解する 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を实践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 3歳未満児の発育発達と発達課題、保育の内容、保育の实践の方法を学習し、知識と技能の基礎を身につけ、子どものあるがままの姿を捉え、保育することができる力を養う。子育てを担う保護者を支援する者としての保育者の役割を考え、保護者の良き理解者としての知識や技能を習得する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	はじめて学ぶ『乳児保育』	同院書院	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 ④ 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ③ 出席 ④ 授業態度 5. 実技試験 ⑥ その他 (レポート等含む			
【備 考】			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 保育士としての実務経験			

科目名			科目時間総数	教員名
乳児保育Ⅰ			30時間	岩城 安生
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容と到達目標	
1	限	1時間	オリエンテーション	講義内容と乳児保育の重要性
		2時間	保育理論	乳児保育とは
2	限	3時間		社会の変化と乳児保育の変遷
		4時間		社会の変化と乳児保育の変遷
3	限	5時間		乳児保育の役割と機能
		6時間		乳児保育の役割と機能
4	限	7時間		乳児保育における養護と教育
		8時間		乳児保育における養護と教育
5	限	9時間	実践と向き合う	保育所における乳児保育
		10時間		保育所における乳児保育
6	限	11時間		児童福祉施設における乳児保育
		12時間		児童福祉施設における乳児保育
7	限	13時間		地域型保育事業等における乳児保育
		14時間		地域型保育事業等における乳児保育
8	限	15時間	子育て支援	乳児が育つ家庭への子育て支援
		16時間		乳児が育つ家庭への子育て支援
9	限	17時間	保育士としての視座	乳児保育の基本的姿勢
		18時間		乳児保育の基本的姿勢
10	限	19時間		乳児保育と保育者の役割
		20時間		乳児保育と保育者の役割
11	限	21時間	実際の保育から	乳児期の生活と環境
		22時間		乳児期の生活と環境・乳児期の遊びと環境
12	限	23時間		乳児期の遊びと環境
		24時間		乳児期から移行期への保育
13	限	25時間		乳児期から移行期への保育
		26時間		乳児保育における計画・記録・評価
14	限	27時間		乳児保育における計画・記録・評価
		28時間		乳児保育における連携と協働
15	限	29時間	今後の乳児保育	乳児保育の質を高める取り組み
		30時間		まとめ

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 乳児保育Ⅱ	教員名 松好 伸一				
科目時間数： 15時間	授業の種類： ☒ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習				
必修・選択の別： ☒ 必修 ☐ 選択	配当学年： 3年次				
開講時期： 前期・後期・ ☒ 集中					
【授業の目的・ねらい】 乳児を取り巻く社会的環境・状況を把握し、乳児の豊かな発達を保障するための保育者としての役割を实践と新聞作成を通し、理解を深める 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ☒ 2. 幅広い視野で保育を实践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 3歳未満児の発育発達と発達課題、保育の内容、保育の实践の方法を学習し、知識と技能の基礎を身につけ、子どものあるがままの姿を捉え、保育することができる力を養う。子育てを担う保護者を支援する者としての保育者の役割を考え、保護者の良き理解者としての知識や技能を習得する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育实践に必要な知識を習得する。					
学生用・教員用 共通	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%; padding: 5px;">使用教材</th> <th style="width: 50%; padding: 5px;">出版社</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">『乳児保育Ⅱ』保育士を育てる⑥</td> <td style="padding: 5px;">一藝社</td> </tr> </table>	使用教材	出版社	『乳児保育Ⅱ』保育士を育てる⑥	一藝社
使用教材	出版社				
『乳児保育Ⅱ』保育士を育てる⑥	一藝社				
【使用教室】 ☒ 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()					
【評価方法】 ☒ 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()					
【備考】 出席、授業態度、意欲、提出物、小テストにて評価					
【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ☐ 無					
【内容】 保育士、幼稚園教諭としての実務経験					

科目名		科目時間総数		教員名
乳児保育Ⅱ		15時間	7.5限	松好 伸一
時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容	
1限	1時間		オリエンテーション、授業内容説明	
	2時間	理論と実践	乳児保育の基本	
2限	3時間		乳児期の養護の実践	
	4時間		乳児期の子どもの学び	
3限	5時間	計画	乳児保育における指導計画の実際	
	6時間		乳児期の健康と安全	
4限	7時間	実際の保育	6か月未満児の保育・生活と遊び	
	8時間		7か月～1歳未満児保育	
5限	9時間		7か月～1歳未満児の生活と遊び	
	10時間		1歳児の保育・生活と遊び	
6限	11時間		2歳児の保育・生活と遊び	
	12時間	様々な乳児保育	地域型保育事業等における乳児保育	
7限	13時間		特別な配慮を必要とする乳児の保育	
	14時間		乳児保育の課題と対応	
7.5限	15時間	確認テスト	まとめ	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習Ⅱ		教員名 松好伸一	
科目時間数：90時間 45限		授業の種類：講義・演習・実習	
必修・選択 の別：必修・選択	配当学年：3年次	開講時期：前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 1. 今までの実習経験を活かしつつ、保育現場での実践体験を通して、保育者の働きを学び、保育者を志すものとしての自身の課題に向き合う。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。既習の知識や経験を踏まえ、子ども保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する。保育士としての自己の課題を明確化する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通 〃	保育実習 保育園実習日誌	中央法規 県内保育者養成校	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 ⑦. その他(実習園			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 ⑥. その他(実習評価			
【備考】 評価について：実習評価により、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】有 無 【内容】保育士としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
保育実習Ⅱ		90時間	松好 伸一
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
45 限	90時間	子ども理解と援助方法	①子どもの育ちを理解し、それに応じた保育士の援助や役割、及び 保育の内容や展開について学ぶ
			②その場に応じた子どもへの対応と保育について理解する
			・自由遊びの子どもの
			・延長保育の子どもの様子
			・障がいを持つ子どもの支援の実際
			・問題のある子どもや保護者に対する対応について
			③母子・父子家庭への支援について
			④延長保育・休日保育・育児相談など子育て支援事業の理解
		部分実習	⑤保育の計画 指導案の立案
			・実習指導者の指導に従い、子どもの様子、クラスの様子を理解し 立案する。
			・朝の会・帰りの会・設定保育・給食時間等の時間を受け持つ
		全日実習	⑥保育の計画 指導案の立案
			・保育士としての自己の課題を明確化する
			・子どもの動き、心をくみ取り、臨機応変な保育方法を学ぶ
			・個々の発達理解と集団としての行動の在り方の理解
		自己課題達成	⑦家庭支援を含めた多様な保育所の機能や社会的役割とその意味に ついて学ぶ
			⑧乳幼児保育について考え、子どもの最善の利益にかんがみた子ども 観・保育観を身に付ける。

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習Ⅲ		教員名 竹内 愛美	
科目時間数： 90時間 45限		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別：	必修・ <u>選択</u>	配当学年：3年次	開講時期： 前期・後期・ <u>集中</u>
【授業の目的・ねらい】 施設を取り巻く家庭と地域の生活実態にふれ、家庭福祉ニーズに対する理解力を深め、子育てを支援するために必要とされる能力を養うことを目的とする。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) <u>2.</u> 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 児童福祉施設等（保育所以外）の役割や機能について実践を通して、理解を深める。家庭と地域の生活実態にふれて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する。保育士としての自己の課題を明確化する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通 〃	保育実習事前指導 【保育実習Ⅲ】施設実習日誌	近畿大学九州短期大学通信教育部 〃	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 <u>7. その他</u> 実習施設			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 <u>6. その他</u> (実習評価			
【備考】 評価について：実習評価により評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】<u>有</u>・無 【内容】障害児施設職員としての実務経験			

保育実習Ⅲ			科目時間総数 90時間	45限	教員名 竹内 愛美
		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
45限	90時間	児童（利用者）の最善の利益への配慮について理解	実習施設の理念、目標等から、その意味を理解 保育士の援助の方法や対応から、その姿勢を理解		
		養護・支援全般に参加し、養護・支援技術を習得	施設の養護・支援活動に参加し、技術を習得 保育士の職務を理解し、日々の生活を通してその役割を習得		
		養護・支援全般に参加し、養護・支援技術を習得	施設の養護・支援活動に参加し、技術を習得 保育士の職務を理解し、日々の生活を通してその役割を習得		
		児童（利用者）の個人差、ニーズについて理解、その対応方法を習得	児童（利用者）に共感し、受容する態度を習得 児童（利用者）の個人差に応じた対応方法の習得		
		児童（利用者）の個人差、ニーズについて理解、その対応方法を習得	児童（利用者）の発達の違いに応じた支援方法を理解 生活環境に伴うニーズの理解		
		援助計画の理解	ケース記録の閲覧、個別支援計画の理解 立案方法の理解		
		家庭とのコミュニケーションの方法を具体的な事例を通して理解	日常の保護者との対応を通してコミュニケーションの方法を理解		
		地域社会との連携について具体的に理解	地域の子育てニーズと施設の役割について理解 地域支援事業等の実際に触れ、地域の保育ニーズを理解		
		施設保育士として職業倫理を理解	守秘義務の遵守について实际的に理解 保育士の具体的な職業倫理について理解		
		自己の課題を明確化する	施設保育士に必要な資質や支援技術について理解 実習を総括し、実習を通して得た問題や課題を確認		

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習事前事後指導Ⅱ		教員名 橋場早苗	
科目時間数： 7.5時間 (3.75限)		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・演習	配当学年：3年次	開講時期： 前期・後期・集中	
〔授業の目的・ねらい〕 既習の内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深め、指導計画の作成や記録などの保育の実践力を養う。 〔こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連〕 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 〔授業全体の内容の概要〕 既習の内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深め、指導計画の作成や記録などの保育の実践力を養う。 〔授業における達成課題〕 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通 〃	保育実習 【保育実習Ⅱ】保育園実習日誌	中央法規 県内保育士養成校統一様式	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 ⑥. その他 も 実技や演習等含む			
【備考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】有 無 【内容】保育士としての実務経験			

科目名 保育実習事前事後指導Ⅱ		科目時間総数 7.5時間	教員名 (3.75限) 橋場早苗
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	限	1時間	指導計画の作成
		2時間	・折り紙を使って指導計画を立ててみる
			・指導計画に沿って実践し、意見交換を行う
			↓
2	限	3時間	
		4時間	検討会
			・集団の援助と個別の援助について
			・保育者同士の連携について
3	限	7時間	・写真でのワークを通してを子どもの気持ちと具体的な関わりについて考える
3.8	限	7.5時間	保育教材について
			・発想の転換と柔軟性を養う

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習事前事後指導Ⅲ		教員名 高橋立	
科目時間数： 7.5時間 3.75限		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・ <u>選択</u>		配当学年： 3年次	開講時期： 前期・後期・ <u>集中</u>
【授業の目的・ねらい】 既習の内容を基盤に、実習施設の理解、子ども（利用者）や家庭への支援について理解を深め、援助の方法や支援のあり方など実践力を養う。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 既習の内容を基盤に、実習施設の理解、子ども（利用者）や家庭への支援について理解を深め、援助の方法や支援のあり方など実践力を養う。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通 〃	保育実習事前指導 【保育実習Ⅲ】施設実習日誌	近畿大学九州短期大学通信教育部 〃	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ①. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備 考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】<u>有</u>・無 【内容】障害児施設職員としての実務経験			

科目名		保育実習事前事後指導Ⅲ	科目時間総数	7.5時間	3.75限	教員名	高橋立
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容				
1 限	1時間	実習課題の設定	実習研究で学んだ実習に求められる内容に即した実習課題の設定				
	2時間		設定された実習課題を「動機」「課題達成方法」に分類し、実習計画に盛り込む				
2 限	3時間		実習後における、自身の実習体験の振り返りと実習課題の考察				
	4時間		設定された実習課題を「動機」「課題達成方法」に分類し、実習計画に盛り込む				
3 限	5時間	実習課題の考察	実習後における、自身の実習体験の振り返りと実習課題の考察				
	6時間	実習報告書の作成	実習報告会に向けた実習報告書の作成				
3.8 限	7時間	実習報告会	実習報告会				

科目名 幼児と言葉		教員名 阿部 温子	
科目時間数 : 15時間 (7.5限)		授業の種類 : <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習	
必修・選択の別 : <u>必修</u> ・選択	配当学年 : 1年次	開講時期 : 前期・ <u>後期</u> ・集中	
【授業の目的・ねらい】 この科目は、5領域を理解し、保育を総合的に計画・実践するための専門科目であり、他の領域と関連付けながら、領域「言葉」のねらい及び内容の理解を深め、幼児の興味関心や発達を踏まえた上で、言葉の力を伸ばす保育を構想する力の修得を目指す。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 ・ 幼児教育の基本と領域「言葉」のねらい及び内容を理解した上で、「言葉」の持つ機能・役割を学び、各年齢ごとの言葉の獲得・発達過程・指導援助のあり方を具体的に考察する。また、園生活での遊び、子どもの様子などの写真や動画を取り入れ、それぞれの場面における子どもの表情や言葉を通して、幼児理解を深める。 ・ 言葉を通して心を育む児童文化の種類・役割・技法等を学ぶ。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として必要な知識と技法等について学び、その技法を実践することができるようになる。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	[新訂]子どもと言葉	萌文書林	
【使用教室】 ①. <u>HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ①. <u>筆記試験</u> ②. <u>レポート</u> ③. <u>出席</u> ④. <u>授業態度</u> 5. 実技試験 6. その他 (学習状況 ※実習評価に含める			
【備考】 ①出席・態度・意欲—30点 ②試験—50点 ③提出物—20点 合計100点中60点以上 合格			
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u>・無 【内容】 幼稚園教諭としての実務経験			

科目名			科目時間総数	教員名
幼児と言葉			15時間	(7.5限) 阿部 温子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	限	1時間 2時間	人の生活と言葉	子どもにとって言葉とは言葉の意義と機能を学ぶ
2	限	3時間 4時間	子どもの言葉の発達過程	誕生から幼児期後期までの言葉の発達過程を理解する
3	限	5時間 6時間		幼児の言葉の発達と子ども同士の相互作用について学ぶ
4	限	7時間 8時間	領域「言葉」のねらいと内容	領域「言葉」のねらいと内容について学ぶ
5	限	9時間 10時間	児童文化財について	子どもの発達における児童文化財の役割について知る
6	限	11時間 12時間		児童文化財を通しての援助と関わりについて理解する
7	限	13時間 14時間	試験	
8	限	15時間	学びの再確認	試験の見直しをして学びの再確認をする

授業計画表

こども福祉 学科

M C L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児と人間関係		教員名 阿部 温子	
科目時間数：15時間 (7.5限)		授業の種類：講義・演習・実習	
必修・選択 の別：必修・選択	配当学年：1年次	開講時期：前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 現代の幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、自分なりの考えを持ち、他人の意見と比較しながら学びを深めていくようにする。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 幼児を取り巻く人間関係を把握し、領域「人間関係」の基礎的知識を身に付け、他者との関係や集団との関係の中で人と関わる力が育つことを理解する。 【授業における達成課題】 領域「人間関係」における基礎的事項を理解し、保育者の援助などについて具体的な知識・技術の基礎を習得できるようになる。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用・共通	幼児と人間関係	同文書院	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 *筆記試験で60点以上、授業態度、演習問題等で総合的に評価する			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内 容】 幼稚園教諭としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
幼児と人間関係		15時間 (7.5限)	阿部 温子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間	領域「人間関係」とは？	現代社会と幼児の人間関係について知る
	2時間	〃	領域「人間関係」のねらいと内容を知る
2限	3時間	保育者の関わり方について	個と集団の育ち、保育者の関わり方について理解する
	4時間	〃	〃
3限	5時間	〃	保育者としての「集団づくり」について考察する
	6時間	〃	対話から生まれる「協同的な学び」を知る
4限	7時間	幼児理解と評価	関わりを通した幼児理解と評価の視点について知る
	8時間	〃	〃
5限	9時間	多様な子ども支援	特別な支援を必要とする子ども理解と援助について学ぶ
	10時間	〃	子どもの育ちに対する家庭の影響を考察する
6限	11時間	幼保・小の連携	幼児教育・保育と小学校との接続の課題を知る
	12時間	〃	〃
7限	13時間	子どもにおける性の課題	性の多様性と保育者の援助について理解する
	14時間	多文化共生世界における	幼児教育における多文化共生を考察する
8限	15時間	〃	試験へ向けて復習する

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児と環境		教員名 松好 伸一									
科目時間数： 15時間		7.5限 授業の種類： 講義・演習・実習									
必修・選択 の別： ☒ 必修・選択	配当学年： 1年次	開講時期： 前期・後期・集中									
【授業の目的・ねらい】 ・幼児教育の基本及び領域「環境」のねらいと内容を理解する。 ・「環境とかかわる力」の発達について理解する。 ・自然環境や社会環境などの具体的生活体験を重視した保育を設定し実践する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ☒ 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 幼児教育の基本及び領域「環境」のねらい・内容・変遷について学修する。「環境にかかわる力」の発達について学修する。保育の実践例を通して具体的生活体験を重視した保育、特に子どもの自然とのかかわりを深める保育を自ら設定する。 【授業における達成課題】 自然環境や社会環境などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもの自然との関わりを深める保育を自ら設定して実践的に指導できる。											
	使用教材	出版社									
	テキスト「最新保育講座9保育内容 「環境」	ミネルヴァ書房(2019年)									
【使用教室】 <table border="0"> <tr> <td>1. HR</td> <td>2. 介護実習室</td> <td>3. 家政実習室</td> <td>4. 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td>5. PC実習室</td> <td>6. 接遇実習室</td> <td colspan="2">7. その他()</td> </tr> </table>				1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他()	
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室								
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他()									
【評価方法】 <table border="0"> <tr> <td>1. 筆記試験</td> <td>2. レポート</td> <td>3. 出席</td> <td>4. 授業態度</td> </tr> <tr> <td>5. 実技試験</td> <td colspan="3">6. その他()</td> </tr> </table>				1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度	5. 実技試験	6. その他()		
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度								
5. 実技試験	6. その他()										
【備考】 評価について：試験・レポートの点数、及び授業態度を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。											
【担当教員の実務経験の有無】☒有・無 【内容】幼稚園教諭・保育士としての実務経験											

科目名		科目時間総数	教員名
幼児と環境		15時間	7.5限 松好 伸一
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
1 限	1時間 2時間	第1章 幼児教育の基本(p11～p16) 春の生活と活動	環境を通しての教育(p17～p23) 保育者のさまざまな役割(p25～p32) 戸外活動「春の自然散策」虫探し&植物採集
2 限	3時間 4時間	第2章 子どもの育ちと領域「環境」(p35～40)	具体的事物とのかかわり(p42～46)
		第3章 自然に親しみ、植物や生き物に触れる(p49～p52) 夏の生活と活動	自然を取り入れてあそぶ(p55～p61) 植物を育てる(p63～p70) 生き物に親しみ、命を大切にする(p67～p70)
3 限	5時間 6時間	第4章 ものや道具にかかわって遊ぶ(p73～p83) 秋の生活と活動	集団あそびの環境づくり ものの性質や仕組みに気づく(p86～p92)
4 限	7時間 8時間	第5章 文字や標識、数量や図形に関心をもつ(p101～p110) 「環境」指導の実践	身近なものを大切に、公共心を育む(p95～p97)
5 限	9時間 10時間	第6章 遊びや生活の情報に興味をもち、地域に親しむ(p127～)	数や数字に親しむ(p112～p124) 遊びのなかで情報を使う(p137～p145)
6 限	11時間 12時間	第7章 子どもと環境のかかわりをとらえる視点(p155～p163)	日本の文化や異なる文化に触れる(p148～p152) 好奇心をもつ、探求する(p164～p169)
7 限	13時間 14時間	第8章 幼児教育の現代的課題と領域「環境」(p173～p179) 冬の生活と活動	現代社会における子どもと環境(p180～p189) 理想の保育室の環境図
7.5 限	15時間		領域「環境」のまとめ

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 図画工作Ⅱ		教員名 青木 久美	
科目時間数： 15時間 (7.5限)		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： ☒ 必修 ・ 選択	配当学年：1年次	開講時期： ☒ 前期 ・ 後期 ・ 集中	
【授業の目的・ねらい】 絵画・立体造形・色彩と構成に関して基礎知識と表現技術を学び、幼児の造形活動に対して適切な援助と造形教育を行える能力を養う。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 幼児の造形教育に携わる者にとって必要とされる絵画・立体造形・色彩と構成に関しての基礎知識と表現技術について学び、幼児の造形活動に対して適切で充実した援助と造形教育を行える能力を養成する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	図画工作 絵の具 のり はさみ等	近畿大学九州短期大学通信教育部	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 ⑤. 実技試験 6. その他 ()			
【備 考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】☒ 有 無 【内容】小・中学校教員としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
図画工作Ⅱ		15時間 (7.5限)	青木 久美
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限	1時間	オリエンテーション	図画工作のねらいと授業の位置づけについて理解する。
	2時間	自己の目標設定	自分の造形経験の振り返りから自己の目標を設定する。
2限	3時間	鉛筆画の基礎	本時の課題と鉛筆の特性を知り、試しの表現をする。
	4時間	鉛筆画の制作	鉛筆の特性を生かして線描の表現の工夫をする。
3限	5時間	色彩の基礎	絵の具の特性と色彩の基本的な知識を理解する。
	6時間	課題の着想と構想	課題を知り、感情を形と色で表す構想を練る。
4限	7時間	感情を表す構図と色彩	構想を見直して下がきを完成し、自分の計画に沿って彩色をする。
	8時間	〃	絵の具や用具の使い方を確かめながら彩色を進め、作品を完成する。
5限	9時間	交流と鑑賞	お互いの作品から、表現意図と色彩の選び方を感じ取る。
	10時間	課題の着想と構想	自分の名前のアルファベットを様々なデザインする。
6限	11時間	文字のデザインと配色	画面にアルファベットを隠したり生かしたりしながら彩色をする。
	12時間	〃	〃
7限	13時間	〃	〃
	14時間		

授業計画表

こども福祉 学科

M C L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 社会福祉		教員名 細 田 重 憲	
科目時間数： 30時間 15限		授業の種類： ☒ 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別： ☒ 必修・選択	配当学年： 1年	開講時期： 前期・ ☒ 後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 社会福祉は、保育や子育て支援、介護、障害者支援、生活保護など広汎な分野で私たちの生活を支えている。社会福祉の歴史と理念、制度の概要、援助のための組織と技術などを理解することにより、保育士としての視点の形成や多職種他連携の必要性理解などの下地をつくりたい。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 社会福祉の総論（理念、歴史、実施体制、実施組織など）と各論（高齢者、障害者などの分野別、専門職、専門的技術）について大まかに学んでいく。 【授業における達成課題】 社会福祉の総論（理念、歴史、実施体制、実施組織など）と各論（高齢者、障害者などの分野別、専門職、専門的技術）について大まかに学んでいく。			
	使用教材	出版社	
	「コメディカルのための社会福祉概論」第4版	講談社	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 1. 筆記試験 ②. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）			
【備 考】 評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有・無			
【内容】 福祉相談センター所長としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
社会福祉		30時間 (15限)	細 田 重 憲
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 限	1時間 2時間	オリエンテーション 社会福祉とは ①	○ 学習目的、範囲、授業の進め方、参画の仕方を理解する ○ 社会福祉という言葉の意味、基本的理念について理解する
2 限	3時間 4時間	社会福祉のとりえ 方・歴史的変遷①	○ 社会福祉には広義と狭義などのとりえ方があることを理解する ○ 社会福祉の定義の変遷、社会保障との関係について理解する
3 限	5時間 6時間	社会福祉の歴史的変 遷②	○ 社会福祉の法制度、考え方の変遷、特に20世紀後半からの福祉制度改革の意味などについて理解する。
4 限	7時間 8時間	子ども家庭支援と社 会福祉	○ 子ども家庭支援策の必要性を理解し人口の推移等から説明できる ○ 子ども家庭支援における福祉と保健、教育等の連携を説明できる
5 限	9時間 10時間	社会保障と社会福祉	○ 我が国の社会保障制度の体系と方法を理解し、その中での社会福祉、社会手当、公的扶助の役割について説明できる。
6 限	11時間 12時間	社会福祉の制度と実 施体系	○ 社会福祉の制度体系を理解し、実施主体の種類、役割について説明できる。
7 限	13時間 14時間	障害児・者の福祉①	○ 障害の定義、我が国における数、福祉制度の仕組みについて理解し、それぞれの障害の暮らしにくさについて考えてみる。
8 限	15時間 16時間	障害児・者の福祉②	○ 障害児に対する施策の体系を理解する。 ○ 特別支援教育、母子保健、障害基礎年金等の関連施策を理解する
9 限	17時間 18時間	高齢者の福祉①	○ 高齢化率、後期高齢者の動向、今後の人口予測などを学び、説明できるようになる。
10 限	19時間 20時間	高齢者の福祉②	○ 介護保険制度、高齢者の住まいに係る施策等について理解し、課題はどこにあるか考えてみる。
11 限	21時間 22時間	低所得者の福祉	○ 生存権、生活保護制度の原理、被保護者の現状、生活困窮者自立支援法等の低所得者施策について理解する。
12 限	23時間 24時間	社会福祉における相 談援助	○ 相談援助の方法（個別援助、集団援助）、理論、専門職による援助過程について学び、保育者としてのかかわり方を考えてみる。
13 限	25時間 26時間	社会福祉における利 用者保護の仕組み	○ 「利用者」保護の意義、必要性、その仕組みと実際について理解する。
14 限	27時間 28時間	子ども子育て支援に おける課題	○ 社会的養護、ひとり親世帯、子どもの虐待とDVなど直面している問題について理解し、自分の考えをまとめる。
15 限	29時間 30時間	まとめ	○ これまでの学習のまとめ、期末試験のガイダンス等

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 子ども家庭福祉		教員名 赤羽 哲朗	
科目時間数： 30時間 (15限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：2年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 ・子ども家庭福祉の課題について幅広く考察する力を養い、その解決に向けた社会の新たな動向等について理解を深める。 ・子どもの権利やその最善の利益を図ることについての基本的な知識を得る。 ・複雑・多様化する子ども家庭福祉ニーズに適切に対応するための相談援助の実際や保育者に求められる役割等について学ぶ			
【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)			
【授業全体の内容の概要】 ・子ども・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際 ・子ども家庭福祉制度の発展の歴史・子どもの権利条約及び子ども家庭福祉に関わる法律 ・子ども家庭福祉の実施機関と専門職・児童福祉施設の種別と運営内容 ・子ども虐待の防止と支援・子ども虐待とDVの関連、女性福祉の取組の概要 ・社会的養護の現状と課題、今後の施策展開の方向 ・ひとり親世帯、障害を持つ子どもへの支援・母子保健施策の概要 ・子どもの健全育成施策の概要・わが国における保育の歴史、現状、今後の課題 ・少子化対策と子育て支援 ・子ども家庭福祉に関わる専門職としての保育士に求められるもの			
【授業における達成課題】 当該科目について、保育士として必要な知識を習得するとともに、子ども家庭福祉に関わる専門職としての保育士の役割の重要性について理解を深める。			
使用教材		出版社	
子ども家庭福祉―子どもと家庭を支援す		大津泰子著 ミネルヴァ書房2023	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 ・補完資料を配布し、専門用語の意味や根拠法令等の適切な理解を促すとともに、関連の新聞報道等を紹介し、自らに身近なものとして授業の理解を深めるための一助とする。 ・現実社会の動向に積極的に関心を向け、より幅広い視点で対象者のニーズや援助のあり方を捉え、具体的実践につなげる姿勢を持つ。 ・深刻化しつつある子ども虐待の予防や早期発見、早期対応、さらには家庭への支援にあたって、保育所及び保育士の果たす役割の重要性を認識し、実践の基本を理解する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 無			
【内容】 児童相談所、福祉事務所、障害者施設等での実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
子ども家庭福祉		30時間 (15限)	赤羽 哲朗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限 1時間	現代社会と子ども家庭福祉①（少子高齢社会と子どもの健全育成）	少子化の現状やその要因、影響を理解し、現代社会における子ども家庭福祉の意義や目指す方向について理解する。	
2時間			
2 限 3時間	現代社会と子ども家庭福祉②（家族形態の変容及と家族機能の変化）	家族の変化や育児不安等の子育てをめぐる問題、子どもが育つ環境の変化とその影響等について理解する。	
4時間			
3 限 5時間	子ども家庭福祉の歴史（イギリス、アメリカ、日本の歴史）	イギリス及びアメリカを中心に諸外国における子ども家庭福祉の歴史について理解する。	
6時間			
4 限 7時間	同上	日本の子ども家庭福祉の歴史を概観し、児童福祉から子ども家庭福祉へと施策・制度の広がっていることを理解する。	
8時間			
5 限 9時間	子ども家庭福祉の理念と法律	児童の権利条約の内容や子ども基本法、児童福祉法の理念を理解し、子どもに関わる専門職としての実践に活かす。	
10時間			
6 限 11時間	同上	児童福祉六法や子ども家庭福祉に関連する法律を理解する。	
12時間			
7 限 13時間	子ども家庭福祉の機関と専門職	子ども家庭福祉に関わる国、地方自治体の役割や実施機関、子ども家庭福祉の財政と費用の基本的内容を理解する。	
14時間			
8 限 15時間	同上	各関係機関に配置される専門職員の名称や役割を理解する。	
16時間			
9 限 17時間	児童福祉施設	児童福祉施設の定義、施設の種類及び役割、今後の課題等について理解を深める。	
18時間			
10 限 19時間	子ども家庭福祉サービス	児童虐待の防止と支援、児童虐待とドメスティックバイオレンスとの関連や社会的養護の施策について理解する。	
20時間			
11 限 21時間	同上	社会的養護を必要とする子どもやひとり親世帯のための施策について理解する。	
22時間			
12 限 23時間	同上	障害のある子どもへの施策、母子保健施策、健全育成施策について理解する。	
24時間			
13 限 25時間	保育サービス	保育サービスの内容及び保育所入所の仕組み、認定子ども園について理解する。	
26時間			
14 限 27時間	同上	子ども・子育て支援制度による保育サービスや認可外保育サービス、保育に関する課題を理解し、実践に活かす。	
28時間			
15 限 29時間	少子化対策と子育て支援	少子化対策の流れや仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）、新たな少子化対策と子育てを応援する取組みについて理解する。	
30時間			

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育原理		教員名 岩城 安生	
科目時間数： 30時間 (15限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年： 2年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 保育原理では、保育の基本・原則を学習することを目的とし、他の科目の基礎となるものである。国がこれまでの経緯をもとに、保育というものをどのように定め、保育者に求められる資質は何かを理解する。昨今の多様化する保育形態を理解し、保育所・幼稚園・認定こども園の目的、内容、方法等に触れ、三施設の共通点や相違点を正確に理解する。現代における保育の原理、つまり根本は、乳幼児が各目的により設置されたどの施設に入所・入園したとしても、子どもの育ちに違いがあってはならないのだという事を修学する。社会人として保育に携わる立場に置かれた際、根本的に、健全な子どもの育ちを支えるべく人材の育成を、最終的な目的とねらいとする。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 保育理念等を取り扱い、保育に関わる法令、制度について理解する。その後、保育所・幼稚園・認定こども園に触れ、共通点・相違点を理解する。保育の方法、計画や評価を学習した後、子どもの理解に基づき保育のあり方に重点を置く。地域とのつながり、障害児の受け入れ、保育の歴史などを学び、幼保一元化、一体化等、日本の保育の現状を理解する。 【授業における達成課題】 上記ねらいを踏まえ以下の3点を達成できるようにする。 ①保育に関わる法令・制度を理解し、要点を掴む。 ②保育士の社会的役割と責任について、説明できる。 ③子どもを理解することが保育の出発点であることの意味を理解し、実践につなげる。			
		使用教材	出版社・編著
学生用・教員用 共通		保育原理 子どもの保育の基本理論の理解	萌文書林・岡田耕一
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：筆記試験、レポートの点数、及び授業態度を総合的に評価しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】有 無 【内容】幼稚園教諭、主幹教諭、教頭、園長としての実務経験			

科目名		保育原理	科目時間総数 30時間	教員名 (15限) 岩城 安生
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間	保育について	本講義の概要説明 保育者に求められる資質	
	2時間	保育について	保育の理念 子どものための保育 社会的役割と責任	
2限	3時間	保育について	保育の理念 子どものための保育 社会的役割と責任	
	4時間	子どもと保育に関する法令	子どもと家庭福祉における保育と関係法令	
3限	5時間	子どもと保育に関する法令	子どもと家庭福祉における保育と関係法令	
	6時間	保育所について学ぶ	保育所保育指針の改定 保育所保育指針とはなにか 目的と役割 保育の目標	
4限	7時間	保育所について学ぶ	保育における養護、育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 保育に関わるねらい及び内容 乳児保育に関わるねらい及び内容	
	8時間	保育所について学ぶ	1歳児以上3歳児未満児の保育に関わるねらい及び内容 3歳児以上5歳の保育に関するねらい及び内容 保育所と小学校との連携の強化	
5限	9時間	幼稚園について学ぶ	幼稚園教育要領の変遷 幼稚園教育要領と幼稚園教育 幼稚園教育の目的、目標	
	10時間	幼稚園について学ぶ	幼稚園教育要領の変遷 幼稚園教育要領と幼稚園教育 幼稚園教育の目的、目標	
6限	11時間	幼稚園について学ぶ	幼稚園教育の基本 幼稚園今日お育において育みたい資質・能力 幼稚園教育のねらいと内容	
	12時間	幼保連携型認定こども園について学ぶ	幼保連携型認定こども園の目的・目標・内容	
7限	13時間	幼保連携型認定こども園について学ぶ	教育と保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園の教育・保育とは 幼保連携型認定こども園の子育て支援	
	14時間	保育所保育の方法	環境を通して行う保育の必要性 保育所保育指針に示された「環境を通しての保育」	
8限	15時間	保育所保育の方法	環境を通して行う保育の必要性 保育所保育指針に示された「環境を通しての保育」	
	16時間	保育所保育の方法	保育所保育の方法	
9限	17時間	保育の計画と評価	保育の計画 保育の過程	
	18時間	保育の計画と評価	学びを実習につなげる	
10限	19時間	保育の計画と評価	学びを実習につなげる	
	20時間	子どもの理解に基づく保育	子どもの発達過程の理解と保育 個人差に応じた保育	
11限	21時間	子どもの理解に基づく保育	観察と記録に基づく子ども理解	
	22時間	地域社会で行う子育ての支援	保育所における子育て支援 幼稚園における子育て支援	
12限	23時間	地域社会で行う子育ての支援	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園以外の施設で行われる子育て支援 地域の人たちによる子育て支援 学生に出来る子育て支援	
	24時間	障害児を受け入れる保育	障害児保育について 保育現場における障害児保育の実践	
13限	25時間	障害児を受け入れる保育	保護者及び関係機関との連携 特別な配慮が必要となる子ども	
	26時間	保育の歴史	幼稚園の歴史 保育所の歴史	
14限	27時間	保育の歴史	幼児教育・保育をめぐる動向 欧米の教育・保育思想	
	28時間	日本の保育の現状	子ども・子育て支援新制度の誕生 幼保一元化に向けて	
15限	29時間	日本の保育の現状	保育所職員に資質・専門性の向上を目指す 保育・育児における情報機器の利用	
	30時間	日本の保育の現状	保育者に求められる資質とは	

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 社会的養護 I		教員名 佐藤 雅子	
科目時間数 : 30 時間 (15 限)		授業の種類 : <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習	
必修・選択 の 別 :	<u>必修</u> ・ 選択	配当学年 : 1 年次	開講時期 : 前期 ・ <u>後期</u> ・ 集中
【授業の目的・ねらい】 ・ 社会的養護の理念、制度、方法などの基本的な内容について理解する。 ・ 子どもの人権擁護と、社会的養護における被措置児童虐待等について理解する。 ・ 社会的養護を必要とする子どもの状況やその背景を知り、家庭養育優先原則の枠組みやその必要性を理解した上で、子どもとの関わり方を考えることができる。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) <u>2</u> 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 朝日新聞編集委員のルポルタージュ等を使用して個人ワークを行いながら、社会的養護を必要とする子どもたちの状況やその背景を具体的に理解できるようにする。その上で、社会的養護の理念、制度、方法や枠組みについて講義する。 【授業における達成課題】 ・ 社会的養護の理念、制度、方法などの基本的な内容について説明できる。 ・ 子どもの人権擁護と、社会的養護における被措置児童虐待等について説明できる。 ・ 社会的養護を必要とする子どもの状況や背景を知り、家庭養育優先原則の視点に立って子どもとの関わり方を考えることができる。			
	使用教材	出版社	
学生用	新基本保育シリーズ 6 「社会的養護 I」	公益財団法人 児童育成協会	
教員参考用	「児童養護施設の子どもたち」	株式会社 高文研	
【使用教室】			
<u>1. HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】			
<u>1. 筆記試験</u> 2. レポート 3. 出席 <u>4. 授業態度</u> 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備 考】			
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無			
【内容】 社会福祉士としての実務経験			

科目名			社会的養護 I	科目時間総数 30時間	教員名 (15限) 佐藤 雅子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ			
		主な学習内容と到達目標			
1	限	1時間 2時間	社会的養護の理念と概念①	社会的養護とは何か 社会的養護の基本理念	ルポルタージュ等を使用したワーク
2	限	3時間 4時間	社会的養護の理念と概念②	社会的養護の原理	
3	限	5時間 6時間	社会的養護の理念と概念③	社会的養護の原理	
4	限	7時間 8時間	社会的養護の理念と概念④	社会的養護の基盤づくり	
5	限	9時間 10時間	子どもの人権擁護と社会的養護①	子どもが家庭で育つ権利保障 子どもの権利の視点 権利のとらえ方と権利擁護に向けた取り組み	
6	限	11時間 12時間	子どもの人権擁護と社会的養護②	児童養護施設における虐待 虐待要因	
7	限	13時間 14時間	社会的養護における保育士の倫理と責務	対人関係における倫理、支援における倫理の必要性 専門職の倫理としての職業倫理（保育士、社会福祉士）	
8	限	15時間 16時間	社会的養護にかかわる専門職	児童福祉施設で働く専門職	
9	限	17時間 18時間	社会的養護の制度と法体系	社会的養護の制度の根幹	
10	限	19時間 20時間	社会的養護の基本原則	児童福祉法の2016年改正 児童の代替的養護に関する指針 新しい社会教育ビジョン	↓
11	限	21時間 22時間	里親制度の実際	【DVD学習】里親世帯のインタビュー動画から学ぶ	
12	限	23時間 24時間	社会的養護とファミリーソーシャルワーク	ファミリーソーシャルワーク ソーシャルワークの視点からのアプローチ	
13	限	25時間 26時間	社会的養護とファミリーソーシャルワーク	【演習】事例のアセスメント演習	
14	限	27時間 28時間	社会的養護の対象と支援のあり方	措置（代替養育）に至る理由 代替養育の対象と支援	
15	限	29時間 30時間	振り返り	・1年間の授業のまとめ・振り返り	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名		社会的養護Ⅱ		教員名		佐藤 雅子	
科目時間数：		15時間 (7.5限)		授業の種類：		講義・演習・実習	
必修・選択の別：		必修・選択		配当学年：		2年次	
				開講時期：		前期・後期・集中	
〔授業の目的・ねらい〕 ・社会的養護における「施設養護」「家庭的養護」「家庭養護」の機能と役割を理解する。 ・社会的養護の現状をふまえ、「家庭養育優先原則」と関係機関の役割を理解する。 ・事例検討を通じて被虐待児とその家族への支援の考え方を学ぶ。 ・社会的養護における子どもとのコミュニケーションスキルを学ぶ。 〔こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連〕 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ○ 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 〔授業全体の内容の概要〕 社会的養護の関係機関等の役割について、DVDや関係者へのインタビューを通じてより具体的に理解できるように授業を進める。事例検討、里親委託児童とのコミュニケーションスキルについても、演習・実技を取り入れる。 〔授業における達成課題〕 ・社会的養護の現状と「家庭養育優先原則」及び「施設養護」「家庭的養護」「家庭養護」の違いについて、より具体的に説明できる。 ・事例検討を通じて被虐待児とその家族への支援について理解を深める。 ・社会的養護における子どもとのコミュニケーションスキルを意識できるようになる。							
		使用教材				出版社	
学生用		※教員が準備した資料及びワークシートを使用					
教員参考用		「新しい絆の作り方 ー特別養子縁組・里親入門ー」				NHK厚生文化事業団 福祉ビデオシリーズ	
【使用教室】 ○ 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()							
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 ○ 4. 授業態度 5. 実技試験 ○ 6. その他 (スクーリング当日の課題作成)							
【備考】							
【担当教員の実務経験の有無】 有○ 無							
【内容】 社会福祉士としての実務経験							

科目名			社会的養護Ⅱ	科目時間総数	15時間	(7.5限)	教員名	佐藤雅子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容と到達目標				
1	限	1時間	「社会的養護」の概要 児童養護施設における 養育	【講義】社会的養護Ⅰの振り返り 【演習①】「施設養護」「家庭的養護」の実際 児童養護施設「みちのく・みどり学園」DVDから 違いを整理する。				
		2時間						
2	限	3時間	里親制度の特徴と養育 の実際	【演習②】里親制度の特性と養育の実際 「家庭養育優先原則」に基づき、 施設養護、家庭的養護との違いを整理する。				
		4時間						
3	限	5時間	虐待事例における支援 の考え方①	【事例検討①】 家庭における児童虐待への支援事例				
		6時間						
4	限	7時間	虐待事例における支援 の考え方②	【事例検討②】 社会的養護における家族再統合に向けた支援事例				
		8時間						
5	限	9時間	社会的養護の実際と関 係機関の役割①	【講話・演習①】 児童相談所の職員、養育里親の講話 学生からのインタビュー				
		10時間						
6	限	11時間	社会的養護の実際と関 係機関の役割②	【講話・演習②】 児童養護施設の里親支援専門相談員の講話 学生からのインタビュー				
		12時間						
7	限	13時間	社会的養護のコミュニ ケーションスキル	【演習・実技】 里親トレーニング・プログラム 「フォスタリングチェンジプログラム」の体験				
		14時間						
7.5	限	15時間	まとめ	【課題】レポート作成				

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 子ども家庭支援論		教員名 川崎 舞美	
科目時間数：30時間 (15限)		授業の種類：講義・演習・実習	
必修・選択 の別：必修・選択	配当学年：2年次	開講時期：前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 社会の変化によって家族の役割や機能がどのように変わり、どのような支援が求められているのか。様々な背景や課題を抱える家庭を知り、保育所が求められている機能と保育士として関わる支援の姿勢と視点を学ぶ。 地域に存在する子育て家庭への支援や地域全体に対する支援の視点を学ぶ。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③ 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 地域や家庭環境の変化を捉え、子育て家庭の現状を理解し、社会的支援の必要性とその方法を理解する。 子どもや親、親を取り巻く様々な環境に働きかけるスキルと理論を習得する。 地域にある保育所、子育ての専門職としての支援の視点を学ぶ。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として子育て家庭支援に必要な知識がわかり、幅広い視点で保育実践に活かすことができる。 地域の子育て家庭への支援の視点を持ち、社会資源開発と多機関連携の資源を持つことができる。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	新基本保育シリーズ5『子ども家庭支援論 第2版』	中央法規 2023年	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 1. 筆記試験は60点以上を合格とする。 2. レポート合格者が1を受験できる。			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無 【内容】 社会福祉士としての実務経験 (児童養護施設・県社会福祉協議会)			

科目名		科目時間総数	教員名
子ども家庭支援論		30時間 (15限)	川崎 舞美
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 限	1時間 2時間	子育て家庭と社会	家族形態の変化、家庭の機能の役割変化を理解できる【1講】
2 限	3時間 4時間	〃	社会環境変化と家庭の動向との関連を理解できる【1講】 環境変化による子育て困難の現状を理解できる
3 限	5時間 6時間	〃	子育て家庭に対する支援の必要性、意義を理解【2講】
4 限	7時間 8時間	保育士による支援	子育て家庭支援の対象と内容を理解できる【11講】
5 限	9時間 10時間	保育士による支援	子育て家庭支援での保育士の役割を理解できる【5講】 【7講】
6 限	11時間 12時間	〃	保育士に求められる支援の基本的態度を理解できる【8講】
7 限	13時間 14時間	〃	保育士による相談・支援への心配りを理解できる【6講】 【9講】
8 限	15時間 16時間	子育て支援体制	子育てに関わる法・国の施策を理解できる【3講】 子育て支援の制度、事業の内容を理解できる
9 限	17時間 18時間	〃	子育て家庭を支える専門機関を理解できる【4講】 【10講】
10 限	19時間 20時間	〃	子育て家庭を支える専門機関を理解できる【4講】 【10講】
11 限	21時間 22時間	〃	保育所・幼稚園での支援のあり方を理解できる【12講】
12 限	23時間 24時間	〃	在宅子育て家庭における支援を理解できる【13講】
13 限	25時間 26時間	配慮を要する子育て家庭	要保護児童及びその家庭に対する支援のあり方を理解できる【14講】
14 限	27時間 28時間	子育て支援に関する課題と展望	様々なニーズとサービスの多様化を理解できる【15講】
15 限	29時間 30時間	まとめ	レポート課題と試験対策

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児への特別な支援		教員名 佐々木 全	
科目時間数： 15時間 (7.5限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：2年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 ノーマライゼーションの理念が浸透している現代社会において、障がいのある子もない子も共に育つ場としての保育園保育の在り方及び様々な障がいに対する理解と対応について学び、障がい児保育についての識見を深める。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 様々な障がいについて理解し、子どもの理解や援助の方法、環境構成等について学ぶ。障がいのある子どもの保育の計画を作成し、個別支援及び子どものかかわりの中で育ち合う保育実践について理解を深める。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	新・保育講座15 よくわかる障害児保	ミネルヴァ書房	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 (毎回の授業における小課題)			
【備考】 ・適宜演習題を課す。 ・ノートを使用する。各自準備すること。			
【担当教員の実務経験の有無】		有	
【内容】		特別支援学校教員、高等学校教員 大学及び大学院教員	

科目名		科目時間総数	教員名
幼児への特別な支援		15時間	(7.5限) 佐々木 全
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	1時間 2時間 保育現場にいる障害のある子ども①	(1) 本講義の進め方についてのガイダンス (2) 保育現場にいる障害のある子どもの概要を知る。 ＊障害のある子どもがいる現状についてインクルーシブの観点から説明できる。	
2 限	3時間 4時間 障害の特徴と保育の実際	知的障害、自閉症スペクトラム障害等についての概要ならびに保育の要点について知る。 ＊障害の理解とそれに基づく支援の実際について例示し、かつその要点を説明できる。	
3 限	5時間 6時間 乳幼児期の発達課題と障害特性①	発達課題の概要ならびに、愛着形成について知る。 ＊愛着に関する重要事項について説明できる。	
4 限	7時間 8時間 乳幼児期の発達課題と障害特性②	発達課題の概要ならびに、運動発達、基本的生活習慣、言語・コミュニケーションについて知る。 ＊上記内容に関する重要事項について説明できる。	
5 限	9時間 10時間 障害児保育の仕組み	障害児保育の仕組みについて知る。 ＊障害児保育の仕組みに関する重要事項について説明できる。	
6 限	11時間 12時間 障害児とライフコース	乳幼児健康診断と就学相談などについて知る。 ＊知的障害及び保育、教育の経緯に関する重要事項について説明できる。	
7 限	13時間 14時間 インクルーシブ保育	インクルーシブ教育システム等の重要事項を知り、保育園、幼稚園における支援体制作りの要点について知る。 ＊支援体制を例示し、かつその要点を説明できる。	
7.5 限	15時間 家族に対する支援	家族（保護者やきょうだい）の心理と支援の必要性について知る。 ＊上記内容に関する重要事項について説明できる。	

授業計画表

こども未来 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 障害児保育		教員名 松好 伸一	
科目時間数： 15時間		7.5限 授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：2年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 障害者差別解消法の施行、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改定に伴い、育みたい姿、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿、合理的配慮など、ノーマライゼーションからインクルーシブへの転換期にある障害児保育を、保育所、幼稚園、幼保連携型認定こども園での障害児保育を通して理解を深めていく。 【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 保育所、幼稚園、幼保連携型認定こども園、それぞれの園における障害児保育の特徴や、障害児保育を利用する家庭の状況などを実例を示しながら、保育者に必要な知識、技術、理念などを学ぶ。また、家庭支援、子育て支援の視点や、障害児が在籍するクラスの健常児への配慮なども併せて学び、障害児保育Ⅱ求められるものの認識を深める。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
		使用教材	出版社
学生用・教員用 共通		新・保育講座15 障害児保育	ミネルヴァ書房
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上) B(79～70点) C(69～60点) D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】(有) 無 【内容】保育士としての実務経験			

科目名			科目時間総数	教員名
障害児保育			15時間	7.5限 松好 伸一
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	1時間	保育現場にいる障害のある子ども①	(1) 本講義の進め方についてのガイダンス (2) 保育現場にいる障害のある子どもの概要を知る。 ＊障害のある子どもがいる現状についてインクルーシブの観点から説明できる。	
	2時間	保育現場にいる障害のある子ども②		
2限	3時間	乳幼児期の発達課題と障害特性①	発達課題の概要ならびに、愛着形成について知る。 ＊愛着に関する重要事項について説明できる。	
	4時間	乳幼児期の発達課題と障害特性②③	発達課題の概要ならびに、運動発達、基本的生活習慣について知る。 ＊運動発達、基本的生活習慣に関する重要事項について説明できる。	
3限	5時間	乳幼児期の発達課題と障害特性④	発達課題の概要ならびに言語・コミュニケーションについて知る。 ＊言語・コミュニケーションに関する重要事項について説明できる。	
	6時間	障害児保育の仕組み	障害児保育の仕組みについて知る。 ＊障害児保育の仕組みに関する重要事項について説明できる。	
4限	7時間	障害児とライフコース①	乳幼児健康診断と就学相談などについて知る。 ＊知的障害及び保育、教育の経緯に関する重要事項について説明できる。	
	8時間	障害児とライフコース②		
5限	9時間	障害の特徴と保育の実際①	知的障害、自閉症スペクトラム障害等についての概要ならびに保育の要点について知る。 ＊障害の理解とそれに基づく支援の実際について例示し、かつその要点を説明できる。	
	10時間	障害の特徴と保育の実際②		
6限	11時間	障害の特徴と保育の実際③		
	12時間	障害の特徴と保育の実際④		
7限	13時間	インクルーシブ保育①	インクルーシブ教育システム等の重要事項を知り、保育園、幼稚園における支援体制作りの要点について知る。 ＊支援体制を例示し、かつその要点を説明できる。	
	14時間	インクルーシブ保育②		
7.5限	15時間	インクルーシブ保育③		
		(テスト)		

授業計画表

こども福祉学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 子どもの食と栄養		教員名 石川 美穂	
科目時間数： 15時間 7.5限		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択の別： 必修・選択	配当学年： 2年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 小児の発育・発達特性、心身の発達段階に応じた栄養法、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、保育・幼児教育の公共的使命を理解する。心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食育の重要性を理解し、実践と理論を結びつけ保育者として適切な食事を提供することができるよう、各時期の栄養法を理解し、調理技能の習得を目指す。			
(当該科目が最も関連するDPに○) 【ディプロマポリシーとの関連】 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人（自己研鑽、臨機応変な対応） ② 幅広い視野で保育を実践できる人（保育理念、保育観、実践力、応用力） 3. 地域の文化を大切にする心を持ち、豊かな人間性を備えた人（創造性、表現力）			
【授業全体の内容の概要】 小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、食生活、集団給食（保育所給食）、食育の重要性を理解する。			
【授業における達成課題】 保育者として栄養法を理解し、各時期の特性や、小児を取り巻く食の問題、集団給食について学び、食育の実践ができる。			
【使用教材・テキスト等】 新 保育ライブラリ 子どもの食と栄養〔新版〕 北大路書房			
【使用教室】 ① HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 ① 筆記試験 2. レポート 3. 出席 ④ 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）			
【備考】 1、筆記試験は60点以上を合格とする。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 栄養士としての実務経験			

科目名 子どもの食と栄養		科目時間総数 15時間（7.5限）	教員名 石川 美穂
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限	1時間 子どもの心身の健康と食生活の関係	社会環境の変化に伴う食生活の変容を学ぶ。	
	2時間 子どもの食生活の現状と課題	子どもの食生活の現状と課題を学ぶ。	
2限	3時間 栄養と栄養素	栄養素の種類と機能の基本的な知識を学ぶ	
	4時間 食事摂取基準	日本人の食事摂取基準の内容を学び、活用できる。	
3限	5時間 発育・発達と食生活	身体発育、精神運動機能・摂食機能の発達について学ぶ。	
	6時間 摂食機能の発達と食生活における事故	食生活における小児期の事故の特徴を理解する。	
4限	7時間 妊婦・授乳期の栄養・食生活	妊娠期・授乳期の食生活の重要性、望ましい栄養摂取について学ぶ	
	8時間 〃	妊娠期のトラブル、母乳分泌について学ぶ。	
5限	9時間 乳幼児期の栄養・食生活	乳児期栄養の特徴と食生活について学ぶ。	
	10時間 〃	幼児期栄養の特徴と食生活について学ぶ。	
6限	11時間 学齢期・思春期の栄養	学童期・思春期の特徴と望ましい栄養摂取について学ぶ。	
	12時間 学校給食と食育	学校給食の意義と食育の具体的内容を学ぶ。	
7限	13時間 子どもの疾病・障害のある子どもの食生活	特殊な状況における食生活について学ぶ。	
	14時間 児童福祉施設の食生活	保育所における集団生活と食事作りの考え方について学ぶ。	
7.5限	15時間 食育の基本と内容・方法	小児期の具体的な食育の方法を学び、実践する。	

授業計画表

こども福祉学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 子どもの食と栄養		教員名 石川 美穂	
科目時間数： 15時間 (7.5限)		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別： 必修・選択	配当学年： 2年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 小児の発育・発達特性、心身の発達段階に応じた栄養法、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、保育・幼児教育の公共的使命を理解する。心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食育の重要性を理解し、実践と理論を結びつけ保育者として適切な食事を提供することができるよう、各時期の栄養法を理解し、調理技能の習得を目指す。			
(当該科目が最も関連するDPに○) 【ディプロマポリシーとの関連】 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人（自己研鑽、臨機応変な対応） ② 幅広い視野で保育を実践できる人（保育理念、保育観、実践力、応用力） 3. 地域の文化を大切にする心を持ち、豊かな人間性を備えた人（創造性、表現力）			
【授業全体の内容の概要】 小児期の特性や必要な栄養について学び、離乳食と幼児食の調理技能の習得を目指す。			
【授業における達成課題】 ・授乳栄養について学び、調乳ができるようになる。 ・離乳栄養について学び、離乳食の献立作成と調理ができるようになる。 ・幼児期の栄養について学び、幼児食の献立作成と調理ができるようになる。			
【使用教材・テキスト等】 新 保育ライブラリ 子どもの食と栄養〔新版〕 北大路書房			
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 ③. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 ①. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）			
【備考】 1、筆記試験は60点以上を合格とする。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内 容】 栄養士としての実務経験			

科目名 子どもの食と栄養		科目時間総数 15時間（7.5限）	教員名 石川 美穂
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限 <u>1時間</u> 2時間	オリエンテーション 乳幼児期の授乳栄養について	授業の位置づけについて理解する。 乳児の特性と授乳栄養について理解し、調乳ができる。	
2限 <u>3時間</u> 4時間		〃（調乳実習） 〃（調乳実習）	
3限 <u>5時間</u> 6時間	離乳栄養について	乳幼児の特性と離乳食について理解し、離乳食を作ることができる 〃	
4限 <u>7時間</u> 8時間		〃（献立作成・調理実習） 〃（調理実習）	
5限 <u>9時間</u> 10時間	幼児期の栄養について	幼児期の特性と幼児食について理解し、アレルギー食も含めた幼児食の調理ができる。 〃	
6限 <u>11時間</u> 12時間		〃（献立作成・調理実習） 〃（調理実習）	
7限 <u>13時間</u> 14時間	間食について	幼児期の間食の必要性を理解し、おやつ作りができる。 〃（調理実習）	
7.5限 <u>15時間</u>		〃（調理実習）	

授業計画表

こども福祉 学科

M C L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名		子どもの保健		教員名		中村 和歌子	
科目時間数：		30時間 (15限)		授業の種類：講義・演習・実習			
必修・選択の別：		必修・選択		配当学年：		2年次	
				開講時期：		前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 ①子どもの保健の意義を理解し、子どもを取り巻く問題点、今後の課題を知る。②子どもの心身の正常な発達及び、発達段階の特徴を理解する。③子どもの疾病や救急時の対応等の基礎知識を習得する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】(※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ②幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 子どもの保健の意義を理解する。子どもの心身の正常な発育と各期の特徴を理解する。子どもの保健行政について理解する。子どもに起こりやすい疾病・事故について理解し、その予防対策及び方法を理解する。保育者としての役割がわかる。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。							
		使用教材			出版社		
学生用・教員用 共通		よくわかる子どもの保健 新版			ミネルヴァ 書房		
		子どもの保健テキスト			診断と治療社		
		子どもの保健演習ノート			診断と治療社		
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 ④. 視聴覚室 ⑤. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()							
【評価方法】 ①. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()							
【備考】 評価について：試験・レポートの点数、及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。							
【担当教員の実務経験の有無】有・無 【内容】看護師としての実務経験							

科目名		科目時間総数	教員名
子どもの保健		30時間 (15限)	中村 和歌子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	1時間	子どもの心身の健康と保健の意義	健康の概念と健康指標、我が国の小児保健水準、育児環境と精神保健
	2時間	精神機能の発達と保健	子どもの心の育ち、言語・社会・情緒の発達、発達に影響する要因
2 限	3時間	身体発育と保健	発育には原則が有る、乳幼児の計測の仕方
	4時間	同上	身体発育値を評価する、身長、体重のバランス・肥満とやせ
3 限	5時間	運動機能の発達と保健	新生児の運動機能の発達・乳児の運動機能の発達
	6時間	同上	幼児の運動機能の発達・学童期以降の運動機能の発達
4 限	7時間	生理機能の発達と保健	消化吸収・排泄
	8時間	同上	循環、呼吸、心拍、血圧
5 限	9時間	同上	自律神経・体温・水分代謝と発熱
	10時間	同上	睡眠・感覚器官・免疫
6 限	11時間	精神機能の発達と保健	子どもの心の育ち、言語・社会・情緒の発達
	12時間	同上	発達に影響する要因
7 限	13時間	心身の健康状態とその把握	健康状態の観察のポイント、頭部・頸部・胸・腹部・四肢・皮膚
	14時間	同上	子どもの心身の健康、生活習慣や行動上の問題、乳幼児の健康診査
8 限	15時間	子どもの疾病の予防及び適切な対応	子どもの疾病の特徴、重要な感染症
	16時間	同上	予防接種
9 限	17時間	同上	消化器・呼吸器・循環器疾患
	18時間	同上	泌尿器・生殖器・中枢神経系・代謝内分泌疾患
10限	19時間	同上	血液、腫瘍性疾患・アレルギー疾患
	20時間	同上	整形外科疾患、その他の疾患
11限	21時間	同上	新生児マス・スクリーニング、疾病異常と支援体制
	22時間	同上	他職種間の連携・協働
12限	23時間	日常における養護の方法	子どもの抱き方、おんぶの仕方、食事の与え方、口腔内の衛生、沐浴・入浴の仕方
	24時間	同上	衣類の着せ方、排泄・寝かせ方、おもちゃの選び方、子どもへの声掛けの仕方
13限	25時間	よく起こる事故について	子どもの事故の特徴、怪我や事故の種類
	26時間	同上	事故防止、安全管理
14限	27時間	救急処置について	手足の腫れる、やけど、出血、けいれん、不随意運動
	28時間	同上	救急時対応・発熱&熱中症・咳&ゼーゼー・頭痛・嘔吐
15限	29時間	試験のポイント	まとめ
	30時間	試験のポイント	まとめ

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 子どもの健康と安全		教員名 中村 和歌子	
科目時間数 : 15時間 (7.5限)		授業の種類 : 講義・演習・実習	
必修・選択 の別 :	必修・選択	配当学年 : 3年次	開講時期 : 前期・後期・集中
〔授業の目的・ねらい〕 子どもの身近な怪我や事故に対して、適切な応急処置及び救急処置に対応出来る技能を習得する。 〔こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連〕 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 〔授業全体の内容の概要〕 グループワーク・グループ討議を行い、モデル人形を使用し、身近な疾患・怪我・事故に対処出来るように講義を進める。 〔授業における達成課題〕 保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
	子どもの保健演習ノート	診断と治療社	
	子どもの保健テキスト	診断と治療社	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無 【内容】 看護師としての実務経験			

科目名			科目時間総数	教員名
子どもの健康と安全			15時間 (7.5限)	中村 和歌子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	限	1時間	子どもの保健と安全について	子どもの発達を知る
		2時間	身体測定	身長・体重・頭囲・胸囲（モデル人形で測定）
2	限	3時間	子どもの健康状態の観察	バイタルサインの測定法
		4時間	同上	子どもの体調不良時の主な症状と評価、対応
3	限	5時間	日常における養護の方法	子どもの抱き方、おんぶの仕方ミルクの作り方・与え方
		6時間	同上	おむつ交換、沐浴（モデル人形で演習）
4	限	7時間	まとめ	グループでまとめ
		8時間	同上	プレゼンテーション
5	限	9時間	子どもに起こりやすい事故	よく起こる事故について知ろう
		10時間	同上	事故や怪我の時の対応
6	限	11時間	子どもの誤飲について	子どもが誤飲してしまう物の大きさを確かめよう
		12時間	同上	チャイルドマウスを作ってグループで確認
7	限	13時間	感染症対策	感染症・手洗い消毒
		14時間	同上	嘔吐時の対応
7.5	限	15時間	まとめ	テスト
			同上	

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 子育て支援		教員名 佐藤 雅子	
科目時間数：15時間 (7.5限)		授業の種類：講義・演習・実習	
必修・選択 の別：必修・選択	配当学年：2年次	開講時期：前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 ・ソーシャルワークの基礎、援助関係形成のためのコミュニケーションの方法や面接技術を学び、体得する。 ・具体的な事例を通じて情報収集やヒアリング、アセスメント、支援計画作成までの一連の流れを経験し、相談援助過程や関係機関との連携について理解する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 ソーシャルワークの基礎と援助関係の形成、相談援助過程及び関係機関との連携について、場面観察やロールプレイ、事例検討を取り入れながら、経験的に学習する。 【授業における達成課題】 ・援助関係形成のためのコミュニケーションや面接のポイントを説明できる。 ・具体的な事例について、グループで協力してアセスメント及び支援計画作成を行うことができる。 ・アセスメントや支援計画作成、関係機関との連携について説明できる。			
	使用教材	出版社	
学生用	※教員が準備した資料及びワークシートを使用		
教員参考用	「社会福祉士相談援助演習」 「子育て支援」 「マイクロカウンセリング技法」	中央法規出版株式会社 公益財団法人 児童育成協会 株式会社 風間書房	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 ⑥. その他 (スクーリング当日の課題作成)			
【備考】			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無 【内容】社会福祉士としての実務経験			

科目名			科目時間総数	教員名
子育て支援			15時間	(7.5限) 佐藤雅子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	限	1時間	社会福祉援助の基本 コミュニケーションの 方法①	【講義】人の理解と環境の理解、バイスティックの7原則、 ソーシャルワークの展開過程、コミュニケーションの方法 【ワーク①】子どもとのコミュニケーション 【ワーク②】保護者とのコミュニケーション
		2時間		
2	限	3時間	コミュニケーションの 方法②	
		4時間		
3	限	5時間	面接技法①	【講義】面接技法 【場面観察】保護者との面談（マイクロカウンセリングDVD） 【ワーク①】相談場面のコメント検討 →ロールプレイ
		6時間		
4	限	7時間	面接技法②	【ワーク②】相談場面のコメント検討 →ロールプレイ 【課題】社会資源調べ
		8時間		
5	限	9時間	事例検討①	【講義】事例検討の方法と社会資源 子育て支援の事例提示 【ワーク①】ジェノグラム作成、保護者ヒアリングのポイント整理
		10時間		
6	限	11時間	事例検討②	【ワーク②】保護者へのヒアリング演習 →ロールプレイ 【ワーク③】アセスメントシート作成
		12時間		
7	限	13時間	事例検討③	【ワーク④】支援計画作成 →全体発表
		14時間		
7.5	限	15時間	まとめ	【課題】レポート作成

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 健康Ⅱ		教員名 高橋 裕貴子	
科目時間数：15時間 (7.5限)		授業の種類：講義・演習・実習	
必修・選択 の別：必修・選択	配当学年：2年次	開講時期：前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 領域「健康」に関する保育内容とその方法を理解し、子どもの健康に必要な知識とその指導・援助の技術、技能を獲得する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 子どもの全面的な発達を促すために、人間の身体や健康、それにかかわる環境についての理解を深め、子どもの健康に必要な知識とその指導、援助の技術、技能を獲得する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	健康 <理論編>	教育情報出版	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ①. 筆記試験 ②. レポート ③. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】有・無 【内容】			

科目名		健康Ⅱ	科目時間総数 15時間	(7.5限)	教員名 高橋 裕貴子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1	限	現代人の健康と生活	人類の生活と健康観の変遷について		
	1時間				
	2時間	〃	ライフサイクルと健康について		
	3時間				
2	限	県是な心身の発育・発達に見る乳幼児期の発	身体的発達とその仕組みについて		
	4時間		乳幼児期の発達課題についての理解		
3	限	乳幼児期・ 児童期の 子どもの健康な生活と 領域「健康」に関する保 育内容とその方法	子どもを取り巻く生活環境についての理解・幼稚園保育所との家庭連 携について		
	5時間		幼児期の発育・発達と健康づくりについて		
4	限	園における健康づくりの ための保育指導	健康な生活リズムについて・基本的な生活習慣の確立について		
	6時間				
5	限	健康保育における四季 の生活と遊び	生活に必要な生活習慣について・健康管理について		
	7時間		四季における生活と遊びについて、それぞれの特徴を知る		
6	限	保育の中の健康行事と 安全教育	年間行事の立て方と避難訓練などについて		
	8時間				
7	限	健康生活と遊びの科学	遊びの行動観察について		
	9時間				
7.5	限	新しい時代を生きる子ど もと健康	子どもの健康チェック・現場における子どもの健康課題		
	10時間				
7.5	限	〃			
	11時間				
7.5	限	〃			
	12時間				
7.5	限	〃			
	13時間				
7.5	限	〃			
	14時間				
7.5	限	〃			
	15時間				

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 劇あそび（指導法）		教員名 廣瀬 洋子	
科目時間数： 15時間 (7.5限)		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修 ・ 選択	配当学年：1年次	開講時期：前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 1. いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 2. 感じたことや考えたことを様々な方法で表現にしようとする。 3. 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 領域「表現」を観点に、発達段階に応じた子どもの遊び（ごっこ遊び、劇あそび）の内容と意義について学習する。伴う表現活動（歌う、演奏する、踊るなど）の演習課題を通し、感じたり、考えたり、想像したり、創造する力を養う。 【授業における達成課題】 ・領域「表現」の「ねらい」「内容」について理解する。 ・子どもの発達に即した遊びの過程を理解し、どのような援助が必要か考えることができる。 ・子どもの表現を育てうる実践力と指導法を見に付ける。			
	使用教材	出版社	
プリント資料適宜配布			
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）			
【備考】 評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】有・無			
【内容】幼稚園教諭、主幹教諭、教頭、園長の実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
劇あそび（指導法）		15時間（7.5限）	廣瀬 洋子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	1時間 2時間 劇あそびとは	劇あそびとは何か。劇あそびのねらい。劇あそびの導入の仕方。	
2 限	3時間 4時間 ペープサート作り①	絵本の選択、脚本・台本作り、配役（担当）決め	
3 限	5時間 6時間 ペープサート作り②	ペープサート・大道具・小道具・音響（効果音）の作成	
4 限	7時間 8時間 ペープサート作り③	ペープサート・大道具・小道具・音響の作成	
5 限	9時間 10時間 ペープサート劇の練習	台本読み。セリフの練習。ペープサートの動かし方。効果音や歌の取り入れ方。	
6 限	11時間 12時間 ペープサート劇の練習	台本読み。セリフの練習。ペープサートの動かし方。効果音や歌の取り入れ方。	
7 限	13時間 14時間 ペープサート劇の発表会	グループごとにペープサート劇の発表会を実施。他のグループの発表を見ることで、様々なことに気づく。	
8 限	15時間 振り返り	グループごとに振り返りシート&評価表を記入し、お互いの良さに気づき、今後の課題を探る。	

授業計画表

こども福祉 学科

M C L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育の心理学		教員名 青山 慶	
科目時間数：30時間 (15限)		授業の種類：講義・演習・実習	
必修・選択 の別：	必修・選択	配当学年：2学年	開講時期：前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 エリクソンのライフサイクル理論をもとに、人間が生を授かってからその生涯を終えるまで、どのような発達課題が生じるのか、福祉専門職として必要な支援は何かを考察し、乳幼児期の在り方と発達の影響について理解を深める事を目的とする。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ①. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を实践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 様々な心理学者の発達理論を学びつつ、各ライフステージごとの発達課題を明確にするとともに、福祉専門職として発達課題を乗り越えるための支援方法を考察していく。また、発達心理学は机上の学習だけではなく、自らのライフヒストリーと照合しながら学んでいく科目であるため、自己覚知の一環としても位置付けていく。 【授業における達成課題】 エリクソンのライフサイクル理論の重要性を習得し、各ライフステージの発達課題がどのような影響を持つのか見通しを立てつつ、発達を促進するために必要な支援方法を習得・実践することができる。			
	使用教材	出版社	
	保育の心理学 保育に生かす教育心理学	近畿大学九州短期大学 (株)みらい	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ①. 筆記試験 ②. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：試験・レポートの点数、及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】有・無 【内容】 社会科学研究所職員としての実務経験			

科目名		保育の心理学	科目時間総数 30時間	教員名 (15限) 青山 慶
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間	第1章 発達心理学の課題	オリエンテーション	
	2時間		発達心理学とはなにか	
2限	3時間	↓	発達研究のテーマ	
	4時間	第2章	発達理論についての視点	
3限	5時間	↓	初期の発達理論	
	6時間	↓	現代の発達理論	
4限	7時間	第3章 言語の発達	言語とは	
	8時間	↓	言語獲得の 仮説	
5限	9時間	↓	言語発達の道筋	
	10時間	第4章 知的発達	感覚運動期から形式的操作期へ	
6限	11時間	↓	発達の段階的構造化	
	12時間	↓	記号と表象	
7限	13時間	第5章 環境と発達	スキールズとダイの研究	
	14時間	↓	初期経験の影響	
8限	15時間	↓	知能と環境	
	16時間	第6章 感情の発達	知・情・意の働き、内発的動機づけ	
9限	17時間	↓	感情の種類	
	18時間	↓	情動の発達、情動の種類	
10限	19時間	第7章 社会性の発達	社会化への道、社会的交流と遊び	
	20時間	第8章 道徳性の発達	道徳性についての3つの考え方	
11限	21時間	↓	道徳性の発達	
	22時間	第9章 青年期の発達	青年期とは、身体の発達	
12限	23時間	↓	青年期の心理的な特徴	
	24時間	↓	青年の余暇活動	
13限	25時間	第10章 成人期の生活	就職、結婚	
	26時間	↓	余暇	
14限	27時間	↓	女性の時代、中高年層の悩み	
	28時間	第11章 老年期の生活	高齢者の生き方、就労意欲	
15限	29時間		生きがい、老人の病い	
	30時間	第12章	現代社会と能力、コンピテンスの発達と教育	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 子ども家庭支援の心理学		教員名 佐藤 雅子	
科目時間数：30時間 (15限)		授業の種類： ☒ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： ☒ 必修・選択	配当学年：2年次	開講時期：前期・ ☒ 後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 ・ 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達的に理解し、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。 ・ 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 ・ 子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題を理解する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ☒ 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 子どもが育つ社会や家庭、心理学的な生涯発達の視点に立ち、具体的な事例を取り扱いながら講義を進める。後半はグループワークを取り入れる。 【授業における達成課題】 ・ 社会的背景や生涯発達という視点から家族、家庭の意義や機能を理解し、説明できる。 ・ 多様な課題を抱える家庭を包括的にとらえ、事例のアセスメントができる。 ・ ライフコースという視点から自分史を振り返り、対人援助職としての自己覚知を深める。			
	使用教材	出版社	
学生用	新基本保育シリーズ9 「子ども家庭支援の心理学」	公益財団法人 児童育成協会	
教員参考用	新・社会福祉士養成講座 「心理学理論と心理的支援」	中央法規出版株式会社	
【使用教室】 1. ☒ HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 () 【評価方法】 1. ☒ 筆記試験 2. レポート 3. 出席 ☒ 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 () 【備考】 【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ・ 無 【内容】社会福祉士としての実務経験			

科目名			子ども家庭支援の心理学	科目時間総数	30時間	(15限)	教員名	佐藤 雅子
限・時間数			教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標				
1	限	1時間 2時間	家族・家庭の意義と機能	・家庭、親族、世帯 ・家族の定義、機能の変化				
2	限	3時間 4時間	家族関係・親子関係の理解	・家族のライフサイクル、システム理論 ・ジェノグラム・エコマップ				
3	限	5時間 6時間	子育ての経験と親としての育ち	・妊娠出産～産後まで ・周囲の人との関係と親としての育ち				
4	限	7時間 8時間	子育てを取り巻く社会的状況	・出産・子育てをめぐる社会的状況 ・子ども・子育て支援制度の概要				
5	限	9時間 10時間	乳児期の発達	・新生児期、乳児期 ・言葉の発達 ・アタッチメントの視点からみた保育者との関係性				
6	限	11時間 12時間	幼児期の発達	・認知、言語、社会性、自我の発達 ・初期経験の重要性、保育場面における遊びの発達				
7	限	13時間 14時間	学童期の発達	・認知、社会性の発達 ・学童期の発達をふまえた教育支援				
8	限	15時間 16時間	青年期の発達	・身体、認知、自己の発達 ・アイデンティティの確立				
9	限	17時間 18時間	成人期・中年期の発達	・成人期、中年期 ・職業、結婚と子育て				
10	限	19時間 20時間	高齢期の発達	・高齢期における心と身体の発達 ・高齢者福祉				
11	限	21時間 22時間	ライフコースと仕事・子育て	・男女のライフコースの歴史的変化と特徴 ・性役割分業とライフコース ・ライフコースの視点を生かした子育て支援				
12	限	23時間 24時間	多様な家庭とその理解	・アセスメント演習（生活困窮世帯、ひとり親家族の事例）				
13	限	25時間 26時間	多様な家庭とその理解	・アセスメント演習（障がいのある子どもがいる世帯の事例）				
14	限	27時間 28時間	多様な家庭とその理解	・アセスメント演習（多問題家族の事例）				
15	限	29時間 30時間	振り返り	・1年間の授業のまとめ・振り返り				

授業計画表

こども福祉 学科

M C L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育課程総論		教員名 阿部 温子	
科目時間数： 30時間 (15限)		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 教育課程の意義と編成の基本を学び、長期・短期の指導計画を作成できる基礎的な力をつける 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 子どもたちの実態に即して、指導計画を編成することができるようになるために必要な基礎的な力を養う。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得できるようになる。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	あたらしい幼児教育課程総論 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領	同文書院 フレーベル館 〃	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ①. 筆記試験 ②. レポート 3. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備 考】 *筆記試験で60点以上、授業態度、演習問題等で総合的に評価する			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内 容】 幼稚園教諭としての実務経験			

科目名 教育課程総論			科目時間総数 30時間 (15限)	教員名 阿部 温子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	限	幼児期の性質	乳幼児期の発達について理解する	
	1時間			
	2時間	〃	幼児期の発達課題、生涯学習における幼児期の意義を知る	
	3時間			
2	限	教育課程の意義と方向	教育課程の概念、教育観とカリキュラムの類型について理解する	
	4時間			
3	限	幼稚園教育と保育所保育	幼稚園の保育所の基本的な性格(制度、現状など)を知る	
	5時間			
	6時間	〃	保育のあり方、幼児教育の先哲、環境を通して行う教育について学ぶ	
	7時間			
4	限	教育課程編成の基準	教育課程に関する法制を理解する	
	8時間			
5	限	幼児教育課程の基本	環境と保育、幼児期にふさわしい生活の展開について理解する	
	9時間			
	10時間	〃	依存の生活から自立、幼児の主体的な生活について学ぶ	
	11時間			
6	限	〃	遊びと仕事、遊びを通しての総合的な指導について学ぶ	
	12時間			
7	限	基礎となる幼児の姿	「遊び」の理論、「遊び」の教育的意義を理解する	
	13時間			
	14時間	〃	「楽しさ」をどうとらえるかを考察する	
	15時間			
8	限	目的・目標・ねらい・内容	幼稚園教育の目的と目標、園の教育目標の性格、設定、改善について理解する	
	16時間			
	17時間	〃	「ねらい」「内容」とその領域、領域と教科の違いについて学ぶ	
	18時間			
9	限	教育課程の編成と指導計画の作成	教育課程編成の手順を知る	
	19時間			
	20時間	〃	「指導」の意義を理解する	
	21時間			
10	限	〃	指導計画の意義を理解する	
	22時間			
	23時間	〃	指導計画の作成について、内容と手順を知る	
	24時間			
11	限	教育課程の評価	教育評価の意義、指導計画と指導の評価について学ぶ	
	25時間			
	26時間	〃	教育課程の評価の内容と指導計画の評価との関連について理解する	
	27時間			
12	限	教育課程の実例	具体例の比較・検証ができる	
	28時間			
	29時間	指導計画の実例	〃	
	30時間			
13	限	指導計画(長期)の作成	具体例を基に長期(Ⅰ期)の指導計画を作成することができる	
	31時間			
	32時間	〃	〃	
	33時間			
14	限	〃	〃	
	34時間			
	35時間	指導計画(短期)の作成	具体例を基に短期(1日)の指導計画を作成することができる	
	36時間			
15	限	〃	〃	
	37時間			
	38時間	まとめ	各章ごとに行った演習の振り返りをする	
	39時間			

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育方法論		教員名 阿部 温子	
科目時間数： 30時間 (15限)		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の 別： 必修・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 保育者として、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法・技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技術を身に付ける。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 幼児教育・保育の方法について教科書や資料を基に知識を得ながら、自分の考えを持ち、グループワークで他人の意見も聞きながら、理解を深めていくようにする。 【授業における達成課題】 幼児教育・保育の方法について基礎的な知識を理解し、自分なりの考察ができるようになる。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	幼児教育・保育のための教育方法論	ミネルヴァ書房	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 (科目終末試験)			
【備 考】 *レポート提出で受験資格取得 *筆記試験60点以上で単位取得			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内 容】 幼稚園教諭としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
教育方法論		30時間	(15限) 阿部 温子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間	教育方法の基礎理論	自分の保育観、子ども観について考察する
	2時間	〃	〃
2限	3時間	〃	フレーベルの理論について理解する
	4時間	〃	〃
3限	5時間	環境を通して行う教育	「環境」について考察する
	6時間	〃	子どもの育ちと環境について理解する
4限	7時間	〃	人的環境の保育者の役割について学ぶ
	8時間	〃	〃
5限	9時間	主体的・対話的で深い学び	アクティブラーニングについて理解する
	10時間	〃	〃
6限	11時間	〃	幼児教育と「主体的・対話的で深い学び」の関係を理解する
	12時間	〃	〃
7限	13時間	幼児教育の評価	幼児理解に基づいた評価の考え方と方法について知る
	14時間	〃	幼児理解の方法としての記録について理解する
8限	15時間	幼児教育・保育における遊び	幼稚園教育要領における遊びを学ぶ
	16時間	〃	「遊び」＝「学び」について考察する
9限	17時間	〃	豊かな遊びと学びについて理解する
	18時間	〃	〃
10限	19時間	幼児教育・保育における計画	カリキュラム・マネジメントについて理解する
	20時間	〃	教育課程・全体的な計画、指導計画の立て方について理解する
11限	21時間	幼児教育・保育におけるICTの活用	幼稚園・保育所におけるICTの現状を知る
	22時間	〃	幼児教育・保育を支援するためのICT活用について考察する
12限	23時間	〃	情報活用能力と幼児教育・保育の現場での活用について探る
	24時間	〃	〃
13限	25時間	幼児教育・保育のこれから	子どもたちに求められる力について理解する
	26時間	〃	〃
14限	27時間	〃	保育の質を高めるための課題を知る
	28時間	〃	〃
15限	29時間	まとめ	レポート課題と試験対策について知る
	30時間	〃	〃

授業計画表

こども福祉 学科

M C L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教職概論		教員名 佐々木 全	
科目時間数： 30時間 (15限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年： 1 年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 教育とは何か、教職とは何かを学び、今教育現場で何が求められているのかの理解を深め、教師・保育士の役割について考察し、自らが志向する教師・保育士像を明確にする。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 教師・保育士の役割と倫理及び専門職としての責務を理解し、社会の期待に応える保育を遂行するための基礎的知識を習得する。 【授業における達成課題】 教師・保育士として必要な教育観、子ども観、職業観を自らが志向する教師・保育士像を交えて考察、説明できる。			
使用教材		出版社	
学生用・教員用 共通	<改訂>教職入門 未来の教師に向け	萌文書林	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ①. 筆記試験 ②. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 ・適宜演習問題を課す。 ・毎時終了前の5分間を、リアクションペーパーの記入時間とする。 ・ノートを使用する。各自準備すること。			
【担当教員の実務経験の有無】		有	
【内容】		特別支援学校教員、高等学校教員 大学及び大学院教員	

科目名		教職概論	科目時間総数 30時間	教員名 (15限) 佐々木全
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	1時間 2時間 限	教育とは何か	教育の動機、目的の概説、教育観の概説 *教育の対象だった自分と教育を担う自分の立場を対比し説明できる。	
2	3時間 4時間 限	子どもと共に生きる教師の生	教師を目指す上で大事な意識の概説、指導力の概説 *教育の対象だった自分と教育を担う自分の立場を対比し、教師を目指す動機と目指したい教師像を説明できる。	
3	5時間 6時間 限	日本における教師の歴史	明治～大正、昭和～現在の概説 *教師を巡る史的経緯を説明し、教師の使命について自分の考えを説明できる。	
4	7時間 8時間 限	現代社会の子ども	社会的発達の概説、仲間と地域の概説 *現代の子どもを取り巻く状況を説明し、その教育的ニーズについて自分の考えを説明できる。	
5	9時間 10時間 限	幼稚園・保育所の生活と遊び	1日の生活の概説、遊びの概説 *幼稚園・保育所の生活について、自らの幼児期の体験を題材にして、その活動における教育的意図を分析し説明できる。	
6	11時間 12時間 限	小学校での学習と専科教員	小学校の概説、授業の概説 *小学校の生活について、自らの幼児期の体験を題材にして、その活動における教育的意図を分析し説明できる。	
7	13時間 14時間 限	学校を支える人々とその仕事	小学校の概説、授業の概説 *小学校の生活について、自らの学童期の体験を題材にして、その活動における教育的意図を分析し説明できる。	
8	15時間 16時間 限	これまでの総括と演習	これまでの学びをふりかえる。 *学習内容の要点を踏まえ、教師・保育士として必要な教育観、子ども観、職業観について、自らの考えを説明できる。	
9	17時間 18時間 限	カウンセリングマインド	カウンセリングマインドの概説、特別支援の概説 *子どもや保護者一人一人への対応について、その必要性とそれに応じた方法論について具体的な事例に即して考案し説明できる。	
10	19時間 20時間 限	29時間30時間+C12:C18	国際化の概説、情報化の概説 *国際化、情報化の状況において求められる教育のあり方について自分の考えを説明できる。	
11	21時間 22時間 限	教師をめぐる法律	教育法規の概説、教育の改革動向の概説 *コンプライアンス（法令遵守）の必要性について、日常生活における自分（現実我）と、目指す教師像（理想我）を対比させ自分の考えを説明できる。	
12	23時間 24時間 限	これまでの総括と演習	これまでの学びをふりかえる。 *学習内容の要点を踏まえ、教師・保育士として必要な教育観、子ども観、職業観について、自らの経験を交え具体的に考え説明できる。	
13	25時間 26時間 限	教育改革とこれからの教師	教育の改革動向の概説 *教育改革の経緯を説明し、これからの社会に求められる教師像と、それに比して現在の自分が習得すべき課題を説明できる。	
14	27時間 28時間 限	教師の専門性と研修	専門性の概説、研修についての概説 *教師の専門性向上をめざす意義とそのための研修のあり方について説明し、かつ、現在の自分が興味関心を有する専門分野について考え説明できる。	
15	29時間 30時間 限	総括	これまでの学びをふりかえる。 *教師の現状に関する具体的な逸話をもとに、教師・保育士として必要な教育観、子ども観、職業観について具体的に考え説明できる。	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育実習事前事後指導		教員名 橋場 早苗	
科目時間数 : 15時間 7.5限		授業の種類 : 講義 ・ (演習) ・ 実習	
必修・選択 の別 :	(必修)・選択	配当学年 : 2年次	開講時期 : 前期・後期・(集中)
【授業の目的・ねらい】 ①幼稚園の機能と役割について学ぶ。 ②幼稚園教諭の職務と役割を理解する。 ③幼稚園の子どもたちの発達段階を理解し計画を立案する。 ④教育実習の目的や意義を理解する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ②幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 幼稚園の機能や内容、教育実習の目的や意義を理解すること、専門教育科目で習得した知識や技能と幼稚園における教育実践とを具体的に統合することによって教育実習に対する意欲や課題意識を高める。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通 〃	幼稚園事前実習指導 幼稚園実習実習日誌 (1回目)	近畿大学九州短期大学通信教育部 〃	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ①. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備 考】 評価について : 試験の結果、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】(有)・無 【内容】幼稚園教諭としての実務経験			

科目名			科目時間総数	教員名
教育実習事前事後指導			15時間	橋場 早苗
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	1時間	幼稚園実習の内容理解	スクーリングの日程・内容についての説明	
	2時間		ビデオ視聴「幼稚園の一日」観察と考察（振り返り）	
2限	3時間		①幼稚園実習で学ぶこと ②幼稚園現場での新しい動き	
	4時間		〃	
3限	5時間	実習事前準備、心構えの再確認	幼稚園教育の特色・実習の心構え等の確認テスト	
	6時間	実習事後についての理解	実習事後について・実習報告書の記入の仕方・実習のお礼状の書き方	
4限	7時間		・実習評価について・実習事後の園とのやり取りについて	
	8時間		〃	
5限	9時間	実習の実際と演習・まとめ	グループワーク・模擬保育（子どもの心を引き付ける工夫）	
	10時間		〃	
6限	11時間		〃	
	12時間		〃	
7限	13時間		〃	
	14時間		〃	
7.5限	15時間		まとめ	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育内容総論		教員名 阿部 温子	
科目時間数：15時間 (7.5限)		授業の種類：講義・演習・実習	
必修・選択 の別：必修・選択	配当学年：1年次	開講時期：前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 保育の内容とは何か、それを保育という営みの中でどのように展開するのか、多面的に捉えながら理解する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 幼稚園、保育所、認定こども園の違いと共通する点を踏まえた上で、保育内容・保育の全体的構造を理解する。また保育の多様な展開に対応できる知識や技術を身に付ける。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得できるようになる。			
	使用教材	出版社	
プリント資料適宜配布			
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 *レポートの内容、授業態度等で評価する			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内 容】 幼稚園教諭としての実務経験			

科目名			科目時間総数	教員名
保育内容総論			15時間	(7.5限) 阿部 温子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	限 1時間	保育の特性	幼稚園と保育所の保育の特性について理解する	
	2時間	保育の基本	基本を踏まえた保育について確認する	
2	限 3時間	〃	〃	
	4時間	〃	〃	
3	限 5時間	養護と教育の一体	保育所保育指針に基づく保育内容を理解する	
	6時間	〃	〃	
4	限 7時間	〃	“事例”を通しての一体的保育について理解する	
	8時間	こども理解と発達の捉え方	こどもを“みる”ことの意味について探る	
5	限 9時間	〃	こどもの“行為”に現れる意味について探る	
	10時間	〃	発達を“過程”として捉えることによる「こども理解」を知る	
6	限 11時間	〃	様々な事例から考察する	
	12時間	あそびの総合性	自発的なあそびによる総合性に理解を深める	
7	限 13時間	〃	具体的事例から考察する	
	14時間	保育の多様化とこれからの課題	少子化時代の子育て支援と保育制度について知る	
7.5	限 15時間	〃	認定子ども園について知る	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育実習		教員名 橋場 早苗	
科目時間数： 216時間 108限		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：2.3年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 ①幼稚園の1日の生活の流れと生活や遊びの概要を理解する。②遊び・生活場面での子どもの発達段階を理解する。③幼稚園教諭の職務と役割を学ぶ。④幼稚園教諭としての保育技術の習得と態度を育成する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ②. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 幼児教育に関する知識、技能を活用しながら体験的、総合的に認識を深め、幼児教育に関わる理論と実践を統合していく。前期実習では、幼稚園においてどのような活動がどのような方法で行われているかを把握する。後期実習では、部分、前日実習を通して、幼稚園教諭としての教育技術の習熟および態度の育成、家庭との連携の内容・方法を理解する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	幼稚園事前実習指導	近畿大学九州短期大学通信教育部	
〃	幼稚園実習実習日誌 (1回目)	〃	
〃	幼稚園実習実習日誌 (2回目)	〃	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 ⑦. その他 実習園			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 ⑥. その他 (実習評価)			
【備考】 評価について：実習評価により評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】(有)・無 【内容】幼稚園教諭としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
教育実習		216時間 限	橋場 早苗
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
54	限	108時間	
		(2年次)「観察・参加実習」Ⅰ. 幼児の姿を理解する Ⅱ. 保育者の姿から保育の手がかりを得る Ⅲ. 教材や用具などの環境を把握する Ⅳ. 幼児の実態に合わせた保育を考える	①観察・参加実習(園や幼児の様子を観察する)
			・園の1日の生活の流れを理解する。
			・幼児の名前を覚え、園生活での様子を観察する。
			・幼児同士のかかわりや友達関係について観察する。
			②観察・参加実習(幼児に対する教師のかかわりの仕方を観察する)
			・教師が幼児にどのようにかかわっているのかを観察する。
			・クラスの特徴や教師の援助について理解する。
			・幼稚園教諭の職務と役割を学ぶ。
			③観察・参加実習(1人1人の幼児理解と活動内容)
			・遊びや生活の場面での幼児の発達段階を知る。
			・生活の中でどのような活動がどのような方法で行われているのかを学ぶ。
			④観察・参加実習(教材や資料などを把握する)
			・環境設定の工夫や留意点について学ぶ
			・教材や用具の選択や数量の確保がどのように行われているのかを知る。
		「部分実習」保育の一部分を担当する実習…1人1人の幼児が充実した楽しい生活を過ごせるような保育内容を考える。	⑤部分実習…保育の一部分を担当する実習
			・朝の活動の部分実習…出席確認・朝のうた・手遊び等
			・中心活動の部分実習…製作・ゲーム・体操等
			・昼食の部分実習…給食の準備・お当番活動・食事の援助等
			・帰りの活動の部分実習…絵本・紙芝居・手遊び・帰りのうた(等)
			⑥部分実習(部分実習の留意点)
			・担任教師の指導のもとに指導計画を立案する。
			・幼児の実態を把握し、実態に即した活動内容を考える。
			・活動の意味や目的を明確にする。
			・前後の活動から部分指導を行う関連性を考える。
		「全日実習」1日の保育をすべてを担当する実習…一日の流れを意識し、指導計画を立案する。	⑦全日実習…1日の保育をすべてを担当する実習
			・担任教師の指導のもとに指導計画を立案する。
			・「ねらい」「内容」「環境構成」「活動」「援助」を考える。
			・幼児の興味・関心を考慮し適切な指導を心がける。
		実習のまとめ	⑧実習の評価・反省
			・実習を振り返り、自己評価・反省・今後の課題を探る。

時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
54	限	108時間	①観察・参加実習（幼児に対する教師のかかわりの仕方を観察する）
			・教師が幼児にどのようにかかわっているのかを観察する。
			・クラスの特徴や教師の援助について理解する。
			・幼稚園教諭の職務と役割を学ぶ。
			②観察・参加実習（1人1人の幼児理解と活動内容）
			・遊びや生活の場面での幼児の発達段階を知る。
			・生活の中でどのような活動がどのような方法で行われているのかを学ぶ。
			・幼児同士のかかわりや友達関係について観察する。
			③観察・参加実習（教材や資料などを把握する）
			・環境設定の工夫や留意点について学ぶ
			・教材や用具の選択や数量の確保がどのように行われているのかを知る。
		「部分実習」保育の一部分を担当する実習…1人1人の幼児が充実した楽しい生活を過ごせるような保育内容を考える。	④部分実習…保育の一部分を担当する実習
			・朝の活動の部分実習…出席確認・朝のうた・手遊び等
			・中心活動の部分実習…製作・ゲーム・体操等
			・昼食の部分実習…給食の準備・お当番活動・食事の援助等
			・帰りの活動の部分実習…絵本・紙芝居・手遊び・帰りのうた（等）
			⑤部分実習（部分実習の留意点）
			・担任教師の指導のもとに指導計画を立案する。
			・幼児の実態を把握し、実態に即した活動内容を考える。
			・活動の意味や目的を明確にする。
			・前後の活動から部分指導を行う関連性を考える。
		「全日実習」1日の保育をすべてを担当する実習…一日の流れを意識し、指導計画を立案する。	⑦全日実習…1日の保育をすべてを担当する実習
			・担任教師の指導のもとに指導計画を立案する。
			・「ねらい」「内容」「環境構成」「活動」「援助」を考える。
			・幼児の興味・関心を考慮し適切な指導を心がける。
			・発達段階を考慮し各年齢で成長の過程に沿った活動を取り入れる。
			・時期（季節感）を考えた活動を準備する。
			・十分な教材研究を行い活動の展開を予測し、ねらいを達成できるようにする。
		実習のまとめ	⑧実習の評価・反省
			・実習を振り返り、自己評価・反省・今後の課題を探る。

授業計画表

こども福祉 学科		MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校	
科目名 教育相談		教員名 川原 正広	
科目時間数： 30時間 (15限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：2年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 カウンセリング技法等の基礎的な理論を理解し、保護者の支援、幼児の指導の基本的なスキルを習得する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 子どもの世界や保育士、幼稚園教諭の役割についての理解を深めることを通して、子どもや家族へのカウンセリングスキルの基礎を学ぶ。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	子育て支援カウンセリング	図書文化	
【使用教室】 1. HR2. 介護実習室3. 家政実習室4. 視聴覚室 5. PC実習室6. 接遇実習室7. その他（ ） 【評価方法】 1. 筆記試験2. レポート3. 出席4. 授業態度 5. 実技試験6. その他（ ） 【備考】			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無 【内容】 県立学校教諭等としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
教育相談		30時間	川原 正広
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1. 2限	1時間 2時間	教育相談シラバス	教育相談の学びについて理解する。
	3時間 4時間	理論と技法	教育相談の理論と主な技法について理解する。
3. 4限	5時間 6時間	理論と技法	教育相談の理論と主な技法について理解する。
	7時間 8時間	登園しぶり	登園しぶりの原因、背景、指導について理解できる
5. 6限	9時間 10時間	観察法	観察法について理解する。
	11時間 12時間	個別理解と集団理解	個と集団の関係における発達について理解できる。
7. 8限	13時間 14時間	育児不安	保護者の育児不安の背景、保護者への配慮について理解する。
	15時間 16時間	養育困難	保護者が育児不安になる原因、育児不安への対処について理解する。
9. 10限	17時間 18時間	児童虐待	児童虐待の背景、保護者への支援について理解する。
	19時間 20時間	保護者の精神疾患	保護者の精神疾患について、その特徴と支援について理解する。
11. 12限	21時間 22時間	幼児の不応行動	幼児のさまざまな不応行動、指導の方法について理解する。
	23時間 24時間	発達障がい	発達障がいの特徴、支援の方法について理解する。
13. 14限	25時間 26時間	教育相談体制	園での教育相談体制について理解する。
	27時間 28時間	外部機関	地域を含めたさまざまな教育相談機関について理解する。
15限	29時間	まとめ	教育相談の学びについて振り返る。
	30時間		

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育・教職実践演習		教員名 橋場 早苗	
科目時間数 : 30時間 15限		授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別 :	必修・選択	配当学年 : 3年次	開講時期 : 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 ①保育者としての資質能力を総点検する。②自己課題を見つけだし、不足している知識・技能の補いを自己学習によって獲得する。③乳幼児への理解力や保育技術が保育実践の場で発揮できるようになる。④学級運営や集団作りの視点を学び、指導力を身につける。⑤社会性や対人関係能力を身につける。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 保育者として必要な資質能力を確実に身につけているかどうか確認し、保育の現場で求められる実践力の形成を目指す。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	保育・教職実践演習	近畿大学九州短期大学通信教育部	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 () 【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 () 【備考】 出席 (20点)、提出物 (20点)、意欲・態度 (30点)、レポート (30点) 合計100点中60点以上合格			
【担当教員の実務経験の有無】(有)・無 【内容】幼稚園教諭としての実務経験			

科目名 ども福祉		保育・教職実践演習		科目時間総数 30時間		15限		教員名 橋場 早苗			
時間数		教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容							
1 限		イントロダクション (授業概要と授業方法)		「保育・教職実践演習」の意義とねらい							
				・実習を終えた学生に保育者としての最小限必要な資質能力が形成されているか振り返り定着を目指す。							
2 限				資質能力が形成されているか振り返り定着を目指す。							
		学びを通して得られた知識と技術の確認		↓ これまでの学修を振り返る「保育・教職実践演習」の趣旨の理解							
3 限		グループワーク・学級経営や集団作り		創作活動を取り入れたプログラム、まとめと発表							
				↓ ・新しい園の構想（ハード面・ソフト面）							
4 限		保育者に求められる基本的事項と保育技術		「保育とは、保育者の仕事とは」							
				↓ ・保育者の社会的使命と役割							
5 限				↓ ・専門職としての保育者の仕事							
				「自ら育つ保育者となるために」							
6 限				↓ ・保育者に求められる基本的事項と人間関係能力							
				↓ ・保育者に求められる保育技術							
7 限		保育者としての資質・能力の総点検		「履修カルテ」作成の意義							
				「履修カルテ」の作成（履修カルテ①、履修カルテ②）							
8 限		保育実践と自己課題		「履修カルテ」の活用（振り返りと自己課題の確認）							
				保育者としての自己課題から研究課題設定							
9 限				↓ ・自己課題を見つけだし不足している知識・技能の							
				↓ 補いを自己学習によって獲得する。							
10 限		グループワークとフィールドワーク（保育内容を体系的・系統的に理解すると共に、保育実践の基本的な事項や保育技術を身に付ける。）		グループ毎に研究テーマ・内容についての研究討議							
				課題研究（内容、アプローチの仕方）							
11 限				課題研究（調べ学習、アンケート作成、事例研究等）							
				課題研究（事前準備、内容のまとめ）							
12 限				課題研究（園訪問、アンケート調査、実践活動等）							
				課題研究（実態調査、職場体験、大学訪問等）							
13 限				課題研究の調査結果のまとめ（パワーポイント）							
				フィールドワークで何を学んだのか、振り返りと評価							
14 限				成果報告（プレゼンテーション）		研究発表①					
						研究発表②					
15 限						↓					
		保育者としての使命感・責任感・倫理観について学ぶ		振りかえりとまとめ							

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習事前事後指導 I (保育所)		教員名 橋場早苗	
科目時間数: 7.5時間 (3.75限)		授業の種類: 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の 別 :	必修・選択	配当学年: 3年次	開講時期: 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 保育実習の意義・目的を理解するとともに、実習に臨む心構えを作る。実習の課題・目的を達成するために事前の準備や学習を深める。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 保育実習を円滑に行うために、保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習の意義・目的を理解するとともに、実習に臨む心構えを作る。実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	保育実習	中央法規	
〃	保育所実習日誌	県内保育士養成校	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 (実技等含む)			
【備考】 遅刻、欠席、時間欠課なく受講、意欲（事前準備を含む）、授業態度、提出物、試験を総合して評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】有・無 【内容】保育士としての実務経験			

科目名		科目時間総数		教員名	
保育実習事前事後指導Ⅰ（保育所）		7.5時間		(3.75限)	
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容と到達目標	
1	限	1時間	保育所実習の意義と目的	・ 保育所実習の意義と目的、必要性について理解する	
		2時間	保育所の役割と社会的責任	・ 保育所保育指針から見る保育所と保育者の役割、社会的責任	
2	限	3時間	乳幼児の発達と理解	・ DVDと講義で乳幼児の言語の発達理解を深める	
		4時間		・ 望ましい関わりと望ましくない関わりを知る	
3	限	5時間	実技演習	・ 年齢を設定し、絵本を使って演習を行う	
		6時間		・ ロールプレイを通して子どもの気持ちと具体的な関わりに気がつく	
3.75	限	7時間 7.5時間	まとめ	・ 実技等からわかったことや反省すべき点を討議し、実習への準備に向ける	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習事前事後指導 I (施設)		教員名 高橋立	
科目時間数 : 7.5時間 3.75限		授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : 必修・選択		配当学年 : 2年次	開講時期 : 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 保育実習を円滑に行うために、保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習の意義・目的を理解するとともに、実習に臨む心構えを作る。実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 保育実習を円滑に行うために、保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習の意義・目的を理解するとともに、実習に臨む心構えを作る。実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	施設実習ガイド	萌文書林	
〃	保育園実習日誌	岩手県保育士養成校	
〃	施設実習日誌	〃	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】(有)・無 【内容】障害児施設職員としての実務経験			

科目名 保育実習事前事後指導Ⅰ（施設）			科目時間総数 3.75 限	教員名 高橋 立
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	1時間	実習課題の設定①	実習研究で学んだ実習に求められる内容に即した実習課題の設定	
	2時間	実習課題の設定②	設定された実習課題を「動機」「課題達成方法」に分類し、実習計画に盛り込む	
2 限	3時間	実習課題の設定③	設定された実習課題を「動機」「課題達成方法」に分類し、実習計画に盛り込む	
	4時間	実習課題の考察	実習後における、自身の実習体験の振り返りと実習課題の考察	
3 限	5時間	実習報告書の作成①	実習報告会に向けた実習報告書の作成	
	6時間	実習報告書の作成②	実習報告会に向けた実習報告書の作成	
3.75 限	7.5時間	実習報告会	実習報告会	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習 I (保育所)		教員名 橋場早苗	
科目時間数: 90時間 45限		授業の種類: 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別: 必修・選択	配当学年: 3年次	開講時期: 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 保育現場での実践を通して、保育者の働きを学び、 保育者を志すものとしての自身の課題に向き合う。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 既習の知識や技能を基盤として、総合的に関連づける力、保育実践に知識や技能を応用する力を養う。保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	保育実習	中央法規	
”	保育園実習日誌	県内保育者養成校	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他(実習園			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他(実習評価			
【備考】 評価について：実習評価により評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】(有) 無 【内容】 保育士としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
保育実習Ⅰ（保育所）		90時間	橋場早苗
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
45 限	90時間	保育所の機能や役割	①観察・参加実習（園や幼児の様子を観察する）
		観察・参加実習（子ども）	・園の1日の生活の流れを理解する。
			・幼児の名前を覚え、園生活での様子を観察する。
			・幼児同士のかかわりや友達関係について観察する。
		観察・参加実習（保育士の動き）	②観察・参加実習（幼児に対する保育士の援助について）
			・保育士が子どもにどのようにかかわっているのかを観察する。
			・クラスの特徴や保育士の援助について理解する。
		子ども理解	・保育士の職務と役割を学ぶ。
			③観察・参加実習（1人1人の子ども理解と活動内容）
			・遊びや生活の場面での幼児の発達段階を知る。
		部分実習	・1日の生活がどのような流れで行われているのかを学ぶ。
			・午睡時の準備、子どもの動きについて知り、援助方法を学ぶ
			④観察・参加実習（教材や資料などを把握する）
		全日実習	・環境設定の工夫や留意点について学ぶ
			・清潔・安全の確保について学ぶ。
			⑤部分実習…保育の一部分を担当する実習
			・朝の活動の部分実習…出席確認・朝のうた・手遊び等
			・中心活動の部分実習…製作・ゲーム・体操等
			・昼食の部分実習…給食の準備・お当番活動・食事の援助等
			・帰りの活動の部分実習…絵本・紙芝居・手遊び・帰りのうた（等）
			⑥部分実習（部分実習の留意点）
			・実習指導者のもとに指導計画を立案する。
			・子どもの実態を把握し、実態に即した活動内容を考える。
			・活動の意味や目的を明確にする。
			・前後の活動から部分指導を行う関連性を考える。
			⑦全日実習…1日の保育をすべて担当する実習
			・実習指導者の指導のもとに指導計画を立案する。
			・「ねらい」「内容」「環境構成」「活動」「援助」を考える。
			・子どもの興味・関心を考慮し適切な指導を心がける。
			・時期（季節感）を考えた活動を準備する。
			・十分な教材研究を行い活動の展開を予測し、ねらいを達成できるようにする。
			⑧実習の評価・反省
			・実習を振り返り、自己評価・反省・今後の課題を探る。

時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
		子どもたちの発達過程の理解と適切な援助	①観察・参加実習（幼児に対する教師のかかわりの仕方を観察する）
			・教師が幼児にどのようにかかわっているのかを観察する。
			・クラスの特徴や教師の援助について理解する。
			・幼稚園教諭の職務と役割を学ぶ。
			②観察・参加実習（1人1人の幼児理解と活動内容）
			・遊びや生活の場面での幼児の発達段階を知る。
			・生活の中でどのような活動がどのような方法で行われているのかを学ぶ。
			・幼児同士のかかわりや友達関係について観察する。
			③観察・参加実習（教材や資料などを把握する）
			・環境設定の工夫や留意点について学ぶ
			・教材や用具の選択や数量の確保がどのように行われているのかを知る。
			④部分実習…保育の一部分を担当する実習
			・朝の活動の部分実習…出席確認・朝のうた・手遊び等
			・中心活動の部分実習…製作・ゲーム・体操等
			・昼食の部分実習…給食の準備・お当番活動・食事の援助等
			・帰りの活動の部分実習…絵本・紙芝居・手遊び・帰りのうた（等）
			⑤部分実習（部分実習の留意点）
			・保育指導者の指導のもとに指導計画を立案する。
			・子どもの実態を把握し、実態に即した活動内容を考える。
			・活動の意味や目的を明確にする。
			・前後の活動から部分指導を行う関連性を考える。
			⑧実習の評価・反省
			・実習を振り返り、自己評価・反省・今後の課題を探る。
		専門職としての保育士の役割と職業倫理	①保育士の業務内容を理解する
			②職員間の役割分担や連携を理解する
			③保育士としての役割と職業倫理の理解をする
			④子育て支援について学ぶ
			⑤延長保育について学ぶ
			⑥保護者支援にについて学ぶ

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習 I (施設)		教員名 竹内愛美	
科目時間数 : 90時間 45限		授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別 :	必修・選択	配当学年 : 2 年次	開講時期 : 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 既習の知識や技能を基盤として、総合的に関連づける力、保育実践に知識や技能を応用する力を養う。保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 既習の知識や技能を基盤として、総合的に関連づける力、保育実践に知識や技能を応用する力を養う。保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通 〃	保育実習事前指導 施設実習日誌	近畿大学九州短期大学通信教育部 〃	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 ⑦. その他 (実習施設)			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 ⑥. その他 (実習評価)			
【備考】 評価について：実習評価により評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 ⑦ 無 【内容】 障害者施設職員としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
保育実習Ⅰ（施設）		90時間	竹内愛美
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
45 限	90時間	実習施設についての理解 児童・利用者の理解	実習施設の概要理解・設立理念と養護、支援目標の理解 施設の生活に参加し、1日の生活の流れを理解
		児童・利用者の理解 児童（利用者）のニーズの理解	施設の生活に参加し、1日の生活の流れを理解 児童（利用者）や保育士とともに生活し施設の生活状況を理解
		児童（利用者）のニーズ理解	観察を通して、児童（利用者）の実態を理解 児童（利用者）と生活を共にし、積極的に関わることを通して（利用者）のニーズを理解
		児童（利用者）のニーズ理解	観察を通して、児童（利用者）の実態を理解 児童（利用者）と生活を共にし、積極的に関わることを通して、児童（利用者）のニーズを理解
		援助計画の理解	援助計画の意味、援助の実態の理解 年齢、発達その他個人の特性などに応じた援助計画のあり方を理解
		養護時術の習得	保育士の援助の実際を通して、養護技術を理解 児童（利用者）の個別性に配慮した養護のあり方を理解
		児童（利用者）の最善の利益を具現化する方法を理解	児童（利用者）との関わりを通じて、児童（利用者）にとってよりよい生活や関わりのあり方について理解 児童（利用者）の最善の利益を追求する施設全体の取り組みについて理解
		施設・家庭・地域社会との連携について理解	施設と家庭との連携、保育士と保護者との連携、地域の社会資源との連携について理解
		保育士の倫理観を具体的に理解	守秘義務の遵守、個人のプライバシーがどのように守られているのか理解
		安全及び疾病予防について理解	施設や保育士の児童（利用者）に対する安全配慮について理解

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 音楽（器楽）		教員名 岩泉 昌子	
科目時間数： 60時間 (30限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：1年	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 保育の現場に必要なピアノの基礎を段階的に習得することを目指す。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ①. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 ピアノ奏法についての基礎技能を身に付け、保育者として必要な演奏力を身に着ける。特に1年次においては正確な読譜力と音楽を自分で表現することの楽しさを得ることを目指す。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
	音楽 ピアノ教本	近畿大学九州短期大学	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他(音楽室)			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無 【担当教員の実務経験の有無】 ピアノ講師			

科目名		科目時間総数	教員名
音楽(器楽)		60時間 (30限)	岩泉 昌子
現・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	1時間 2時間	ピアノ実技	【幼児と音楽表現】ピアノ実技の位置づけについて理解する
2 限	3時間 4時間		音価の練習 5指の練習 ハ長調の音階 左手のコード
3 限	5時間 6時間		ちょうちょう かえるの合唱 バイエル48番
4 限	7時間 8時間		バイエル66番
5 限	9時間 10時間		むすんでひらいて いとまき
6 限	11時間 12時間		うさぎとかめ
7 限	13時間 14時間		虫の声
8 限	15時間 16時間		やきいもグーチャーパー
9 限	17時間 18時間		5指の練習ト長調 ト長調音階
10 限	19時間 20時間		ちょうちょう
11 限	21時間 22時間		ビーマーチ
12 限	23時間 24時間		きらきらぼし
13 限	25時間 26時間		バイエル97番
14 限	27時間 28時間		バイエル73番
15 限	29時間 30時間		バイエル78番
16 限	31時間 32時間		5指の練習ヘ長調 ヘ長調音階
17 限	33時間 34時間		左手のコード チューリップ
18 限	35時間 36時間		ぶんぶんぶん
19 限	37時間 38時間		ジングルベル
20 限	39時間 40時間		お正月
21 限	41時間 42時間		5指の練習ニ長調
22 限	43時間 44時間		ニ長調音階 左手のコード
23 限	45時間 46時間		とんとんとんとんひげじいさん
24 限	47時間 48時間		おててを洗いましょう
25 限	49時間 50時間		しゃぼん玉
26 限	51時間 52時間		ミッキーマウスマーチ
27 限	53時間 54時間		メリーさんのひつじ
28 限	55時間 56時間		バイエル96番
29 限	57時間 58時間		バイエル80番
30 限	59時間 60時間		バイエル100番

授業計画表

こども福祉 学科

M C L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 音楽(器楽)		教員名 中村 千佳	
科目時間数： 60時間 (30限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：2年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 保育現場に必要なピアノの基礎を、段階的に習得することを目指す。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 ピアノ奏法についての基礎技能を身に付け、保育者として必要な演奏力をつける。歌は幼児教育に欠かせないものであり、音楽を自分で表現することの楽しさを得ることを目指す。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
	音楽 ピアノ教本	近畿大学九州短期大学	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 (音楽室A・B			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備 考】			
【担当教員の実務経験の有無】(有) 無 【内容】ピアノ講師としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
音楽（器楽）		60時間（30限）	中村 千佳
現・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間 2時間 お花がわらった とけいのうた	片手奏、分担奏、両手演奏と弾き歌いができるようにする	
2限	3時間 4時間 うみ おばけなんてないさ	片手奏、分担奏、両手演奏 3連音符の弾き方	
3限	5時間 6時間 つき どんぐりころころ	片手奏、分担奏、両手演奏 同音連続の弾き方	
4限	7時間 8時間 どんぐりころころ たき火	片手奏、分担奏、両手演奏と弾き歌いができるようにする	
5限	9時間 10時間 たき火 きよしこの夜	片手奏、分担奏、両手演奏	
6限	11時間 12時間 一年生になったら おはなし	連続するはずんだリズム テンポの変化	
7限	13時間 14時間 ハッピーバースデー 雪のペンキ屋さん	付点リズムの弾き方 ペダルも使ってみる	
8限	15時間 16時間 アイアイ 復習	ラテンのリズムにのって楽しく演奏できるようにする	
9限	17時間 18時間 ありさんのおはなし 犬のおまわりさん	かわいらしく弾く 表情豊かに	
10限	19時間 20時間 おうま おつかいありさん	馬の足音をイメージして楽しく弾く	
11限	21時間 22時間 おんまはみんな かわいいかくれんぼ	軽やかに弾けるように	
12限	23時間 24時間 ぞうさん 森のくまさん	曲にあうテンポを考えて弾く	
13限	25時間 26時間 かもつ列車 せっけんさん	曲にあうテンポを考えて弾く	
14限	27時間 28時間 幸せなら手をたたこう	弾んだリズムで弾けるようにする	
15限	29時間 30時間 おもちゃのマーチ	歌詞に合わせて表現する	
16限	31時間 32時間 ともだち讃歌 復習	行進曲風に弾く 今までの復習	
17限	33時間 34時間 器楽合奏	保育の現場で子供たちによる器楽合奏を指導できるよう	
18限	35時間 36時間	・楽器の種類 ・演奏の仕方	
19限	37時間 38時間 あわてんぼうのサンタクロース 他	・楽器編成 ・楽譜の読み方	
20限	39時間 40時間	・練習の進め方 ・演奏のまとめ方	
21限	41時間 42時間	を実習する	
22限	43時間 44時間		
23限	45時間 46時間		
24限	47時間 48時間	リズムアンサンブルの体験をする	
25限	49時間 50時間		
26限	51時間 52時間		
27限	53時間 54時間		
28限	55時間 56時間		
29限	57時間 58時間		
30限	59時間 60時間		

授業計画表

こども福祉 学科

M C L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 音楽（声楽）		教員名 永井 淳子	
科目時間数： 60時間 (30限)		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の 別：	必修・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期 ・ 後期 ・ 集中
〔授業の目的・ねらい〕 「歌」は幼児教育に欠かせないものであり、保育者自身が範を示しうるために必要な技術を身につける。 〔こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連〕 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 〔授業全体の内容の概要〕 正しい発声法と読譜力の習得を目指し、練習曲を中心にグループ又は個人指導を行う。 〔授業における達成課題〕 幼児教育の現場で保育者自身が範を示せるように、楽しくはつきりと声を出して歌えるようにする。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用共通 〃	音楽Ⅰ（声楽教本・ピアノ教本） 音楽Ⅰ レッスンカード	近畿大学九州短期大学通信教育部 〃	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（音楽室A・B）			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）			
【備 考】 <単位認定条件> 実技試験80点＋授業態度等20点＝100点満点 60点以上を合格とする			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 中学校・高等学校教師、また声楽・ピアノ講師として実務経験			

科目名 音楽（声楽）		科目時間総数 60時間		教員名 (30限) 永井 淳子		
現・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標			
1 限	1時間 2時間	2 度 音 程	コールユーブンゲン1～3 ★随時全体練習後個別チェックあり			
2 限	3時間 4時間	3 度 音 程	コールユーブンゲン4～6 曲集の様々な曲を歌う			
3 限	5時間 6時間	4 度 音 程	コールユーブンゲン9～15a	花	はるがきて～	
4 限	7時間 8時間	5度音程	コールユーブンゲン18～23			
5 限	9時間 10時間					
6 限	11時間 12時間					
7 限	13時間 14時間			コン		コーネ1
8 限	15時間 16時間					
9 限	17時間 18時間					
10 限	19時間 20時間					
11 限	21時間 22時間			コン		コーネ2
12 限	23時間 24時間					
13 限	25時間 26時間					
14 限	27時間 28時間					幼児の
15 限	29時間 30時間					先
16 限	31時間 32時間	6度音程	コールユーブンゲン25～28	コン	コーネ 3	
17 限	33時間 34時間	7度音程	コールユーブンゲン32～34			
18 限	35時間 36時間	長音階・短音階・転調	コールユーブンゲン36～40			
19 限	37時間 38時間					
20 限	39時間 40時間			コン		コーネ 5
21 限	41時間 42時間					
22 限	43時間 44時間					
23 限	45時間 46時間					
24 限	47時間 48時間					
25 限	49時間 50時間					
26 限	51時間 52時間					
27 限	53時間 54時間					
28 限	55時間 56時間					
29 限	57時間 58時間					
30 限	59時間 60時間					

授業計画表

こども福祉 学科

M C L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 音楽（声楽）		教員名 大縄 方子	
科目時間数： 60時間 (30限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：2年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 「歌」は幼児教育に欠かせないものであり、保育者自身が範を示しうるために必要な技術を身につける。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 ピアノ奏法についての基礎知識と保育者として必要な演奏力を身につける。特に1年次においては、正確な読譜力と発声法を習得し、模範を示しうるだけの技量を身につけることができるように歌唱による音楽表現の強化を図る。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
	音楽（声楽教本） 音楽（ピアノ教本） 音楽レッスンカード	近畿大学九州短期大学	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ○ 音楽室			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備 考】 評価について：実技試験の結果、（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無			
【内容】 声楽・ピアノ講師			

科目名		音楽（声楽）	科目時間総数 60時間	教員名 (30限) 大縄 方子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間 2時間	幼児と音楽表現 ①コールユーブンゲン		声楽テキスト歌曲 ○腹式呼吸→発声法を通して詩を言葉にして（理解して）伝える事を習得する ○選曲は四季折々に合わせ、選曲しながら歌う （2年目も継続）
2限	3時間 4時間	二度音程		
3限	5時間 6時間			
4限	7時間 8時間	三度音程	③コンコーネNo1	
5限	9時間 10時間			
6限	11時間 12時間			
7限	13時間 14時間	②四度音程		
8限	15時間 16時間			
9限	17時間 18時間		コンコーネNo2	
10限	19時間 20時間			
11限	21時間 22時間			
12限	23時間 24時間			
13限	25時間 26時間			
14限	27時間 28時間	コールユーブンゲン 1～15までのまとめ	コンコーネNo1～2 まとめ	
15限	29時間 30時間			
16限	31時間 32時間	音楽表現技術 ①五度音源		④幼児の歌
17限	33時間 34時間			ピアノ科目と連携しながら進めていく
18限	35時間 36時間			まずは歌の指導から入る。
19限	37時間 38時間			
20限	39時間 40時間			
21限	41時間 42時間			
22限	43時間 44時間			
23限	45時間 46時間	②六度音源		
24限	47時間 48時間			
25限	49時間 50時間		②コールユーブンゲン 七度音程	
26限	51時間 52時間		③長音階・転調は 2年生から	
27限	53時間 54時間			
28限	55時間 56時間			
29限	57時間 58時間	①、②のまとめ		
30限	59時間 60時間			2年目まで続く

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 リトミック		教員名 山本範子	
科目時間数： 40時間 20限		授業の種類： ☒ 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： ☒ 必修 ・ 選択	配当学年： 3 年次	開講時期： ☒ 前期 ・ ☒ 後期 ・ 集中	
【授業の目的・ねらい】 リトミックとは、何を目的にどのような活動をするのかを、年齢別の指導法を各自のリズムトレーニングを通して学ぶ。2拍子の基礎リズムを中心に、リズムを打ち、ステップし、即時反応・空間・想像力・集中力などを体験する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ☒ 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 年齢別によるリトミックを理解した上で、子供たちと向かい合い、表現する喜びを深めることにより、音楽的感性の向上を図る。3歳児への指導法を各自のリズムトレーニングを通して学ぶ。2拍子の基礎リズムを中心に、リズムの持つ「タイム(T)」「スペース(S)」「エナジー(E)」を体験する。 【授業における達成課題】 3歳児向けのティーチングの内容を理解し応用出来ること。 2拍子の基礎リズムを中心にリズムトレーニングを行うことにより、リズムの持つ「タイム(T)」「スペース(S)」「エナジー(E)」を体験し、各自のリズム感や向上が期待できる。			
	使用教材	出版社	
	幼・保のためのリトミック 3 カラーボード、スティック 資格認定リズム課題練習CD	特定非営利活動法人 リトミック研究センター	
【使用教室】			
1. ☒ HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. ☒ 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ・ 無			
【内容】 ピアノ講師としてのとしての実務経験有り			

科目名		利用時間総数		教員名
リトミック		40時間	20限	山本範子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1限	1時間 2時間	リズム 1	①リトミックについて ②楽しいリトミックの経験(1) ③動きの体験	
2限	3時間 4時間	リズム 2	①楽しいリトミックの経験(2) ②強弱・テンポ・空間・アクセントの体験 ③基礎的な動き(1) ④基礎リズム(1) 2拍子	
3限	5時間 6時間	リズム 3	①楽しいリトミックの経験(3) ②基礎的な動き(2) ③基礎リズム(2) 2拍子 ④拍子(1)	
4限	7時間 8時間	リズム演奏法 1	①リズムの演奏法(3歳児指導法) ②基礎リズム(3)	
5限	9時間 10時間	ティーチング 1	①指導法を学ぶ(3歳児指導法) ②ステップリズム	
6限	11時間 12時間	リズム演奏法 2	①リズムの演奏法(3歳児指導法)	
7限	13時間 14時間	ティーチング 2	①指導法を学ぶ(3歳児指導法) ②ステップリズム	
8限	15時間 16時間	リズム 4	①楽しいリトミックの経験(4) ②基礎リズム(3) 2拍子 ③拍子(2) ④リズムカノン導入	
9限	17時間 18時間	ティーチング 3	①指導法を学ぶ(3歳児指導法) ②拍子(3) ③リズムカノン	
10限	19時間 20時間	リズム演奏法 3	①リズムの演奏法(3歳児指導法)【認定試験公示案内】	
11限	21時間 22時間	リズム 5	①楽しいリトミックの経験(5) ②基礎リズム(4) ③拍子	
12限	23時間 24時間	ティーチング 4	①3歳児指導法総括	
13限	25時間 26時間	リズム 6	①楽しいリトミックの経験(6) ②リズムカノン	
14限	27時間 28時間	リズム演奏法 4	①リズムの演奏法(3歳児指導法)	
15限	29時間 30時間	リズム 7	認定試験に向けたリズム課題の練習(1)	
16限	31時間 32時間	リズム 8	認定試験に向けたリズム課題の練習(2)	
17限	33時間 34時間	試験	2級 資格認定試験	
18限	35時間 36時間		発表会の練習	
19限	37時間 38時間		↓	
20限	39時間 40時間			

授業計画表

こども福祉 学科		M C L盛岡医療福祉スポーツ専門学校	
科目名 聴覚障害（手話）		教員名 我妻 信子	
科目時間数 40時間 (20限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択		配当学年：3年次	開講時期： 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 基本的な手話の知識・技術を習得することにより、聴覚障がい者への理解を深め手話での会話ができる。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 聴覚障害についての基本的な理解、「こどば・コミュニケーション」の果たす役割を考え、聴覚障害者を取り巻く社会的な環境を学ぶ。手話の基礎知識と技術を習得する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	手話を学ぼう 手話で話そう	社会福祉法人 全国手話研修センター	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ） 【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ） 【備考】			
【担当教員の実務経験の有無】有・無 【内容】手話通訳・指導の勤務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
聴覚障害（手話）		40時間（20限）	我妻 信子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	1時間	オリエンテーション・授業の位置づけについて理解する	
	2時間	聴覚障がい者のコミュニケーション方法 手話の基礎知識 7つのコミュニケーション方法	
2 限	3時間	あいさつの単語 伝え合ってみましょう	
	4時間	名前を紹介 指文字	
3 限	5時間	聴覚障がい者の生活 私の大切な家族（ビデオ）	
	6時間		
4 限	7時間	家族（サザエさん一家を活用して家族紹介）	
	8時間	家族紹介（グループワーク）	
5 限	9時間	聴覚障がい者の生活 聴覚障害の講師講義（ろうあ者の歴史、教育、講師の経験談）	
	10時間	〃	
6 限	11時間	聴覚障がい者のコミュニケーション 数字（過去・現在・未来・誕生日・時間・お金・・・）	
	12時間	〃	
7 限	13時間	趣味・スポーツ・旅行・季節・出身地・・・	
	14時間	自己紹介実技試験（名前・生年月日・家族・・・）	
8 限	15時間	仕事（教師・保育士・介護士・公務員・・・）	
	16時間	地名・住所・交通機関・・・	
9 限	17時間	保育所・幼稚園での会話	
	18時間		
10 限	19時間	総復習（DVD読み取り	
	20時間	期末試験	
11 限	21時間	卒業発表会にむけて手話劇の練習開始	
	22時間	監督・脚本・手話歌・大道具・・・担当者を決める	
12 限	23時間	練習開始	
	24時間	〃	
13 限	25時間	〃	
	26時間	〃	
14 限	27時間	〃	
	28時間	〃	
15 限	29時間	〃	
	30時間	〃	
16 限	31時間	〃	
	32時間	〃	
17 限	33時間	〃	
	34時間	〃	
18 限	35時間	〃	
	36時間	〃	
19 限	37時間	〃	
	38時間	〃	
20 限	39時間	リハーサル	
	40時間	発表会	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 こどもの遊び実践		教員名 阿部温子	
科目時間数 : 30時間		15限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択 の別 :	必修・選択	配当学年 : 1年次	開講時期 : 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 ①乳幼児のさまざまな遊びを体験する。 ②乳幼児の遊びの重要性と子ども理解を深める。 ③学んだことを活かし、自ら工夫し、実践する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ②幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 様々な子どもの遊びを経験し、学んだことを活かし保育で実践する。 (製作活動、表現活動、模擬保育等) 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
		使用教材	出版社
プリント資料適宜配布		保育教材 (色画用紙、色紙、等) 素材 (牛乳パック、ペットボトル 毛糸、自然物、等)	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 ⑦. その他 (保育実習室)			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 ⑥. その他 (目的達成度)			
【備考】 評価について : 試験の結果、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60)、 D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無 【内容】 幼稚園教諭、保育士としての実務経験			

科目名			科目時間総数		教員名
こどもの遊び実践			30時間	15限	阿部温子
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1限	1時間	PR（プレイルーム）とは	PRの授業内容について。自己紹介・親睦ゲーム		
	2時間	春の活動と遊び①	手遊びうた（季節のうた）の実践		
2限	3時間		遊びの紹介（うた・ゲーム・体操等）		
	4時間		春の散策（お花見と子どもの遊び）		
3限	5時間		春の季節感のある製作活動と遊び		
	6時間		〃		
4限	7時間	↓	〃		
	8時間	夏の活動と遊び①	絵本・紙芝居の読み聞かせの仕方		
5限	9時間		〃		
	10時間		体を動かす遊び（表現遊び）		
6限	11時間		〃		
	12時間		色水遊び		
7限	13時間		手作り保育教材の紹介と実践		
	14時間	↓	〃		
8限	15時間	秋の活動と遊び①	作品発表会		
	16時間		〃		
9限	17時間		秋のうた・楽器遊び		
	18時間		秋の遊び（秋の自然素材を使用した製作活動）		
10限	19時間		〃		
	20時間		体操・ダンス（振付を考える）		
11限	21時間		〃		
	22時間	↓	集団遊び（鬼ごっこ・伝承遊び等）		
12限	23時間	冬の活動と遊び①	クリスマス製作		
	24時間		〃		
13限	25時間		クリスマス会		
	26時間		冬の季節感のある製作と遊び		
14限	27時間		〃		
	28時間		お正月遊び（伝承遊び）		
15限	29時間		手作りおもちゃ（遊べるおもちゃ）製作		
	30時間	↓	〃		

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 こどもの遊び実践		教員名 阿部温子	
科目時間数： 30時間 15限		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：2年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 幼児の生活の中での様々な表現の仕方について理解し、保育の現場で実践できる力を養う。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ②. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 テーマに対して、いろいろな表現を考え体験し「表現する」ことの理解を深めるとともに、保育実践に生かせる技術を自分なりに創意工夫しながら身につける。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
	随時、資料プリント、画材、楽器など		
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 ⑦. その他 (保育実習室)			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 ⑤. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 各回ごとの実技、レポート、授業態度などで総合的に評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無 【内容】 幼稚園教諭、保育士としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
こどもの遊び実践		30時間	阿部温子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	1時間	「秋の空」の表現活動	実際に見たイメージをグループで共有しながら、模造紙に表現する。
	2時間		〃
2限	3時間	「秋」の言葉の表現活動	「秋」のイメージを分析し、グループで話し合う中でそのイメージを広げたり深めたりしながら、詩で表現する。
	4時間	振り返り・1	絵と詩の表現を振り返り、チェックシートに記入する。
3限	5時間	リトミック	リトミックのついて基礎的な知識を学ぶ。
	6時間		リトミックの実技を学ぶ。(音の高低、長調と短調、拍子の違いなどを認識しながら体を動かす)
4限	7時間	音に親しむ表現活動	手作りの楽器を作り音を表現したり、音に親しみ、曲に合わせて演奏したりする。
	8時間	振り返り・2	リトミックと合奏の振り返りをし、チェックシートに記入する。
5限	9時間	絵本に親しむ表現活動	絵本に親しみ、読み聞かせについての知識を学ぶ。
	10時間		グループで互いに読み聞かせを体験する。
6限	11時間	劇遊びの表現活動	劇にする絵本の選定、役割分担などグループで計画を立てる。
	12時間		それぞれの役ごとに話し合いと準備をする。
7限	13時間		発表に向けて練習する。
	14時間		劇の発表をする。
8限	15時間		〃
	16時間	振り返り・3	絵本、劇の発表を振り返り、チェックシートに記入する。
9限	17時間	身近な素材を使う表現活動	身近な素材を認識し、物的な環境について理解する
	18時間		新聞紙を使つての様々な表現を体験する
10限	19時間		身近な素材を使つて、グループごとに表現活動を考え発表する
	20時間		〃
11限	21時間	体を使った表現活動	運動遊び、ゲーム遊びを通しての表現を体験する
	22時間		体を動かす事以外の体を使つての表現を考え体験する
12限	23時間		〃
	24時間	振り返り・4	身近な素材を使う、体を使う表現を振り返り、チェックシートに記入する
13限	25時間	表現活動の計画と実施	グループごとに保育の活動として行う表現活動を考え、テーマを決めて計画し実施する
	26時間		〃
14限	27時間		〃
	28時間		〃
15限	29時間	まとめ	表現活動の振り返り、反省・評価をし、保育実践につなげて理解する
	30時間		〃

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育実習研究 I		教員名 鹿川道子	
科目時間数 : 15時間 7.5限		授業の種類 : 講義・演習・実習	
必修・選択 の別 :	必修・選択	配当学年 : 2年次	開講時期 : 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 ①幼稚園の一日の生活の流れと生活内容の概要を理解する。 ②幼児の発達段階や季節感を理解し保育の内容を計画する。 ③観察・部分・全日実習の方法を学び、教育実習の流れについて理解する。 ④実習記録の記入の仕方・指導計画の立案の仕方について学ぶ。 ⑤実習生としての事前の心構え、マナーを学ぶ。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ②. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 現場実習に臨むにあたり、学んだ理論、技能を基礎として、実践的力量を身につけるために、臨床的方法の授業を通して、意欲を持って実習に臨めるよう個々の目的(ねらい)を明確にする。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	幼稚園事前実習指導	近畿大学九州短期大学通信教育部	
〃	幼稚園実習実習日誌(1回目)	〃	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 ⑥. その他(学習状況 ※実習評価に含める			
【備考】 ①出席・態度・意欲—40点 ②提出物(指導案等)—40点 ③事前準備—20点 合計100点中60点以上 合格			
【担当教員の実務経験の有無】(有)・無 【内容】幼稚園教諭としての実務経験			

科目名 教育実習研究Ⅰ			科目時間総数 15時間	7.5限	教員名 鹿川道子
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1限	1時間	実習の基礎編	「幼児期で養うべき生きる力の基礎とは」		
	2時間	実習の方法	実習の意義・目的・方法（事前学習）		
2限	3時間	幼稚園理解	幼稚園理解（機能と役割、法的根拠）		
	4時間		幼稚園の1日の生活と遊びについて（発達段階の理解）		
3限	5時間		保育の内容と実習形態（観察・部分・全日実習）		
	6時間	オリエンテーション	オリエンテーションに向けて（実習の準備、マナー）		
4限	7時間		実習生の心構え9ヶ条・その他		
	8時間	実習課題の作成	実習課題について（課題の作成と提出）		
5限	9時間		実習課題の活かし方		
	10時間	指導案の立案	指導計画の立案		
6限	11時間		ねらい・題材設定の理由		
	12時間		活動内容（教師の援助と指導上の留意点）		
7限	13時間	実習日誌の記録	反省・感想・今後の課題の書き方について		
	14時間		幼稚園教育要領について（解説と理解）		
7.5限	15時間	まとめ	実習報告会用報告用紙の書き方について		

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育実習研究Ⅱ		教員名 鹿川 道子	
科目時間数： 10時間 5限		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：3年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 ①幼児の発達段階や実態を理解し、指導計画を立案する。②実習記録の記入の仕方、評価・反省・今後の課題の考察の仕方について学ぶ。③教育実習の内容の理解と実習生としての心構え、マナーを身に付ける。④前期実習を振り返り、実習課題を明確にすると共に実習への意欲を高める。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 後期実習に臨むにあたり、その目的、意義を再確認する。積極的に取り組み、前期実習の反省点を改善するよう努め、成果を高め、今後の課題を明確にする。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通 〃	幼稚園事前実習指導 幼稚園実習実習日誌 (2回目)	近畿大学九州短期大学通信教育部 〃	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 (学習状況 ※実習評価に含める)			
【備考】 出席 (20点)、提出物 (20点)、意欲・態度 (30点)、レポート (30点) 合計100点中60点以上合格			
【担当教員の実務経験の有無】有・無 【内容】幼稚園教諭としての実務経験			

科目名 教育実習研究Ⅱ			科目時間総数 10時間	5限	教員名 鹿川 道子
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1限	1時間	前期教育実習の振り返りと後期教育実習への課題	前期実習の振り返りと反省		
	2時間		自己評価（振り返りシート）		
			後期教育実習への課題と今後の取り組みについて		
2限	3時間	実習課題の作成	実習課題の考案と作成		
	4時間		5月の子どもの様子や活動の内容と教師のかかわりについて		
3限	5時間	指導案の作成	発達段階や子どもの実態に即した活動内容を考える		
	6時間		指導案の作成①		
			指導案の作成②		
4限	7時間	実習日誌の記録について	実習日誌の記録の仕方と留意点①		
	8時間		実習日誌の記録の仕方と留意点②		
			観察実習・部分実習・全日実習のポイントと課題		
		実習事前準備の確認	オリエンテーション実施の確認と実習生のマナーについて		
			保育教材準備と環境		
			事前準備のまとめ		
5限	9時間	実習事後について	実習報告書と実習報告会について		
	10時間				

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習研究Ⅰ（施設）		教員名 竹内 愛美	
科目時間数： 10時間 5限		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択の別： 必修・選択		配当学年： 2年次	開講時期： 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 実習施設の役割と機能、保育の対象と保育内容及び職務内容を理解する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 実習施設の役割と機能、保育の対象と保育内容および職務内容を理解し、実習課題を明確にする。計画に基づく養護内容や生活環境について学ぶ。支援計画、観察の視点、記録と考察の方法について理解する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通 〃	施設実習ガイド 施設実習日誌	萌文書林 岩手県保育者養成校	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ） 学習状況 ※実習評価に含める			
【備考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無 【内容】 障害者施設職員としての実務経験			

科目名		科目時間総数		教員名
保育実習研究Ⅰ（施設		10時間	5限	竹内 愛美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容	
1限	1時間	施設実習の意義	施設実習の意義と目的を理解する 実習に向けた心構え、マナーがわかる	
	2時間			
2限	3時間	施設の理解	施設の概要、設置目的、役割、形態、主な職種について理解する。 施設実習でどのようなことを学んでくるかわかる。	
	4時間			
3限	5時間	障がいの理解	それぞれの障害の種類や特徴、関わり方や援助方法について理解する。	
	6時間			
4限	7時間	実習日誌の作成	実習調査票・出勤簿・評価表を作成する。	
	8時間			
5限	9時間	実習課題の作成	実習計画の作成① 実習日誌の書き方・注意事項を理解する。 毎日のねらいに基づいた振り返り、自己評価の確認ポイントが分かる。 お礼状、日誌、レポート、実習報告書の書き方、実習報告会の発表の仕方についてわかる。	
	10時間	実習日誌の書き方		
		実習終了後		

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習研究 I (保育)		教員名 竹内愛美	
科目時間数: 10時間 5限		授業の種類: 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別: 必修・ <u>選択</u>	配当学年: 3年次	開講時期: <u>前期</u> ・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 既習の内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深め、指導計画の作成や記録などの保育の実践力を養う。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 既習の内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深め、指導計画の作成や記録などの保育の実践力を養う。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	保育実習	中央法規	
〃	保育園実習日誌	県内保育士養成校統一様式	
【使用教室】 1. <u>HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. <u>筆記試験</u> 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について: 出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79~70点) C (69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】<u>有</u>・無 【内容】保育士としての実務経験			

科目名		保育実習研究Ⅰ（保育）	科目時間総数 10時間	5限	教員名 竹内愛美
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1限	1時間	実習目的と意義	保育実習の目的と内容、必要性の理解		
		保育所の役割と社会的責任	保育所保育指針から見る保育士の役割と社会的責任について		
	2時間	保育書の生活と 保育士の役割	保育所の一日（0歳～1歳）（2歳）（3歳～5歳）		
			生活の流れから見る保育士の役割		
2限	3時間	実習の視点と留意点	0歳～1歳の発達から見る実習の視点と留意点		
	4時間	”	2歳～3歳の発達から見る実習の視点と留意点		
		”	4歳～6歳の発達から見る実習の視点と留意点		
		”	実習に向けた姿勢とマナー、オリエンテーションについて		
		実習日誌の記入の仕方	記録の取り方のポイント、保育用語、実習課題の設定		
3限	5時間	指導案の書き方	指導案の留意点とねらいの立て方		
	6時間	”	保育用語と文章の留意点		
		実習課題の設定	実習目標と自己課題の設定		
		指導案の作成	実習指導案の作成		
		実習直前指導	各年齢の発達の留意、実習課題、指導案、作成の留意事項の確認		
		”	実習のマナー等の再確認		
4限	7時間	実習事後指導	ミニ報告会を通し実習の振り返りを行う		
	8時間	”	実習課題に対しての自己評価		
		”	報告書の作成		
5限	9時間 10時間	報告会	報告会		

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習研究Ⅱ（保育）		教員名 竹内愛美	
科目時間数： 10時間 (5限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・ <u>選択</u>	配当学年：3年次	開講時期： <u>前期</u> ・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 保育所の役割と機能を理解し、子どもや家庭への支援、指導計画や記録などの保育の実践力を身に付ける。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 既習の内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深め、指導計画の作成や記録などの保育の実践力を養う。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
使用教材		出版社	
学生用・教員用 共通 〃	保育実習 【保育実習Ⅱ】保育所実習日誌	中央法規 県内保育士養成校	
【使用教室】			
①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】			
1. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 ⑥. その他（ 学習状況 ※実習評価に含める			
【備考】			
評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。 【担当教員の実務経験の有無】<u>有</u> 無 【内容】保育士としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
保育実習研究Ⅱ（保育）		10時間（5限）	竹内愛美
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間	保育実習Ⅱの理解と課題	・ 保育実習Ⅱの内容（選択）理解、実習課題と自己課題
	2時間	保育所の機能と役割	・ 保育所の機能を生かした子育て支援と保護者支援、家庭への支援を学ぶ
2限	3時間	乳児から幼児への発達と理解	・ 子どもの認知や社会性、言語を通して発達への理解を深める
	4時間		（ビデオ視聴等）
3限	5時間	子どもへの理解 ①	・ 気になる子どもへの対応と援助について
	6時間	子どもへの理解 ②	・ 事例を通しグループワークを行い、子どもの思いを知る
4限	7時間	指導計画の作成	・ 指導計画の立案と作成
	8時間		・ 指導計画の実践と保育教材について検討
5限	9時間	実習事後に向けた取組み	・ 実習の振り返りと反省、今後の課題について
	10時間		・ 報告会に向けた取組みを理解する

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習研究Ⅲ（施設）		教員名 竹内 愛美	
科目時間数： 10時間 5限		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択の別： 必修・ <u>選択</u>	配当学年： 3年次	開講時期： <u>前期</u> ・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 保育士として必要な資質、能力、技術を修得することを目的とする。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 既習の内容を基盤に、実習施設の理解、子ども（利用者）や家庭への支援について理解を深め、援助の方法や支援のあり方など実践力を養う。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通 〃	保育実習事前指導 【保育実習Ⅲ】施設実習日誌	近畿大学九州短期大学通信教育部 〃	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 ⑥. その他（ 学習状況 ※実習評価に含める			
【備考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u>・無 【内容】 障害児施設職員としての実務経験			

科目名			科目時間総数	教員名
保育実習研究Ⅲ（施設）			10時間	竹内 愛美
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	1時間	実習施設の理解①	実習施設の概要の理解を深める	
	2時間	実習施設の理解②	実習する施設の設置理念と養護・支援の目標の理解	
		実習施設の理解③	実習する施設の設置理念と養護・支援の目標の理解	
		子どものニーズの理解①	児童に対する社会的養護・支援の必要性を学ぶ	
2 限	3時間	子どものニーズの理解②	児童個々のニーズについて理解する。	
	4時間	子どものニーズの理解③	児童個々のニーズに合わせた養護・支援の必要性について学ぶ	
		養護・援助技術の理解①	ニーズに合わせた実際の養護・支援方法について学ぶ	
		養護・援助技術の理解②	ニーズに合わせた実際の養護・支援方法について学ぶ	
3 限	5時間	養護・援助技術の理解③	ニーズに合わせた実際の養護・支援方法について学ぶ	
	6時間	援助計画の理解①	児童福祉法における、個別支援計画・自立支援計画の意義について学ぶ	
		援助計画の理解②	個別支援計画・自立支援計画について学ぶ	
		職員間連携の理解①	施設内の職員の職務について理解する	
4 限	7時間	職員間連携の理解②	職員間の連携の必要性、引き継ぎ方法の理解	
	8時間	施設・家庭・地域社会との連携の理解①	施設と家庭の連携の必要性について学ぶ	
		施設・家庭・地域社会との連携の理解②	地域社会とのつながりや関連する社会資源について理解する	
		子どもの最善の利益の具体化についての理解①	児童にとってより良い生活とは何か考察する。	
5 限	9時間	子どもの最善の利益の具体化についての理解②	より良い生活に向けた保育士の関わりについて考察する	
	10時間	子どもの最善の利益の具体化についての理解③	より良い生活に向けた施設全体の取り組みについて考察する	
		保育士の倫理観についての理解	守秘義務・プライバシーの保護の必要性について学ぶ	
		安全および疾病予防の理解	施設内での安全確保や疾病予防の必要性について学ぶ	

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 実習研究演習		教員名 阿部真由美	
科目時間数： 90時間		45限	授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択 の別：	必修・選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 ①自らが調査研究・体験的学習を実践することを通して、実習の内容を理解し実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。 ②乳幼児や施設利用者の理解を深め、専門職としての保育者の使命や役割を学ぶ。			
【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)			
1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)			
【授業全体の内容の概要】 調査や体験的学習を通して、保育に関する現状や子どもを取り巻く環境、子どもの姿を学び、実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。			
【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
プリント資料適宜配布			
【使用教室】 ① HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ③ 出席 ④ 授業態度 ⑤ 実技試験 ⑥ その他 (学習状況 ※実習評価に含める			
【備考】 評価について：試験の結果、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点) D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 ⑦ ・ 無			
【内容】 幼稚園教諭、保育士としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
実習研究演習		90時間	阿部真由美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	1時間	幼稚園	ワーク①-1「幼稚園」ワーク①-2「幼稚園教諭とは」
	2時間		調査報告会
2限	3時間		実習保育教材「名札製作」
	4時間		〃
3限	5時間		体験実習事前準備「幼稚園の1日の流れ」「日誌の記録の仕方」
	6時間		体験実習（月が丘幼稚園）…幼稚園の生活を体験する
4限	7時間		ワーク①-3 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）
	8時間	郷土と文化	ワーク②「風土・風習・伝統文化・祭事・方言…」
5限	9時間		県立図書館での調査研究…地元の地域・文化を知る
	10時間		郷土と文化「壁新聞作成」
6限	11時間		障がい者施設 交流と体験
	12時間		
7限	13時間		
	14時間		
8限	15時間		↓
	16時間	子ども	ワーク③-1「3・4・5歳児について」
9限	17時間		観察実習（月が丘幼稚園）…各年齢の遊びの様子を観察する
	18時間		ワーク③-2 観察実習のまとめと報告会（日誌提出）
10限	19時間	児童福祉施設	ワーク④-1「児童福祉施設について」
	20時間		施設見学（岩手県立療育センター）
11限	21時間		〃
	22時間		〃
12限	23時間	児童養護施設	ワーク④-2 施設見学のまとめと報告会
	24時間		ワーク⑤-1「児童養護施設について」
13限	25時間		施設見学（青雲荘）
	26時間		ワーク⑤-2 施設見学のまとめと報告会
14限	27時間	季節と遊び	ワーク⑥-1「季節感のある遊びと生活」
	28時間		体験実習（月が丘幼稚園・なでしこ幼稚園その他）
15限	29時間		ワーク⑥-2 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）
	30時間		ワーク⑦-1「障害について」

時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容
16限	31時間	障害と障害者支援施設	ワーク⑦-2「障害者支援施設について」
	32時間		施設見学（夢つむぎ城南）
17限	33時間		ワーク⑦-3 施設見学のまとめと報告会
	34時間	保育所	ワーク⑧-1「保育所と保育士」
18限	35時間		ワーク⑧-2「0, 1, 2歳児について」
	36時間		体験実習（保育所）
19限	37時間		〃
	38時間		〃
20限	39時間		ワーク⑧-3 体験実習のまとめと報告会
	40時間	まとめ	演習の振り返り（レポート提出）
21限	41時間	子育て支援	ワーク①-1「子育て支援とは」
	42時間		ワーク①-2「子育て支援施設について」
22限	43時間		施設見学（いわて子育てネット、子育て支援センター他）
	44時間		ワーク①-3 施設見学のまとめと報告会
23限	45時間	応急手当	上級救命救急講習会
	46時間		
24限	47時間	教育実習事前学習	ワーク②-1「実習幼稚園の概要調査」
	48時間		ワーク②-2「こどもと保育者のかかわりと援助」
25限	49時間		体験実習（実習園または月が丘幼稚園）…実習園の様子を知る
	50時間		〃
26限	51時間		〃
	52時間		ワーク②-3 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）
27限	53時間	教育実習事前準備	ワーク③-1 予想される子どもの姿に応じた教材研究
	54時間		教材研究、製作、指導案作成、ロールプレイング
28限	55時間		
	56時間		ワーク③-2 教材発表会（指導案提出）
29限	57時間	教育実習事後学習	教育実習報告書作成（報告書提出）
	58時間		実習報告会
30限	59時間		〃
	60時間		教育実習事後レポート作成

時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容
31限	61時間		教育実習の反省・考察・今後の課題
	62時間	授産施設の学び	障がい者施設 交流と体験
32限	63時間		
	64時間		
33限	65時間		
	66時間		
34限	67時間		
	68時間	保育実習（施設）事前学習	ワーク④-1 「実習施設の概要調査」
35限	69時間		実習施設見学（またはボランティア活動）
	70時間		〃
36限	71時間		〃
	72時間		ワーク④-2 「施設見学の感想と考察」
37限	73時間		ワーク④-3 「実習課題の作成」
	74時間		デイリープログラム、指導案作成
38限	75時間		介護実習（介護の基本）
	76時間		保育実習報告書作成（報告書提出）
39限	77時間	保育実習（施設）事後学習	実習報告会
	78時間		〃
40限	79時間		保育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題
	80時間		
41限	81時間	まとめ	演習の振り返り（レポート提出）
	82時間	教育実習事前学習	ワーク①-1 「実習幼稚園の概要調査」
42限	83時間		ワーク①-2 「子どもの姿に応じた指導案作成」
	84時間		ワーク①-3 予想される子どもの姿に応じた教材研究・製作
43限	85時間	教育実習事後学習	教育実習報告書作成（報告書提出）
	86時間		実習報告会
44限	87時間		〃
	88時間		教育実習事後レポート作成
45限	89時間		教育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題
	90時間		

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 実習研究演習		教員名 阿部 真由美	
科目時間数： 60時間 30限		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の 別：	必修・選択	配当学年：2年次	開講時期： 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 ①自らが調査研究・体験的学習を実践することを通して、実習の内容を理解し実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。 ②乳幼児や施設利用者の理解を深め、専門職としての保育者の使命や役割を学ぶ。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ②幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 調査や体験的学習を通して、保育に関する現状や子どもを取り巻く環境、子どもの姿を学び、実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
プリント資料適宜配布			
【使用教室】 ① HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 ⑥ その他 (学習状況 ※実習評価に含める			
【備 考】 評価について：試験の結果、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 幼稚園教諭・保育士としての実務経験			

科目名			科目時間総数	教員名
実習研究演習			60時間	阿部 真由美
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	1時間 2時間	幼稚園	ワーク①-1「幼稚園」ワーク①-2「幼稚園教諭とは」	
			調査報告会	
			実習保育教材「名札製作」	
2限	3時間 4時間		体験実習事前準備「幼稚園の1日の流れ」「日誌の記録の仕方」	
			体験実習（月が丘幼稚園）…幼稚園の生活を体験する	
			ワーク①-3 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）	
3限	5時間 6時間	郷土と文化	ワーク②「風土・風習・伝統文化・祭事・方言…」	
			県立図書館での調査研究…地元の地域・文化を知る	
			郷土と文化「壁新聞作成」	
			障がい者施設 交流と体験	
4限	7時間 8時間	子ども	ワーク③-1「3・4・5歳児について」	
			観察実習（月が丘幼稚園）…各年齢の遊びの様子を観察する	
			ワーク③-2 観察実習のまとめと報告会（日誌提出）	
5限	9時間 10時間	児童福祉施設	ワーク④-1「児童福祉施設について」	
6限	11時間 12時間		施設見学（岩手県立療育センター）	
			ワーク④-2 施設見学のまとめと報告会	
7限	1時間 14時間	児童養護施設	ワーク⑤-1「児童養護施設について」	
8限	15時間 16時間		施設見学（青雲荘）	
			ワーク⑤-2 施設見学のまとめと報告会	
9限	17時間 18時間	季節と遊び	ワーク⑥-1「季節感のある遊びと生活」	
10限	19時間 20時間		体験実習（月が丘幼稚園・なでしこ幼稚園その他）	
			ワーク⑥-2 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）	
11限	21時間 22時間	障害と障害者支援施設	ワーク⑦-1「障害について」	
			ワーク⑦-2「障害者支援施設について」	
12限	23時間 24時間		施設見学（夢つむぎ城南）	
			ワーク⑦-3 施設見学のまとめと報告会	
13限	25時間 26時間	保育所	ワーク⑧-1「保育所と保育士」	
			ワーク⑧-2「0, 1, 2歳児について」	
14限	27時間 28時間		体験実習（保育所）	
			ワーク⑧-3 体験実習のまとめと報告会	
15限	29時間 30時間	まとめ	演習の振り返り（レポート提出）	

時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
16限	31時間 32時間	子育て支援	ワーク①-1「子育て支援とは」
			ワーク①-2「子育て支援施設について」
			施設見学（いわて子育てネット、子育て支援センター他）
			ワーク①-3 施設見学のまとめと報告会
17限	33時間 34時間	応急手当	上級救命救急講習会
18限	35時間 36時間	教育実習事前学習	ワーク②-1「実習幼稚園の概要調査」
			ワーク②-2「こどもと保育者のかかわりと援助」
			体験実習（実習園または月が丘幼稚園）…実習園の様子を知る
			ワーク②-3 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）
19限	37時間 38時間	教育実習事前準備	ワーク③-1 予想される子どもの姿に応じた教材研究
			教材研究、製作、指導案作成、ロールプレイング
			ワーク③-2 教材発表会（指導案提出）
20限	39時間 40時間	教育実習事後学習	教育実習報告書作成（報告書提出）
			実習報告会
21限	41時間 42時間		教育実習事後レポート作成
			教育実習の反省・考察・今後の課題
22限	43時間 44時間	授産施設の学び	障がい者施設 交流と体験
23限	45時間 46時間		
			▼
24限	47時間 48時間	保育実習（施設） 事前学習	ワーク④-1 「実習施設の概要調査」
			実習施設見学（またはボランティア活動）
25限	49時間 50時間		ワーク④-2 「施設見学の感想と考察」
			ワーク④-3 「実習課題の作成」
			デイリープログラム、指導案作成
			介護実習（介護の基本）
26限	51時間 52時間	保育実習（施設） 事後学習	保育実習報告書作成（報告書提出）
			実習報告会
			保育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題
27限	53時間 54時間	まとめ	演習の振り返り（レポート提出）
28限	55時間 56時間	教育実習事前学習	ワーク①-1 「実習幼稚園の概要調査」
			ワーク①-2 「子どもの姿に応じた指導案作成」
			ワーク①-3 予想される子どもの姿に応じた教材研究・製作
29限	57時間 58時間	教育実習事後学習	教育実習報告書作成（報告書提出）
			実習報告会
30限	59時間 60時間		教育実習事後レポート作成
			教育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 実習研究演習		教員名 阿部真由美	
科目時間数：30時間 15限		授業の種類：講義・演習・実習	
必修・選択 の別：必修・選択	配当学年：3年次	開講時期：前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 ①自らが調査研究・体験的学習を実践することを通して、実習の内容を理解し実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。 ②乳幼児や施設利用者の理解を深め、専門職としての保育者の使命や役割を学ぶ。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ②幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 調査や体験的学習を通して、保育に関する現状や子どもを取り巻く環境、子どもの姿を学び、実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。			
	使用教材	出版社	
プリント資料適宜配布			
【使用教室】 ① HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 ⑥ その他 (学習状況 ※実習評価に含める			
【備考】 評価について：試験の結果、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】幼稚園教諭・保育士としての実務経験			

科目名			科目時間総数	教員名
実習研究演習			30時間	阿部真由美
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	1時間 2時間	児童養護施設	ワーク⑤-1「児童養護施設について」	
			施設見学（青雲荘）	
			ワーク⑤-2 施設見学のまとめと報告会	
2限	3時間 4時間	季節と遊び	ワーク⑥-1「季節感のある遊びと生活」	
			体験実習（月が丘幼稚園・なでしこ幼稚園その他）	
			ワーク⑥-2 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）	
3限	5時間 6時間	障害と障害者支援施設	ワーク⑦-1「障害について」	
			ワーク⑦-2「障害者支援施設について」	
			施設見学（夢つむぎ城南）	
			ワーク⑦-3 施設見学のまとめと報告会	
4限	7時間 8時間	保育所	ワーク⑧-1「保育所と保育士」	
			ワーク⑧-2「0, 1, 2歳児について」	
			体験実習（保育所）	
			〃	
			〃	
			ワーク⑧-3 体験実習のまとめと報告会	
5限	9時間 10時間	まとめ	演習の振り返り（レポート提出）	
6限	11時間 12時間	子育て支援	ワーク①-1「子育て支援とは」	
			ワーク①-2「子育て支援施設について」	
			施設見学（いわて子育てネット、子育て支援センター他）	
			ワーク①-3 施設見学のまとめと報告会	
7限	13時間 14時間	応急手当	上級救命救急講習会	
8限	15時間 16時間	教育実習事前学習	ワーク②-1「実習幼稚園の概要調査」	
			ワーク②-2「こどもと保育者のかかわりと援助」	
			体験実習（実習園または月が丘幼稚園）…実習園の様子を知る	
			〃	
			〃	
			ワーク②-3 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）	
9限	17時間 18時間	教育実習事前準備	ワーク③-1 予想される子どもの姿に応じた教材研究	
			教材研究、製作、指導案作成、ロールプレイング	
			ワーク③-2 教材発表会（指導案提出）	

時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
10 限	19時間 20時間	教育実習事後学習	教育実習報告書作成（報告書提出）
			実習報告会
			〃
			教育実習事後レポート作成
			教育実習の反省・考察・今後の課題
11 限	21時間 22時間	授産施設の学び	障がい者施設 交流と体験
			▼
12 限	23時間 24時間	保育実習（施設） 事前学習	ワーク④-1 「実習施設の概要調査」
			実習施設見学（またはボランティア活動）
			〃
			〃
			ワーク④-2 「施設見学の感想と考察」
			ワーク④-3 「実習課題の作成」
			デイリープログラム、指導案作成
			介護実習（介護の基本）
13 限	25時間 26時間	保育実習（施設） 事後学習	保育実習報告書作成（報告書提出）
			実習報告会
			〃
			保育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題
		まとめ	演習の振り返り（レポート提出）
14 限	27時間 28時間	教育実習事前学習	ワーク①-1 「実習幼稚園の概要調査」
			ワーク①-2 「子どもの姿に応じた指導案作成」
			ワーク①-3 予想される子どもの姿に応じた教材研究・製作
15 限	29時間 30時間	教育実習事後学習	教育実習報告書作成（報告書提出）
			実習報告会
			〃
			教育実習事後レポート作成
			教育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 情報処理 (Word)		教員名 山田 健太郎	
科目時間数: 30時間 15限		授業の種類: 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別:	必修・選択	配当学年: 2年	開講時期: 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 日常生活の中で高度化された人間生活に関する情報を理解し、進展する情報化社会の将来に主体的に対応できる能力の習得 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 WORDのさまざまな機能を活用し、表現力のある文書作成技能を習得する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	Word2019&Excel2019&Powerpoint2019	FOM出版	
教員用	WORD 2019 基礎	〃	
	WORD 2019 ドリル	〃	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について: レポートの点数、及び出席率を勘案しA (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】			

科目名		情報処理（Word）	科目時間総数 30時間 15限	教員名 山田 健太郎
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間 2時間	WORD 表の作成	タッチメソッド、表のデザインの設定（セル結合、配置）、段落罫線	
2限	3時間 4時間	〃	タッチメソッド、複雑な表作成	
3限	5時間 6時間	〃	〃	
4限	7時間 8時間	文書の編集	色々な書式の設定、スタイルの登録、ヘッダー・フッターの作成……	
5限	9時間 10時間	〃	〃	
6限	11時間 12時間	〃	〃	
7限	13時間 14時間	表現力を高める	オンライン画像、ワードアート、図・写真の挿入……	
8限	15時間 16時間	〃	〃	
9限	17時間 18時間	図形描画機能	図形の作成と書式の設定、図表の挿入、複数図形の組合せ……	
10限	19時間 20時間	〃	〃	
11限	21時間 22時間	〃	〃	
12限	23時間 24時間	文書作成練習	オンライン画像、ワードアート、図・写真の挿入……	
13限	25時間 26時間	〃	各種書式の組み込み、図形、写真等を挿入した文書作成	
14限	27時間 28時間	〃	〃	
15限	29時間 30時間	確認試験	知識的要素・実技的要素の確認	

授業計画表

こども福祉 学科

M C L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 情報処理 (Excel)		教員名 伊藤 優汰	
科目時間数: 20時間 10限		授業の種類: 講義 ・ (演習) ・ 実習	
必修・選択の別: (必修)・選択	配当学年: 3年次	開講時期: (前期)・(後期)・集中	
【授業の目的・ねらい】 表計算ソフトの機能を理解し、操作技能を習得する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 表計算ソフトの機能を理解し、操作技能を習得する。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	Word2019&Excel2019&Powerpoint2019 E X C E L 2 0 1 9 基礎・応用 E X C E L 2 0 1 9 ドリル	F O M出版 〃 〃	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 (5. PC実習室) 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート (3. 出席) (4. 授業態度) (5. 実技試験) 6. その他 ()			
【備考】 評価について: レポートの点数、及び出席率を勘案しA (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ (無)			
【内容】			

科目名		情報処理（Excel）	科目時間総数 20時間 10限	教員名 伊藤 優汰
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	1時間 2時間	データの入力	Excelの概要、データの種類、演算記号	
2 限	3時間 4時間	〃	データの種類、演算記号、E x c e l 基本操作	
3 限	5時間 6時間	表の作成	関数（オートΣ）、罫線の設定、表示形式、配置、書式の設定	
4 限	7時間 8時間	〃	〃	
5 限	9時間 10時間	数式の入力	関数オートΣ（MAX、MIN……）、相対・絶対参照	
6 限	11時間 12時間	〃	関数（phonetic関数）、ふりがなの設定、ユーザ定義の表示形式 絶対参照・各種設定の復習	
7 限	13時間 14時間	表の印刷	ページ設定、印刷様式の設定、改ページ箇所の変更……	
8 限	15時間 16時間	グラフの作成	グラフ機能の概要、円グラフと棒グラフの作成……	
9 限	17時間 18時間	〃	複合グラフの作成、グラフィックの活用……	
10 限	19時間 20時間	確認試験	実技的要素の確認	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 茶道		教員名 佐々木 純子	
科目時間数：20時間 10限		授業の種類：講義・ <u>演習</u> ・実習	
必修・選択 の別： <u>必修</u> ・選択	配当学年：3年次	開講時期：前期・ <u>後期</u> ・集中	
【授業の目的・ねらい】 茶道をたしなみ、心得を理解、実践することで、本校の目指す「社会に適応できる人材、実践できる人材」の育成。更に人間性の面から「人に愛される人・信頼される人・尊敬される人」の育成。以って保育者として乳幼児に対し◇社会に適応できる人格の形成◇生きる力を育んでいく保育環境としての重責を担う保育者となれることを目的・ねらいとする。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③ 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 ◇茶道の約束(作法)、心得を学ぶ体験を通して、心を動かし自分を見つめ、相手の思いを分かりあい「感謝する心」・「おもてなしの心」などを身につけ、日常生活に活かせるようにする。 ◇日本古来の文化を継承する重要性を知る。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
プリント資料適宜配布			
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 ⑤. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u>・無 【内容】			

科目名		茶道	科目時間総数 20時間	10限	教員名 佐々木 純子
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1限	1時間 2時間	1、オリエンテーション：授業目的・内容・進め方について ◎グループ 編成	講義 ①茶道履修の位置づけと心得 ②茶道の歴史について		
			茶菓をいただく		
2限	3時間 4時間	2、茶室の作法について ◎抹茶を点てる ◎和菓子を食べる	①茶道具の名称・用途・扱い方を学ぶ		
			②茶室（和室）・水屋での作法を学ぶ		
			道具を使用、茶菓子をいただきながら、茶道に興味を持てるようになる。		
3限	5時間 6時間	↓ 3、グループごとに「亭主」と「客」の役割を交互に繰り返しながら、茶道の心を理解していく。	4～6コマを繰り返す。		
4限	7時間 8時間	1、～3、をグループごとに順次行う。	①「亭主」として茶を点てる。「客」としてお茶をいただく。		
			②茶道の作法（約束事）を理解し、実践する。③準備・片づけをする。		
			④客をもてなす心「直心」「一期一会」の精神を体得・習得に努める。		
5限	9時間 10時間		①日本固有の文化である茶道とその精神に裏打ちされた作法と心得を習得・体得する。		
			②点前や一連の作法を見につけることと併せて、個々が主体性・思いやりをもって、実践するように努力する。		
			③「亭主」「客」の役を実践しながら、その場に相応しい態度を意識して行動する。		
6限	11時間 12時間		④場の雰囲気を感じ積極的に取り組む。		
			⑤お互いの人格を尊重し、更に個性を認め合える社会人、保育者になることを共通の目的とし、状況に応じて“子ども観”“保育観”“社会観”などの交換も交え、茶道を日常の中に活かす工夫をする。		
			○感謝の思いを感じて表現する○人・物、全てがかけがいのない存在であることに気づき、周囲に思いやりの気持ちを持って行動する。		
7限	13時間 14時間	4、実技テスト	自己の取り組み・学習を確認しながら、落ち着いて臨む。		
			①グループごとに亭主・客の役割を分担して、学習の成果を確認する。		
			②点前の流れが習得された事は、茶道の精神の理解に繋がった点に気づき、これを日々の生活の糧にするように意識づける。		
8限	15時間 16時間	5、茶会に臨む～最後茶席～	「自服」をして自分の努力を確認する。		
			使用した道具は、後輩に渡すために丁寧に整頓する。		
9限	17時間 18時間	自服をする			
10限	19時間 20時間	道具の始末をする			

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 華道		教員名 佐々木純子	
科目時間数：20時間 10限		授業の種類：講義・演習・実習	
必修・選択 の別：必修・選択	配当学年：3年次	開講時期：前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 華道を通して日常生活における感性を磨き、美意識を高め、豊かな心の生活と創造力豊かな人間形成に役立てる。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③ 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 華道を通して日常生活における感性を磨き、美意識を高め、豊かな心の生活と創造力豊かな人間形成に役立てる。 【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。			
	使用教材	出版社	
プリント資料適宜配布			
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】有 無 【内容】			

科目名		華道	科目時間総数 20時間	10限	教員名 佐々木純子
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1 限	1時間 2時間	授業への準備	道具の出し入れ・道具の名称他		
		(一輪の花)	ハサミの使い方・植物の表裏・デッサン他		
		基本立真型	花型法の見方・長さの出し方・傾け方		
		〃 (盛花)	水切り・水揚げ・デッサン		
2 限	3時間 4時間	基本立真型	花木の整理の仕方		
		〃 (盛花)	自己紹介・デッサン		
		基本立真型	逆勝手		
		基本傾真型	逆勝手		
3 限	5時間 6時間	プレゼントの花	オアシスの使い方①		
		〃	ラッピング		
		基本立真型	投 入		
		〃	盛 花		
4 限	7時間 8時間	基本傾真型	投 入		
		〃	盛 花		
		プレゼントの花	オアシスの使い方②		
		〃	メッセージカード		
5 限	9時間 10時間	第一応用立真型	投 入		
		〃	盛 花		
		秋の花	投 入(漂白花材)		
		〃	盛 花(ガラス花器)		
6 限	11時間 12時間	基本立真型	復 習(秋をいける)		
		基本傾真型	復 習		
		第一応用立真型	盛 花(実もの・紅葉等)		
		第一応用傾真型	投 入		
7 限	13時間 14時間	自由創作	ハロウィンをいける		
		〃	〃		
		第一応用傾真型	投 入		
		〃	盛 花		
8 限	15時間 16時間	第二応用立真型	投 入		
		〃	盛 花		
		第二応用傾真型	投 入		
		〃	盛 花		
9 限	17時間 18時間	自由花	自由取花		
		〃	自由創作		
		協同制作	クリスマス大作(協同作業)		
		〃	〃		
10 限	19時間 20時間	リース	クリスマスリース制作		
		〃	〃		
		行事の花	クリスマス花をいける		
		〃	〃		

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 接遇マナー実践		教員名 吉田あかり	
科目時間数： 20時間 (10限)		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年：3年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 組織において仕事をする為のあり方及び対人関係のあり方とその基本的な言動としての接遇マナーの基本を理解し、総合的に実践できる 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 社会人となったとき、適切な考え方を持って対人関係を円滑にする行動ができるよう、社会人としての言葉遣い、電話対応、来客対応の基本等を学ぶ 【授業における達成課題】 社会人として求められる心構えを身につけ、保育の現場における社会人、組織人としての接遇マナーの基本を学び、その技術を総合的に実践することができる			
【使用教材・テキスト等】 社会でいきる実践ビジネスマナー ウイネット			
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 授業態度10% 出席率10% 期末試験80%			
【備考】 ・筆記試験は60点以上を合格とする。 ・授業態度については、ルーブリック評価を参考にする。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 無			
【内 容】 職業訓練校等でビジネスマナー講師としての実務経験			

科目名 接客マナー実践		科目時間総数 20時間	(10限)	教員名 吉田あかり
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ 主な学習内容と到達目標		
1限	1時間	オリエンテーション	授業の位置づけを理解する 身だしなみ、表情、挨拶とお辞儀を実践する	
	2時間	信頼を得る基本動作		
2限	3時間	言葉遣いの基本	話し方・聴き方の基本を実践し、感じの良い言葉遣いを習得する	
	4時間	〃		
3限	5時間	〃	敬語の基本を理解・実践し、ビジネス用語の基本を習得する	
	6時間	〃		
4限	7時間	電話応対の基本	電話の特性を理解し、電話の受け方の基本を習得し、実践できる	
	8時間	〃		
5限	9時間	〃	伝言メモの作成と電話のかけ方の基本を習得し、実践できる	
	10時間	〃		
6限	11時間	来客応対	接客とは何かを理解し、お客様の受け付け方や名刺の取り扱い方を 実践できる	
	12時間	〃		
7限	13時間	〃	ご案内の仕方、お茶の出し方を実践できる	
	14時間	〃		
8限	15時間	訪問のマナー	訪問のマナーの基本を理解し、実践できる	
	16時間	〃		
9限	17時間	社会人としての心構え	社会人としての心構えを習得する 指示の受け方・報告の仕方を理解し、実践する	
	18時間	〃		
10限	19時間	理解度確認	理解度確認テスト・解説・まとめ	
	20時間	〃		

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育者のための体育実技		教員名 橋場 駿士	
科目時間数： 15時間 7.5限		授業の種類： <u>講義</u> ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の 別：	<u>必修</u> ・選択	配当学年： 3年	開講時期： 前期・ <u>後期</u> ・集中
【授業の目的・ねらい】 幼児体育において必要となる指導について正しく学ぶ。 「遊び」の持つ本質としての楽しさや喜びを子どもに気が付かせる。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 ・各運動の基礎理論の理解 ・使用する教材（用具）のねらいの理解 ・実技の習得 【授業における達成課題】 当該科目について保育者が行う幼児体育に必要な知識と技術を習得する			
	使用教材	出版社	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 <u>7. その他 (ダンススタジオ)</u>			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート <u>3. 出席</u> <u>4. 授業態度</u> <u>5. 実技試験</u> 6. その他 ()			
【備 考】 評価について：筆記試験は60点以上を合格とする。A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <u>○</u>有 【内容】中学校教員（体育）としての実務経験			

科目名 保育者のための体育実技		科目時間総数 15時間	7.5限	教員名 橋場 駿士
限		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	1時間	マットを使用した運動	「倒立」「前転」「後転」「開脚前転・後転」「側転」の指導を理解し身に着ける	
	2時間			
2 限	3時間			
	4時間			
3 限	5時間	跳び箱を使用した運動	「開脚跳び」の正しい跳び方、指導方法を理解し身に着ける	
	6時間			
4 限	7時間			
	8時間			
5 限	9時間	縄を使った運動	「縄跳び」の正しい跳び方、指導方法を理解し身に着ける	
	10時間			
6 限	11時間	リズムダンス	リズムダンスの正しい指導方法を身に着ける	
	12時間			
7 限	13時間			
	14時間			
7.5 限	15時間	試験	模擬指導	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育者のための ウクレレ講座		教員名 竹内愛美	
科目時間数 : 15時間 7.5限		授業の種類 : <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習	
必修・選択の別 : <u>必修</u> ・ 選択		配当学年 : 3年次	開講時期 : <u>前期</u> ・ 後期 ・ 集中
【授業の目的・ねらい】 どんな場面でも活用できるウクレレの基礎を学び、弾き歌いができるようになる。今まで触れたことのない楽器に挑戦し、意欲を高める。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 ウクレレについての基礎技能を身につけ、演奏力身につける。様々な曲を弾き歌いで表現し、楽しむ力を身に付ける。 【授業における達成課題】 幼児曲の弾き歌いができるようになる。得意曲を持ち、楽譜を見なくても演奏できるようになる。			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	楽しいウクレレ弾き語り 簡単ウクレレ教室 ウキウキ気分でウクレレ保育	ヤマハミュージック リットーミュージック (株)世界文化社	
【使用教室】			
① <u>HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】			
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 <u>5. 実技試験</u> 6. その他 ()			
【備考】			
評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有・ <u>無</u>			
【内容】			

科目名		科目時間総数	教員名
保育者のためのウクレレ講座		15時間 限	竹内愛美
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
1限	1時間	ウクレレについて	ウクレレの基本について学ぶ。 持ち方、チューニングができるようになる。
	2時間		
2限	3時間	弾き歌い練習	ぞうさんを練習、見ないで弾き歌いができるようになる。
	4時間		
3限	5時間	弾き歌い練習	おばけなんてないさを練習、見ないで弾き歌いができるようになる。
	6時間		
4限	7時間	弾き歌い練習	大きな栗の木の下でを練習、見ないで弾き歌いができるようになる。
	8時間		
5限	9時間	弾き歌い練習	もりのくまさんを練習、見ないで弾き歌いができるようになる。
	10時間		
6限	11時間	弾き歌い練習	やまのおんがくかを練習、見ないで弾き歌いができるようになる。
	12時間		
7限	13時間	弾き歌い練習	やきいもグーチーパーを練習、見ないで弾き歌いができるようになる。
	14時間		
7.5	15時間	試験	今まで学習した曲の中から試験をする。

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育者のためのパソコン講座		教員名 山田 健太郎	
科目時間数： 15時間 7.5限		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別： 必修・選択		配当学年：3年	開講時期： 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 現代では、パソコンやスマートフォンなどの普及により、誰でも気軽に情報の取得や共有を行ったり、本格的な写真撮影やイラスト制作を手軽に楽しめるようになってきた。保育の現場でも、ICTによる園児の日常の管理や、パソコンを使ったお便り制作に活用されつつある。そこで、パソコンで簡単にイラストを作成する方法やお便りの作成の方法を学び、卒業後にすぐに役立つ力を養う。さらに、今後小学校でプログラミング教育を受けることになる幼児が準備として身に付けさせておきたいものは何か、児童向けプログラミングソフトを使ったプログラミングを実際に体験し、考察する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 ①PowerPointの機能を利用して、イラストを描いたり、画像を切り抜いてみる。さらに、PowerPointとWordを使い、園だよりを作成する。 ②最近、保育の現場で普及しつつあるICTの活用について考察する。 ②a)Scratchでプログラミングを体験し、コンピュータはプログラムで動いていることを理解し、プログラミングの基礎（考え方）を学ぶ。 b)小学校で始まるプログラミング教育の前に、何を身に付けさせたいか考察する。 【授業における達成課題】 ①パソコンを活用して、園だよりが作成できる。 ②情報活用能力の向上を図ると共に、関係法規（個人情報保護法、著作権法など）の概略が理解できる。 ③保育におけるICTの活用について考察できる。 ④プログラミングの仕組みを理解する。これからの小学校でのプログラミング教育の目的を理解し、その前段階として幼児期に何を身に付ければ良いか考察する。			
	使用教材	出版社	
学生用			
教員用	保育者のためのパソコン講座 キタミ式 ITパスポート 1枚デザインの構図とレイアウト コンピュータってどんなしくみ？ プログラミングでなにができる？ Scratchで学ぶ プログラミングとアルゴリズムの基本	萌文書林 技術評論社 PIE 誠文堂新光社 誠文堂新光社 日経BP	
【使用教室】			
1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 (MCL PC室)			
【評価方法】			
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 (作品)			
【備考】 使用ソフト：描画系…PowerPoint 文書作成…Word, PowerPoint ICT…teams 他に、フォト、ペイント 使用サイト：プログラミング…https://scratch.mit.edu/ 画像編集…https://pixlr.com/jp/editor/			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無			
【内容】			

科目名 保育者のためのパソコン講座			科目時間総数 15時間	7.5限	教員名 山田 健太郎
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1	限	1時間 2時間 ・オリエンテーション ・PowerPointのグラフィック機能を知る	・授業の目的および目指す目標について理解する。 ・フォトやペイントを使った、簡単な画像の加工を体験する。 ・PowerPointで絵を描いたり、画像の背景加工を体験する。PCを使って手軽にグラフィカルな表現ができる楽しさを体感する。		
2	限	3時間 4時間 ・PC環境・基礎知識	・PCがデータを処理する仕組みを理解する。 ・画像の、ビットマップ形式とベクター形式の違いが判る。 ・画像解像度について基本的な原理を理解する。 ・フォントについて学び、環境によって使用の可否があることを理解する。		
3	限	5時間 6時間 ・園だよりを作る①	・光の三原色と色の三原色の違いや、色の特性について学び、PCは光の三原色で表現していることを知る。一方、園だよりはプリントであるため、色の三原色で表現していることを知る。 ・園だよりの内容を考え、準備をすることができる。		
4	限	7時間 8時間 ・園だよりを作る②	・PowerPointを用い、どのような構成やレイアウトにすれば、楽しく分かりやすい園だよりになるかを考えながら、創意工夫して作成することができる。		
5	限	9時間 10時間 ・園だよりを作る③ ・ICTについて考察する	・前回に続き、園だよりを完成させる。 ・保育現場で普及することが多くなったICTについて、その役割や、どのように活用していくと良いか、考察する。		
6	限	11時間 12時間 ・簡単なプログラミングに取り組む	・プログラミングの仕組みについて知る。 ・小学生のプログラミング教育で使われるScratchをで、プログラミンを経験する。		
7	限	13時間 14時間 ・簡単なプログラミングに取り組む	・前回に続き、小学生のプログラミング教育で使われるScratchをで、プログラミンを経験する。		
7.5	限	15時間 ・プログラミング教育前に幼児期に身に付けるべきことを考察する	・小学校でのプログラミング教育の目的を理解し、その前段階として幼児期に何を身に付ければ良いか考察する。		

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 就職研究		教員名 竹内 愛美	
科目時間数 : 15時間 7.5限		授業の種類 : 講義・演習・実習	
必修・選択 の別 :	必修・選択	配当学年 : 3年次	開講時期 : 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 働く意義を理解し、自己分析を行い、志望動機や自己PRを明確にし、就職活動、採用試験に臨む。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 働く意義を理解し、自己分析を行い、志望動機や自己PRを明確にし、就職活動、採用試験に臨む。 【授業における達成課題】 自ら就職活動に意欲的に取り組み、就職を勝ち取ること。			
	使用教材	出版社	
プリント資料適宜配布			
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について : 出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79~70点) C (69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無 【内容】			

科目名		就職研究	科目時間総数	15時間	7.5限	教員名	竹内 愛美
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容				
1限	1時間	就職をすることについて学ぶ	・ 校内の就職の流れと手続について知る				
	2時間		・ 自己覚知				
2限	3時間		自分の良い点・改善点の理解				
	4時間		・ 就職の職種・就職する地域・就職情報の取り入れ方				
3限	5時間		・ ハローワークの登録のしかたについて				
	6時間		・ 正しい履歴書の記入の仕方				
4限	7時間		自己PRの書き方 練習				
	8時間		志望動機の書き方練習				
5限	9時間		・ 面接について学ぶ				
	10時間		実際に練習し、考えをまとめて言えるようにする				
6限	11時間		・ 就職希望先見学について（報告書の書き方）				
	12時間		・ 内定後のお礼状の書き方について				
7限	13時間		下書きをする				
	14時間		清書をする				
7.5限	15時間		・ 内定後の過ごし方について				

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ボランティア実践演習		教員名 阿部真由美	
科目時間数： 15時間 7.5限		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別： 必修・選択	配当学年： 1年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 地域住民が自立して安心・安全に生活するためには、インフォーマルな支援が提供される仕組みづくりが不可欠であり、その一つの担い手としてのボランティアへの期待は益々高まっています。地域社会における福祉コミュニティの構築に、ボランティア活動が果たす役割と可能性について共に考え学ぶことを目的とします。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③ 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 今まで経験したボランティアについて振り返りを行い、被災地を含めた地域貢献を今後どのように取り組んでいくか考える機会を設ける。その後、ボランティア活動先の事前調査を行い、ニーズに合った支援ができるよう学生主体で取り組む。最終的には、活動終了後に報告会を実施し地域問題の共通理解を図るとともに、次年度以降の取り組み課題を明確にする。 【授業における達成課題】 ・ ボランティア活動を通してコミュニケーション能力を高める。 ・ ボランティア活動を支える仕組み(災害ボランティア、NPOなど)を知る。 ・ 企画立案から活動先との連絡調整を自ら進んで行うことができる。			
	使用教材	出版社	
	地域に関わるパンフレット等		
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 ②. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 ⑤. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：筆記試験、レポートの他、授業態度等を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 ① 有 ② 無			
【内容】 保育教諭としての職務経験			

科目名 ボランティア実践演習			科目時間総数 15時間	7.5限	教員名 阿部真由美
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1限	1時間	ボランティアとは何か	ボランティアの定義、今まで経験したボランティア活動の振り返り		
	2時間		ボランティア活動内容・地域について (被災地および内陸の支援先決定、活動先の希望調査)		
2限	3時間		被災地・内陸での活動先と活動内容について (希望調査にもとづき2グループに分ける)		
	4時間		ニーズ調査とは		
3限	5時間		活動先事前調査について		
	6時間		調査内容報告会 (有志による事前調査結果)		
4限	7時間		内陸と被災地沿岸部をつなぐ活動と可能性		
	8時間	ボランティア活動の実 際①	NPOとは (被災地、内陸それぞれ1件ずつNPOより講師派遣)		
5限	9時間	ボランティア活動の実 際②	ニーズに合った支援について具体化		
	10時間	ボランティア活動の実 際③	ボランティア活動のマネジメント		
6限	11時間	事前準備	グループワーク 企画・立案		
	12時間		グループワーク 計画に基づいた準備		
7限	13時間	事前指導	コミュニケーションとは		
	14時間		各グループの計画を報告、全体で共通理解を行う		
8限	15時間	ボランティア活動	・企画の調整と具体化		
	16時間		被災地・内陸での活動		
9限	17時間		〃		
	18時間		〃		
10限	19時間		〃		
	20時間		〃		
11限	21時間		〃		
	22時間		〃		
12限	23時間		〃		
	24時間		〃		
13限	25時間		〃		
	26時間	事後指導	ボランティア実践報告会へ向けて		
14限	27時間		報告会資料づくり		
	28時間		〃		
15限	29時間		ボランティア実践報告会		
	30時間		今後の課題について		

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 地域福祉実践演習		教員名 湊和美	
科目時間数： 15時間 7.5限		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年： 2年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 学生自身が「地域福祉」とは何かを理解し実践していくために、必要とされる地域貢献や支援の実態を探り、自らが企画・運営をしていくことを目的とする。			
【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③ 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)			
【授業全体の内容の概要】 地域の実態を調査し、必要とされる地域貢献や支援を探り、学生自らが企画・運営をしていく演習と実践を軸とする。			
【授業における達成課題】 学生自らが企画した地域貢献(福祉)を実践する。実施内容が地域福祉に貢献できたかどうか、振り返りと成果報告会で検証する。実施回数は2回以上。			
	使用教材	出版社	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 (実践発表)			
【備考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無 【内容】			

科目名 地域福祉実践演習			科目時間総数 15 限	教員名 湊和美
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	1時間	イントロダクション	地域福祉とは何か。地域福祉を考える。	
	2時間		パワーポイント	
2 限	3時間	地域福祉とは	地域福祉活動について考える。	
	4時間		地域福祉（貢献）の実際について話し合う。	
3 限	5時間		グループワーク ①地域福祉実践企画立案	
	6時間		②企画報告会	
4 限	7時間	実践活動	実践①	
	8時間			
5 限	9時間			
	10時間			
6 限	11時間			
	12時間	振り返りと報告会	成果報告会（振り返りシート）	
7 限	13時間	地域ボランティア活動	・地域のニーズについて考える ・企画準備	
	14時間			
8 限	15時間	実践活動	実践②	
	16時間			
9 限	17時間			
	18時間	報告会	活動・成果報告会（振り返りシート）	
10 限	19時間		互いの成果を共有する。	
	20時間	実践活動	被災地支援について考える ・企画準備	
11 限	21時間			
	22時間	実践	学生自身が連絡を取り合い、実践に移す	
12 限	23時間			
	24時間			
13 限	25時間			
	26時間	振り返りと報告会	活動・成果報告会	
14 限	27時間		互いの成果を共有する	
	28時間		問題点の共有	
15 限	29時間	まとめ	振り返りシート・授業のまとめと課題	
	30時間		//	

授業計画表

こども福祉 学科

MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 総合演習		教員名 伊藤 優汰	
科目時間数 : 20時間 10限		授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別 :	必修・選択	配当学年 : 3年次	開講時期 : 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 地域福祉実践の学びを深め、地域が求めている様々な役割を調べ、考え、実践し、社会を形成する一員としての学びを深める。			
【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③ 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)			
【授業全体の内容の概要】 地域貢献、被災地へのボランティア、保育科独自の役割として児童関係の施設等での関りを実践する。			
【授業における達成課題】 地域福祉実践の理解が出来たか。また、自ら、あるいはグループとして協調性を養いながら積極的に活動できたか。			
	使用教材	出版社	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について : 出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79~70点) C (69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無 【内容】			

科目名			科目時間総数	教員名
総合演習			20時間	伊藤 優汰
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	1時間	イントロダクション	地域福祉とは何か。地域福祉を考える。	
	2時間		パワーポイント	
2限	3時間	地域福祉とは	現在盛岡市で行われている地域福祉実践について学ぶ	
	4時間		・被災地や地域のボランティアのニーズを探る（グループワーク）	
3限	5時間		・ボランティア企画と子育て支援施設の学び	
	6時間		・企画報告会	
4限	7時間	子育て中の実態について学ぶ	・パパママサロン開設	
	8時間		・保育所DVD鑑賞	
5限	9時間	子育て支援事例研究	・グループで問題提起 ・グループワーク	
	10時間			
6限	11時間			
	12時間			
7限	13時間	ボランティア活動	・グループごとに起案 ・企画報告会	
	14時間			
8限	15時間	実践	・障がい・子ども・ビオトープ	
	16時間			
9限	17時間			
	18時間			
10限	19時間	まとめ	報告会準備	
	20時間		報告会	

授業計画表

こども福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 健康管理学		教員名 菊池 要子	
科目時間数： 19時間		9.5限 授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択		配当学年： 3年次	開講時期： 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 WHOの健康の定義を理解したうえで、身体のしくみと疾患を知り、健康寿命を延ばすために、介護職ができることを考える。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 WHOの健康とは、を理解できる。 身体のしくみを理解できる。 日本人がかりしやすい疾患について理解できる。 健康寿命を延ばすために我々ができることを考えられる。 【授業における達成課題】 健康管理を理解し、バイタルサインを知り、正常異常、いつもと違う変化に気づくことができる。 医療者に的確に報告し連携をとることができる。			
		使用教材	出版社
学生用・教員用 共通		健 康 管 理 学	近畿大学九州短期大学
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無 【内容】 看護師として、病院や福祉施設にて実務経験有り			

科目名		健康管理学	科目時間総数	9.5限	教員名	菊池 要子
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標			
1限	1時間	WHOの健康の定義	自己紹介 左記を覚える。			
	2時間	血液が持つ情報	貧血・血糖値など血液成分や検査値が教えてくれる情報を学ぶ。			
2限	3時間	免疫と血液	免疫とは何か・血液の働きと抗体について学ぶ。			
	4時間	体温と発熱	体温が持つ意味・測定方法・基礎体温について理解する。			
3限	5時間	ビタミン	ビタミンの健康に対する意義・歴史・それぞれのビタミンを学ぶ。			
	6時間	人体を構成する元素と鉱物質	人体を構成している元素の意義・それぞれの元素を学ぶ。			
4限	7時間	妊娠と育児	妊娠・新生児・小児の成長と発育・発育段階について理解する。			
	8時間	妊娠と育児	小児の生理・よくある病気・小児がんについて学ぶ			
5限	9時間	感染症	感染症・食中毒について理解できる。			
	10時間	がん（癌）	“がん” とは？種類・原因と遺伝子などについて学ぶ			
6限	11時間	がん（癌）	“がん” 細胞の発育・どこにできるか・遺伝するかを学ぶ。			
	12時間	エイズについて	エイズ&H I Vについて理解できる。偏見・検査・感染経路を学ぶ			
7限	13時間	健康・体力と運動	現代社会の健康阻害要因・運動不足の実態・運動・体力などを学ぶ。			
	14時間	生活におけるtraining	運動処方・トレーニングの科学的基礎について学ぶ。			
8限	15時間	介護職員初任者研修	第2分冊4章第2節；医療との連携とリハビリテーション			
	16時間	介護職員初任者研修	医療的ケアを理解する。訪問看護との連携			
9限	17時間	介護職員初任者研修	※人形を使って、経管栄養・喀痰吸引を理解する。			
	18時間	介護職員初任者研修				
10限	19時間	介護職員初任者研修	第3分冊6章；老化の理解/高齢者と健康			
	20時間	介護職員初任者研修				
11限	21時間	介護職員初任者研修	※老人体験セットを使って実際に体験する			
	22時間	介護職員初任者研修				
12限	23時間	介護職員初任者研修	第3分冊7章；認知症の理解			
	24時間	介護職員初任者研修	※認知症関連映像を観る 認知症の人、本人の気持ちを理解する。支援方法を考える。			
13限	25時間	介護職員初任者研修	第4分冊9章第2節；介護に関するこころのしくみの基礎的理解			
	26時間	介護職員初任者研修	第3節；介護に関するからだのしくみの基礎的理解			
14限	27時間	介護職員初任者研修	地域包括的ケアシステムについて理解できる。			
	28時間	介護職員初任者研修				
15限	29時間	介護職員初任者研修	健康寿命を延ばすために、地域包括ケアシステムを活用した取り組みを考察できる。			
	30時間	介護職員初任者研修	各自の考えを発表し、理解を深め、まとめとする。			

授業計画表

こども福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 介護概論		教員名 大崎 幸司	
科目時間数： 20時間		10限 授業の種類： ☒ 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： ☒ 必修 ・ 選択	配当学年： 3年	開講時期： ☒ 前期 ・ 後期 ・ 集中	
【授業の目的・ねらい】 多様化による専門職の役割の理解と実践力を身に付ける 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 ・ 援助の基本視点 ・ 保健福祉の制度 ・ 利用者の理解 ・ 介護の知識と方法 ・ 生活援助・相談援助 【授業における達成課題】 当該科目について、介護の基本、直接援助について学ぶ、介護職と他の職種との連携の重要性についてを理解する			
	使用教材	出版社	
	介護職員初任者研修	介護労働安定センター	
【使用教室】 ① HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ① 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：筆記試験はA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ・ 無			
【内容】福祉施設での現場経験有り			

科目名			科目時間総数	教員名	
介護概論			20時間	大崎幸司	
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1 限	1時間	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する		
	2時間	介護の基本的な考え方	介護環境の特徴		
2 限	3時間		在宅サービス・施設サービスについて学ぶ		
	4時間				
3 限	5時間				
	6時間				
4 限	7時間	介護に関するところのしくみ	学習と記憶に関する基礎知識について理解する		
	8時間		感情と意欲		
5 限	9時間		自己概念と生きがい		
	10時間		老化や障害の受け入れ		
6 限	11時間		多様なサービスの理解	多様なサービスと介護職に仕事に就いて学ぶ	
	12時間	介護保険の概要			
7 限	13時間	介護保険制度下の介護（ケアプラン・実際の職務など）			
	14時間				
8 限	15時間	介護職の仕事内容や働く現場の理解		実際の介護職の仕事内容についての理解と現場についての現状を理解する	
	16時間				
9 限	17時間				
	18時間				
10 限	19時間				他職種との連携について理解する
	20時間	介護職の役割・専門職と多職種との連携			
11 限	21時間				
	22時間				
12 限	23時間	介護職の職業倫理	介護職の職業倫理について学ぶ		
	24時間				
13 限	25時間	介護における安全の確保とリスクマネジメント	介護における安全の確保・介護職の責務について学ぶ		
	26時間		リスクマネジメントとは何か		
14 限	27時間	介護職の安全	介護職員の健康が介護の質に影響を与えることを理解する		
	28時間		介護職に起こりやすい障害		
15 限	29時間	全体まとめ	学習全体の振り返り		
	30時間	振り返りテスト	テスト		

授業計画表

こども福祉 学科

M C L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 社会福祉基礎演習		教員名 佐藤雅子	
科目時間数： 8時間		4限 授業の種類： <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習	
必修・選択 の別： <u>必修</u> ・選択	配当学年： 3年次	開講時期： <u>前期</u> ・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 福祉サービスの提供に必要な社会福祉制度の基本的な知識を習得する。 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 介護保険制度、障害者総合支援法、公的年金制度の理解について、講義及び演習による授業を行う。 【授業における達成課題】 ・ 介護保険制度の概要について説明できる。 ・ 障害者総合支援制度の概要について説明できる。			
	使用教材	出版社	
	介護職員初任者研修テキスト第2分冊	介護労働安定センター	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 <u>4. 視聴覚室</u> 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 <u>1. 筆記試験</u> 2. レポート <u>3. 出席</u> <u>4. 授業態度</u> 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無			
【内容】 介護の現場経験、社会福祉士としての実務経験あり			

科目名			科目時間総数	教員名
社会福祉基礎演習			8時間	佐藤雅子
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	1時間	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 第1節 介護保険制度等	1 介護保険制度等創設の背景と目的・動向	
	2時間			
2限	3時間		2 介護保険制度等創設の仕組みと基礎的理解	
	4時間			
3限	5時間		3 介護保険制度の財源、組織・団体の機能と役割	
	6時間		4 医療保険制度の概要 5 年金制度の概要	
4限	7時間	第3節 障害者総合支援法とその他の制度	1 制度創設の理念・背景と目的	
	8時間		《障がい者の状態像》	
5限	9時間		2 制度の仕組みと基礎的理解	
	10時間			
6限	11時間		3 個人の権利を守る制度の概要	
	12時間			
7限	13時間	まとめ	【演習】介護保険制度と障害者総合支援法の比較整理	
	14時間			
8限	15時間			
	16時間		発表・まとめ	
9限	17時間	地域における福祉ニーズの 実情の理解	地域演習	
	18時間			
10限	19時間			
	20時間			
11限	21時間			
	22時間			
12限	23時間			
	24時間			
13限	25時間			
	26時間			
14限	27時間			
	28時間			
15限	29時間			
	30時間			

授業計画表

こども福祉 学科

M C L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 社会福祉援助技術		教員名 阿部 孝司	
科目時間数： 7.5 限		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年： 3 年	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 介護サービス提供において中心的な役割を果たす福祉専門職に必要な社会福祉援助技術に関する基本知識の習得とケアプランの作成 【こども福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 【授業全体の内容の概要】 ・ 福祉専門職に必要な社会福祉援助技術に関する基本知識 【授業における達成課題】 当該科目について、福祉専門職として福祉実践に必要な知識・技術を習得する			
	使用教材	出版社	
学生・教員	介護職員初任者研修テキスト	介護労働安定センター	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 ①. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 (課題分析とケアプラン作成)			
【備考】 評価について：レポート、出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無 【内容】 福祉施設での現場経験有り			

科目名			科目時間総数	教員名
社会福祉援助技術			7.5 限	阿部孝司
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	1時間	障害の基礎的理解	オリエンテーション 障害の概念とICFについて理解する	
	2時間	障害の医学的側面の基礎的知識	肢体不自由(身体障害)について理解する	
2 限	3時間	//	内部障害について理解する	
	4時間		聴覚障害・視覚障害について理解する	
3 限	5時間	//	音声・言語・咀嚼機能障害について理解する	
	6時間		精神障害について理解する	
4 限	7時間	//	統合失調症について理解する	
	8時間		躁うつ病等について理解する	
			神経性障害について理解する	
5 限	9時間	//	アルコール依存症について理解する	
	10時間		知的障害について理解する	
6 限	11時間	//	発達障害について理解する	
	12時間		ダウン症について理解する	
7 限	13時間	//	高次脳機能障害について理解する	
	14時間		家族の心理について理解する 家族へのかかわり支援について理解する	
7.5 限	15時間	ビデオ学習	障がいについてのビデオ学習	
		まとめ	理解度確認テスト	

授業計画表

こども福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 介護技術		教員名 大崎幸司	
科目時間数： 43 限		授業の種類： ☒ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： ☒ 必修 ・ 選択	配当学年： 1 年	開講時期： ☒ 前期 ・ ☒ 後期 ・ ☒ 集中	
【授業の目的・ねらい】 尊厳を保持し、自立及び自律を尊重する介護の基本を前提に、利用者の潜在能力を引き出しながらその人の生活を支える介護実践方法を理解する。介護職に就くか否かに関わらず、自分の家庭内や身の回りで役立てることができる。 【社会福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 ①多様な対象者のニーズについて、適切に「聴く・伝える・つなげる」力を育む ②支援に関わる関係者とのネットワーク構築にむけて、積極的に行動し、自ら働きかける力を育む ③身近な地域生活における生活課題に関心を持ち、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む 【授業全体の内容の概要】 介護の専門性や理念、制度等を理解し体位変換と移動・食事・清潔・排泄といった日常生活動作の基本等も理解した上で有する能力を活用し利用者がその人らしく自立した日常生活を営むことができるように、演習を通して支援技術を学ぶ 【授業における達成課題】 利用者の心身の状況に合わせた介護の基本原則を理解し、指示に基づいて介助を行うことができる。			
	使用教材	出版社	
	介護職員初任者研修テキスト	介護労働安定センター	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）			
【備考】 評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ・ 無 【内容】福祉施設での実務経験有り			

科目名		科目時間総数	教員名
介護技術		43 限	大崎幸司
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 限	1時間 2時間	介護環境の特徴 介護の専門性	訪問介護サービス、施設介護サービス、地域包括ケアについて理解する 介護職に求められる専門性、職業倫理、介護を必要としている人の個別性について理解する。
2 限	3時間 4時間	介護に関わる職種 介護職の職業倫理	チームにおける役割分担、介護に関わる職種の機能と役割について理解する。 法令遵守、利用者の個人の尊厳と介入、日本介護福祉士会倫理綱領について理解する。
3 限	5時間 6時間	介護における安全の確保	リスクマネジメントについて理解する
4 限	7時間 8時間	緊急時に必要な知識と対応方法	緊急時の対応に必要な知識とその対応方法について理解する。
5 限	9時間 10時間	感染症対策	感染症の予防と対策等について理解する。
6 限	11時間 12時間	介護職の心身の健康管理	腰痛予防やストレスマネジメント等について理解する。
7 限	13時間 14時間	介護におけるコミュニケーション技術	コミュニケーションの意義と目的、役割りについて理解する。 コミュニケーションの手段と技法を理解する。
8 限	15時間 16時間	介護におけるコミュニケーション技術	利用者、家族への対応の基礎知識について理解する。
9 限	17時間 18時間	介護におけるコミュニケーション技術	様々な障害に応じたコミュニケーションを理解する。
10 限	19時間 20時間	介護におけるコミュニケーション技術	記録の重要性を理解する。 報告・連絡・相談の必要性について理解する。
11 限	21時間 22時間	家事支援 生活と家事	家事支援とは何かを理解する 支援の内容を理解する
12 限	23時間 24時間	生活と家事	掃除・ゴミ捨てについて理解する 雑巾を縫う
13 限	25時間 26時間	生活と家事	衣服の修繕 洗濯・干す
14 限	27時間 28時間	生活と家事	アイロンがけ 快適な居住環境について理解する
15 限	29時間 30時間	生活と家事	住宅改修について理解する 福祉用具に関する基礎知識を理解する

16 限	31時間 32時間	はじめに 環境整備	介護技術を身につける上で大切な視点を理解する ベットメイキング要領を理解する（シーツのたたみ方・三角コーナー）
17 限	33時間 34時間	環境整備	ベットメイキング要領を理解する（四角コーナー・枕・横シーツ） ベットメイキング
18 限	35時間 36時間	環境整備	ベットメイキング
19 限	37時間 38時間	環境整備	ベットメイキング
20 限	39時間 40時間	整容介護	利用者の状況に応じた着脱介助の方法を体験し学ぶ 利用者の状況に応じた着脱介助の方法を体験し学ぶ
21 限	41時間 42時間	整容介護	片麻痺がある場合の着脱方法の原則（脱健着患）を理解する 利用者の状況に応じた着脱介助の方法を体験し学ぶ
22 限	43時間 44時間	整容介護	清潔を保つ意義・留意点などを理解する
23 限	45時間 46時間	移動介護	移動の意味・重心・バランスなど動作の基礎知識を理解する
24 限	47時間 48時間	移動介護	ベット上での移動の方法を学ぶ 端坐位・立ち上げりの介助方法を学ぶ
25 限	49時間 50時間	移動介護	移乗・車椅子移動の介助方法を学ぶ 移乗・車椅子移動の介助方法を学ぶ
26 限	51時間 52時間	移動介護	車椅子段差昇降・坂道・エレベーターの乗り降りを学ぶ 車椅子段差昇降・坂道・エレベーターの乗り降りを学ぶ
27 限	53時間 54時間	食事介助	食事の意義・しくみ・姿勢について理解する 利用者の状況に応じた食事介助の方法を体験し学ぶ
28 限	55時間 56時間	食事介助	利用者の状況に応じた食事介助の方法を体験し学ぶ 利用者の状況に応じた食事介助の方法を体験し学ぶ
29 限	57時間 58時間	食事介助	口腔ケアの意義と介助方法を体験し学ぶ 脱水とその予防について理解する
30 限	59時間 60時間	食事介助	高齢者向きの献立作り
31 限	61時間 62時間	食事介助	高齢者の食事の調理

32 限	63時間 64時間	食事介助	高齢者の食事の調理
33 限	65時間 66時間	排泄介助	排泄介助時の留意点と排泄のしくみを理解する
34 限	67時間 68時間	排泄介助	利用者の状況に応じた排泄場所と排泄用具の選択について理解する 利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ
35 限	69時間 70時間	排泄介助	利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ 利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ
36 限	71時間 72時間	排泄介助	利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ 利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ
37 限	73時間 74時間	入浴介助	清潔を保つ意義・留意点などを理解する
38 限	75時間 76時間	入浴介助	足浴の方法を学ぶ 手浴の方法を学ぶ
39 限	77時間 78時間	入浴介助	ケリーパットの作り方を学ぶ ベット上での洗髪の方法を学ぶ
40 限	79時間 80時間	入浴介助	清拭の方法を学ぶ シャワー浴の方法を学ぶ
41 限	81時間 82時間	睡眠	高齢者の睡眠のしくみを理解する
42 限	83時間 84時間	終末期の介護	終末期とは何かを理解する 高齢者の死に至るパターンとケアの特徴を理解する
43 限	85時間 86時間	終末期の介護 振り返り	終末期の心理状態を理解する これまでの学習について振り返りする